日本木材青壮年団体連合会　第70回全国会員関西大会

MSR 70th

日本木材青壮年団体連合会

第70回全国会員関西大会

「正しい姿勢で」

人生の“わすれもの”を取り戻そう。

2025年5月23日（金）24日（土）

会場　奈良春日野国際フォーラム 甍（いらか）

主催　日本木材青壮年団体連合会 全国大会実行委員会

主管　日本木材青壮年団体連合会
近畿地区協議会

副主管　奈良県木材青年経営者協議会／大阪木材青年経営者協議会／京都木材青年経営者協議会
兵庫県木材青年クラブ／和歌山木成クラブ／紀南木材新緑会

日本木材青壮年団体連合会

第70回全国会員関西大会

「正しい姿勢で」

人生の“わすれもの”を取り戻そう。

開催日 2024年5月24日（土）

会　場 奈良春日野国際フォーラム 甍・能舞台

受　付	12:00〜13:00
大会式典	13:00〜14:20
表彰式	14:35〜15:15
卒業生へのエール	15:30〜16:10

大会式典

1. 能
2. 開会宣言
3. 国歌斉唱
4. 木青連会歌斉唱
5. 綱領唱和
6. 物故者追悼
7. 日本木青連令和6年度会長挨拶
8. 来賓祝辞　林野庁
   国土交通省
   衆議院議員
   （一社）全国木材組合連合会
   日本木青連 顧問
9. 来賓紹介
10. 日本木青連 歴代会長紹介
11. 日本木青連 近畿地区協議会 歴代会長紹介
12. 祝電披露
13. 引継ぎ・伝達式
14. 令和7年度会長 所信表明
15. 次年度全国会員大会開催地発表
16. 全国会員大会 鍵伝達式
17. 令和7年度大会実行委員長 挨拶
18. 閉会宣言

表彰式

1. 日本木青連令和6年度会長挨拶
2. 木材活用コンクール 表彰式
3. 全国児童・生徒木工工作コンクール 表彰式
4. スタートアップ事業プランコンペ 表彰式

我武者羅應援團による
卒業生へのエール
この記念すべき日を共に祝い、
心を一つにして感謝と希望を分かち合う。



目次 contents

目次 001
日本木青連綱領／日本木青連会歌 002
環境憲章　理念　基本方針 003
〔ご挨拶〕
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度会長　甲村 耕三 004
〔祝　辞〕
農林水産大臣　江藤 拓 005
国土交通省住宅局長　楠田 幹人 006
奈良県知事　山下 真 007
日本木材青壮年団体連合会顧問 防衛大臣 衆議院議員　中谷 元 008
日本木材青壮年団体連合会顧問 東京大学名誉教授　有馬 孝禮 008
日本木材青壮年団体連合会顧問 公益財団法人日本住宅・木材技術センター理事長　宮澤 俊輔 009
一般社団法人全国木材組合連合会 会長　菅野 康則 009
奈良県木材協同組合連合会 会長　丸 敏幸 010
〔ご挨拶〕
日本木材青壮年団体連合会 近畿地区協議会 令和６年度会長　伊藤 喜隆 010
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度全国大会実行委員長　吉田 敦彦 011
日本木材青壮年団体連合会 令和７年度会長　長谷川 泰治 012
日本木材青壮年団体連合会 令和７年度全国大会実行委員長　青木 健太郎 012
〔活動報告〕
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度会長補佐　吉原 弘二 013
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度副会長　朝間 健至 013
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度副会長　辻井 大 014
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度副会長　野地 伸卓 014
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度副会長　古谷 隆明 015
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度専務理事　瓦野 光貴 015
令和６年度活動報告 目次 016
総務委員会／財務委員会 017
杢人間力委員会 018
スタートアップ委員会 020
ブランニュー委員会 026
木育創造委員会　第49回全国児童・生徒木工工作コンクール 028
グローアップ委員会　第28回 木材活用コンクール 038
木青連活性化委員会 049
リバイバル委員会（災害復興支援特別委員会） 052
地区活動報告 054
ウッドトランスフォームシステム商品化部会 056
監事講評 058
全国会員大会 大会史 059
歴代会長名簿 060
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度 組織図 061
日本木材青壮年団体連合会 令和６年度 常任理事 062
令和６年度 全国会員会団一覧 063
協賛企業 064

日本木青連綱領

われわれ木青連は
同じ世代の木材人として交流を深め
相互の啓発につとめよう
若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう
木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

日本木青連 会歌

作詞／日本木青連企画委員会
作詞・作曲／山路 新一

1
木を愛し　木と共に
暮らしの基を　育くみて
未来のために　世のために
広く普及えた　木の香り
ああ　我ら　木青連の心意気

2
木を学び　木に求め
あまねく同志と　たずさえて
相互の力　結びあい
文化日本を　拓くのは
ああ　我ら　木青連の理想なり

3
木に育ち　豊かさを
伸びゆく我ら　若人が
若き叡知と　情熱で
明日の社会を　築くのは
ああ　我ら　木青連の使命なり

日本木材青壮年団体連合会

環境憲章

理　念

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

基本方針

1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します

①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、
木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
③ビジネスパートナーとして協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
④合法木材の利用を推進します。

3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

①環境情報を積極的に公開し、社会の環境コミュニケーションを推進します。
②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

ご挨拶



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度会長
甲村耕三

各地区のメンバーと共に令和６年度活動の集大成を、いま世界が注目する関西の地・奈良において「日本木材青壮年団体連合会 第70回全国会員関西大会」を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。また、日頃より当会の活動に対しまして、多大なるご支援ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度は「正しい姿勢で」をスローガンに掲げ、過去からの伝統を守りつつ、時代に合った組織や活動の変革を模索し、魅力ある活動を通じて、家族・地域・会社・業界の為に誇れる組織の構築を目指しました。

多くの場面において当会の活動の在り方を議論し、メンバーが理想の業界の未来を描き、一人ひとりが行動に移すことが出来る環境を作り、地域の成長や木材業界の好循環へとつなげていくための起点となるよう努めました。

日本は、なんとなく時代の流れだというふわっとした「空気」という魔物に流されてきたように感じます。売上高のみに注力した会社形成や評価、信念の欠落した営業形態、賃金等の雇用形態や人材育成、業務改善や設備投資に積極的に取り組んでこなかった企業は、非常に厳しい環境下に置かれてきているのではないでしょうか。「空気」による流れの決定なのだから、「ああせざるを得ない」のは当然の帰結であり、間違いを指摘されても「やむを得なかった」と主張するこの道理はやっかいな思考です。「空気」による支配から脱するためにはいかにすべきか。

キーワードは、「自由」です。「自由」な思考の第一歩は、「疑うこと」です。過去の思考や活動のすべてが正しいとは限りません。疑いの視点をもつことで論理の矛盾を見出す事ができ、疑うことを放棄することは思考や「自由」を放棄することに等しいと思います。

未来を担う我々は新たな一歩を踏み出し、変革をもたらし、やり遂げることで「魅力的な業界」「働き甲斐のある業界」「誇れる仕事」「憧れる仕事」にしなければなりません。地域で競い合う時代は終焉を迎え、強みを生かし弱みを助け合う「協業」の意識をもって、共に学び成長していかなければなりません。小さなつながりがお互いの弱みを助け合い、研鑽しあうことにより各々が成長する機会に出会えますが、一歩踏み出さないとその機会には巡り合えません。自らが参画することでより多くの機会に出くわすことが出来るのではないでしょうか。

「見て学べ」「怒られて覚えろ」といったものづくり業界の風習は、元来の日本伝統文化的な手法として、人から人へと技術の伝承を行ってきました。しかしながら、時代の流れに逆行した風潮で、若い技術者が育ちやすい環境ではなく持続可能な環境になっていないのが実情です。テクノロジーの発達により、木造建築業界の加工技術も、人から機械加工へと大きく変革の時代に入っています。CAD・CAMを用いた３次元木材加工機による再現性の高い高度な加工が実現できます。ものづくりを可視化できることにより若いエンジニアが成長を体感でき、新たな取り組みが「新しい木の文化」を世の中に伝えることに繋がります。故に、今まで以上に斬新な木材活用に取り組むことが求められます。

我々は今何をすべきか。この機会にこそ、新たな一歩を踏みだし、生まれ変わらなければならないし、素晴らしい木材業界を創出しなくてならないのではないでしょうか。それは、誰よりも自身の為であり、これからは「どう生きるか、どう行動するか」、その覚悟と責務が問われています。この時代を生きる木材人としてその「意味」を考えなければいけません。すべては、我々がいかに行動するかにかかっています。

「先施の心で」我々は業界の光明とならんとする。

結びに、行政、協賛企業並びに関係者の皆様に、大会構築に対しまして多大なるご支援を賜りましたこと、心から感謝を申し上げ、主催者代表の挨拶に代えさせていただきます。

祝辞



農林水産大臣
江藤　拓

日本木材青壮年団体連合会の第70回全国会員関西大会の開催に当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。貴連合会の皆様方には、日頃から森林・林業・木材産業行政全般にわたり、格別の御支援、御協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。また、全国児童・生徒木工工作コンクールや木材活用コンクールを開催するなど、長年にわたり木材の良さや木材利用への意義についての普及啓発活動に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

はじめに、岩手県大船渡市や全国各地で発生しました林野火災により被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。農林水産省では、火災前の豊かな森林への回復に向けた支援など、被災された方々に寄り添って、全力で取り組んでまいります。

さて、戦後、先人の手により造成された我が国の人工林資源が、今、まさに利用期を迎えております。「2050年ネット・ゼロ」に寄与するためにも、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用のサイクルを確立することが重要です。特に、近年では、経済界を中心に、SDGsへの貢献、ESG投資、CO2の排出削減といった観点から、木材利用への期待や関心が高まっています。木材は他資材と比べて製造過程のCO2排出量が少なく、建築物等へ国産材を利用することは、炭素を長期間ストックできるとともに、森林資源の循環利用につながることから、循環型社会の実現に大きく貢献できます。

我が国の木材自給率は、平成14年の18.8％を底に令和5年には43.0％まで上昇しました。とりわけ、建築用材等の自給率は令和５年に55.3%となり、昭和42年以来56年ぶりに過半を越えました。

このような中、政府として、森林資源の循環利用の確立に向けて、再造林等に責任を持って取り組む林業経営体に対し、森林の集積・集約化を進めるための法案を、今国会に提出いたしました。さらに、林業従事者の確保・育成、路網や木材加工流通施設の整備、住宅において国産材の比率が低かった横架材への利用促進や、オフィスや中高層建築物への製材・集成材・CLT等の利用促進等による国産材の需要拡大など、川上から川下までの取組を総合的に進めてまいります。

こうした施策を推進していくためには、林業・木材産業の未来を担う貴連合会の皆様方の柔軟な発想と行動力が不可欠であり、引き続き、森林・林業・木材産業施策の推進に御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々の御発展、会員の皆様の一層の御健勝、御活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞



国土交通省住宅局長
楠田幹人

日本木材青壮年団体連合会第70回全国会員関西大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃から国土交通行政、とりわけ住宅・建築行政の推進にご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

我が国における長期的視点で取り組む必要のある重要課題は、2050年カーボンニュートラルの実現であり、省エネ対策の加速に加え、森林吸収源対策、炭素貯蔵等の観点から、住宅・建築分野における木材利用の促進は極めて重要です。特に、現状では木造化率が低い中大規模建築物での木材利用への期待や要請は、今後一層高まるものと考えています。

貴会におかれましては、木材活用コンクール等による木材利用の意義等に関する長年の普及啓発活動に加え、応急仮設住宅建設に使用する木材供給にご尽力いただいた令和６年能登半島地震での経験の取りまとめなど、青壮年経営者による各種活動にも積極的に取り組んでいただきました。こうした活動を通じて、社会に大きく貢献されていることに心より敬意を表します。

国土交通省においては、中大規模建築物における更なる木材利用の促進に向け、木造化の普及に資する優良なプロジェクトや設計者の育成を支援しているほか、木造建築物の適切な維持保全・維持管理に必要な情報をまとめたパンフレットを昨年10月に公表しました。また、建築主や建築事業者と、金融分野等との連携を促進し、木造建築物の普及と市場価値の向上に寄与するため、木造建築物の耐久性に係る第三者評価の基準や枠組みを示すガイドラインを昨年12月に公表し、本年４月からは、登録住宅性能評価機関における評価の申請受付を開始しております。さらに、木造４階建ての事務所や共同住宅をモデルに、コスト、施工性等において高い競争力を有し、広く展開可能な「構法」とそれを実装する「部材供給の枠組み」を取りまとめた構法解説集を本年３月に公表したところです。こうした取組を通じ、引き続き、住宅・建築分野における木材利用の促進に全力で取り組んでまいります。

併せて、令和６年能登半島地震の教訓も踏まえ、地域の住宅生産事業者等が木材関連事業者等と連携し、災害発生時に備えて実施するモデル的取組に対して支援することとしています。

これらに加え、昨年10月からは、住宅政策の方向性を示す住生活基本計画の見直しに向けて、有識者会議での議論も開始しました。2050年カーボンニュートラルの実現等に向けて、2050年頃の将来見通し等を踏まえ、今後10年間で取り組む施策の方向性について議論を行い、令和７年度末での改定に向けて検討を深めてまいります。

貴会におかれましては、これら住宅・建築物に係る国土交通省の取組に対し、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、川上から川下の全ての関係者の連携強化に向け、青壮年ならではの視点による柔軟な発想と果敢な行動力に期待しています。

結びになりますが、貴会の益々のご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞



奈良県知事
山下　真

日本木材青壮年団体連合会の第70回全国会員関西大会が、本県を会場に開催されますことをお慶び申し上げます。

日本木材青壮年団体連合会の皆様におかれましては、日頃から森林・林業・木材産業の振興に格別の御理解と御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴連合会におかれましては、49回目をむかえる「全国児童・生徒木工工作コンクール」や28回目をむかえる「木材活用コンクール」などにより、子ども達へ木の良さや次世代への木の伝統と文化を伝えるなどの数々の素晴らしい継続事業を通して、木材産業の発展に大きく貢献されておられますこと、深く敬意を表する次第です。

さて、奈良県は、豊富な森林資源を有しているものの、木材価格の低迷、山村地域の人口の減少、高齢化の進行等の林業をめぐる環境の変化により、林業の収益をもって森林環境を維持することが困難になっています。このような状況で、森林を県民共通の財産と捉え、森林の多面的な機能を発揮し続けさせるためには、次世代を見据え、環境に配慮した持続可能な森林管理を実践する新たな取り組みが必要です。そのため、本県では、独自の新たな森林環境管理制度を進めるため、令和２年３月30日に、「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」と「奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」を制定しました。

これらの条例の理念に基づき、川下対策としてポータルサイトやSNSによる情報発信、県産材のPR活動などのブランド戦略を推進しています。また、川中対策として、製材工場の機械・施設整備に向けた支援などの県産材の加工・流通を促進しています。

さらに、「環境と経済の両立」の視点により、地球温暖化を防止して、県の豊かな自然・歴史文化遺産と美しい景観を継承し、社会経済活動を持続的に発展させる必要から、「脱炭素社会の構築」に向けた取り組みの積極的な推進が求められています。

県産材を建築物に利用することは、長期にわたり炭素を固定することができ、脱炭素社会の実現に貢献するものであることから、建築物の木造木質化を推進しています。

具体に、住宅や店舗、事務所などの非住宅に県産材を使用した際の助成や県内の建築士に建築物の木造・木質化に関する専門的な知識・技能を習得するためのスキルアップ研修を実施しています。また、県が整備する公共建築物については、民間建築物の利用拡大につながると考え、原則、県産材を使用することとし、材の供給側と材を使って建築する需要側、双方の課題の解決に向けて、取り組んでいるところです。

貴連合会の皆様と共に力を合わせ木材産業の活性化に向けて取り組みたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます

結びに、貴連合会及び本日御出席の皆様方の御健勝と今後益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

日本木材青壮年団体連合会顧問
防衛大臣
衆議院議員
中谷　元



日本木材青壮年団体連合会第70回全国会員関西大会の開催を心よりお祝い申し上げます。

我が国は国土の約７割を森林が占める、世界でも有数の森林国です。この豊かな資源を適切に管理し、持続可能な形で活用することは、環境保全のみならず、地域経済の活性化や防災・減災の観点からも重要です。森林が健全に保たれることで、土砂災害の防止や水源涵養といった防災機能が強化され、気候変動に伴う自然災害のリスクを軽減することができます。今後、気候変動や自然災害が頻繁に発生する中で、持続可能な森林管理と耐久性の高い木造建築技術の推進はますます重要になってきます。

また、木材は伝統的な建築材料であると同時に、耐震性や耐火性に優れた材料として高層建築や公共施設への活用が進んでいます。国産材を積極的に活用することは、地域の林業・製材業の発展につながり、地域経済を支えることにもつながります。

貴団体の皆様が推進している木材の活用は、持続可能な社会の構築、防災力の強化、地域経済の発展という、日本の将来にとって重要な課題に直結しています。これからも皆様の若い英知と情熱を結集し、日本の森林・木材産業の発展に寄与されることを大いに期待しております。

結びに、本大会の成功と皆様のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞

日本木材青壮年団体連合会顧問
東京大学名誉教授
有馬孝禮



第70回全国会員関西大会おめでとうございます。

日本木材青壮年団体連合会関西大会は令和６年度の「正しい姿勢で」のスローガンのもとに活動した集大成の場として開かれています。

ここ数年自然災害の多発し、その要因と考えられる使用するエネルギーの削減（すなわち大気中の二酸化炭素削減）に向けて地球規模の対策が重視されるようになってきました。その一方でそれと相反する戦争や二酸化炭素削減など関係ないといった言動もみられます。

そんな中森林成長による二酸化炭素削減、木材による炭素貯蔵が、未来の資源・エネルギーの持続可能性に重要であることが理解されるようになってきました。併せてその持続可能な生産の駆動力となる木材利用が理解、重要視されるようになってきました。

我が国の新設住宅着工戸数減少が顕著になり、住宅、建設資材関連業界では危惧感が聞かれます。総世帯数に対してストックされた住宅数が余っている状態にあることを考えれば、従来のスクラップ・アンド・ビルトの量を求める体制からストック型の耐用年数増加や中古住宅市場などの方向は必然ともいえます。

日本木材青壮年団体連合会は昭和31年度（1956年）に発足し、その会員は各地域からの森林・木材、木材利用に関する専門家集団であり、各分野の高い専門性が期待されています。とくに会員資格に年齢制限があるため新陳代謝、各人の自立と自律によって支えられています。その活動に期待するところ大です。

祝辞

日本木材青壮年団体連合会顧問
公益財団法人日本住宅
木材技術センター理事長
宮澤俊輔



日本木材青壮年団体連合会第70回全国会員関西大会が開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、常日頃より当センターの活動にご理解・ご協力を賜り、改めて深く御礼を申し上げます。

さて、森林づくりや木づかいに携わっておられる業界人の大先輩の一人に、住友第二代総理事を務めた伊庭貞剛（いばていごう）という方がいらっしゃいます。環境と経済の調和、荒廃した山林の再生などの先駆者でもあり、数々の至言が現在に伝わっております。

そのひとつに、「事業の進歩発達に最も害をするものは、青年の過失ではなくて、老人の跋扈である」というものがあります。青壮年の皆様におかれては、過失を恐れず、気概を持って事に臨んでいただきたいと思います。

さりながら、過失をいたずらに重ねることは褒められたことではありません。リーマンショック、コロナ禍など、予見できない環境の変化に起因する失敗は、天災のような「やむを得ない過失」といえるでしょう。一方、情報収集の不足、議論検討の漏れ、身勝手な思い込みなどに起因する過ちは、皆でよく考えれば避けることができたであろう「悪い過失」です。

木青連は、人間でいえば古希にあたる70年という節目の年を迎えます。伝統重視で守り伝えるべきこと、改革重視で変えるべきことを、皆さんが一緒になって責任感を持ちつつ熟慮され、木青連の進歩発達につなげていかれることを、心から祈念しております。

祝辞

一般社団法人
全国木材組合連合会
会長
菅野康則



日本木材青壮年団体連合会の第70回大会が奈良県奈良市で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、貴連合会におかれましては、木材業界の振興・発展、木材需要の拡大等に積極的に取り組まれるとともに、将来の木材需要者を育てる「木育」活動等を展開し、大きな成果を挙げておられることに敬意を表します。

新設住宅着工数が減少していく中、国においては、中高層ビルや店舗・事務所等の非住宅建築物の木造化・木質化に関する政策を推進していただいています。また、住宅にあっても、集合住宅やマンションなどでは木造化・木質化の余地はまだまだ残されています。木材産業といたしましては、木造や木質化された建物が当たり前となるウッドファーストの時代になるよう、木材利用に関する企業や消費者の理解を深め、木材需要の拡大と供給力の整備に取り組んでいかなければなりません。

４月から施行された改正クリーンウッド法の遵守・普及はもとより、企業等建築主をはじめ、消費者や設計者など木材を選ぶ人たちに対する木材の良さ・品質・性能・価格や調達方法などに関する普及活動や、ＪＡＳ構造材等需要に即応できる供給体制の整備、内装材の利用拡大などの対策を着実に進めていくことが重要と考えています。

こうした中、「正しい姿勢で」をスローガンに掲げてきた令和６年度の活動の集大成として、木材産業界の若き同士が集い、業界の未来を語り、行動を起こしていかれることは、大変有意義かつ、木材産業界の大きな前進に繋がると確信しております。

結びに、貴連合会の益々の御発展と会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念し、お祝いの言葉とします。

祝辞



奈良県木材協同組合連合会
会長
丸　敏幸

日本木材青壮年団体連合会第70回全国会員関西大会が、ここ奈良で開催されますことを心よりお祝い申し上げます。日本木青連の皆様が、長年にわたり、木材産業の発展と健全な森林資源の循環利用に尽力されてきたことに、深く敬意を表します。

本年の大会スローガン「正しい姿勢で」は、木材業界における責任ある姿勢を示唆する、大変意義深いものです。木材は、単なる資源ではなく、私たちの文化や暮らしを支え続ける存在です。特に、奈良は法隆寺や東大寺をはじめとする歴史的建造物に代表される「木の文化」が息づく地であり、千年以上を超えて受け継がれる技術と精神があります。これらの文化遺産は、正しい姿勢で木と向き合い、適切に活用し、未来へとつないできた先人たちの努力の結晶です。

近年、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中で、再生可能な資源である木材の重要性がますます高まっています。さらに、木のもつ温もりや調湿作用は、私たちの暮らしに安らぎを与え、心身の健康にも良い影響をもたらします。

こうした木の価値を正しく理解し、適切に活用していくためには、業界の皆様が一丸となり、責任ある行動をとることが求められます。本大会が、木材産業の未来を見据え、正しい姿勢をもって新たな挑戦に踏み出す契機となることを願っております。

最後に、日本木青連の益々のご発展と会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

ご挨拶



日本木材青壮年団体連合会
近畿地区協議会
令和６年度会長
伊藤喜隆

第70回日本木材青壮年団体連合会全国会員関西大会の開催にあたり、多大なるご支援を賜りまして皆様に厚く御礼申し上げます。

令和６年度は平成28年度大阪で開催されて以来の近畿地区での開催の運びとなり、今年度は奈良県での開催となりました。会員交流の活性化を促すために、若手からキャリア組まで幅広い年齢層に参加していただく事業を行い、新たな世代の発掘に力を入れてまいりました。

会員減少する会が多い中、近畿地区は僅かながらですが、会員が増加しています。要因としては、仕事に活かせるセミナー、木育事業、研修会と当日の振り返りを意見交換会に取り入れ、席はくじ引き等、多くの会員と交流できる仕組みづくりを会員同士が知恵を絞り積極的な活動に繋げています。参加率向上は長年の課題ですが、これに正面から向き合って活性化している地区は活気があります。

今年度甲村会長が掲げた「正しい姿勢で」をスローガンに、会費改定の議論や、事業内容の見直し、次世代に向けて「災害時主幹事材木店」の選定を行い災害への備え、起業家養成プロジェクト、木材を深く知るためのセミナー等、全国各地の会員が積極的に交流できる1年となっています。

「変わらないために変わる。」時代に合わせて変化に対応していかなければ取り残されてしまう。変化の激しい時代ではありますが、日本木青連綱領に書かれていることを実践すれば必ず道は開けますし、それだけ意識の高い集団であると確信しております。

今大会は、「人生の忘れ物を取り戻そう」自分自身を見つめなおす、人と人とのつながり、出会い、再会、ご縁を大切に未来の木材界、自身の発展のきっかけの一日になるよう大会実行委員会中心に各部会、会員が準備を進めております。新たな試みとしては、ホームページの作成、記念誌の電子化等、オンラインを使えばすぐに大会の情報が入手できるようになりました。大会当日は、様々な催物を企画して皆様をお待ちしております。多くのご参加、奈良の地でお会いできることを心待ちにいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度全国大会実行委員長
吉田敦彦

「正しい姿勢で」

人生の“わすれもの”を取り戻そう。

日本木材青壮年団体連合会は第70回全国会員大会を迎えます。本年度は、近畿地区協議会主管のもと近畿の各会団の心ひとつに大会の準備を進めて参りました。

正しい姿勢で～人生の「わすれもの」を取り戻そう～のスローガンのもと、毎日時間に追われ、惰性で過ごしているのではないか自問自答を繰り返すようなスローガン。この大会を通じ、私たちが子供の頃に描いていた夢や希望を再度見直す機会や、どれだけの時が経とうとも忘れてはいけない大切なものは各々の心に刻まれている「心のあり方」に気付く大会を目指し開催させていただきます。

さて、大阪・関西万博開催の気運とも重なり、更なる木材利用が見直されています。

新しい工法を用いた斬新的な華やかな木造建築などはクローズアップされ話題性がありますが、ここ奈良にはどれだけの時が流れようが変わらぬ想いがあります。長い年月かけて受け継がれてきた、人から人へつなぐ、奈良が誇る歴史・文化・伝統を五感で感じて頂きたいです。日本木材青壮年団体連合会も同じく、どれだけ時が刻もうとも、変えて良いところと変えていけないところがあります。時代が情報化の波に飲み込まれ簡単に様々な物や情報が手に入る時代だからこそ、この奈良の地で参加者ひとりひとりの人と人の絆（つながり）の大切さ、関わり合い、めぐり合わせを感じ全国会員大会には多くの学びと気付きがあり参加者にフィードバックできるような大会を開催させていただきます。

本年度は、能舞台での開催、記念誌のデジタル配信、ホームページによる大会案内など初めての試みもありますが、過去のやり方にとらわれることなく様々なことにチャレンジし変化の多い大会になりました。過去のやり方を変化させるには多くの方々から様々なご意見を頂戴しました。多くの戸惑いもありましたが、より良い運営を模索し大会実行委員会で何度も打合せを行い本日に至っております。来賓の皆様や会員の皆様には大会の運営に対する配慮不足など多大なるご心配をお掛け致しましたこと深くお詫び申し上げます。

最後にはなりましたが、日本木材青壮年団体連合会の諸先輩方をはじめ、会員皆様のご指導ご協力を賜り、皆様のおかげで今日の日々があるという感謝の気持ちで、魅力ある日本木材青壮年団体連合会第70回関西大会の運営に努める所存でございます。

ご挨拶



日本木材青壮年団体連合会
令和７年度会長
長谷川泰治

日本木材青壮年団体連合会 第70回全国会員関西大会が、このように盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

また、開催にあたり、吉田敦彦実行委員長をはじめ実行委員会の皆様の多大なるご尽力に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

令和６年度は、甲村会長のもと「正しい姿勢で」というスローガンを掲げ、さまざまな内部改革を推進してまいりました。とりわけ、従来の前例踏襲的な事業運営の在り方を見直し、より主体的かつ柔軟な運営体制を築くための改善を進めてまいりました。その結果、日本木青連は、一層の自主性と自立性を備えた団体として、着実に成長を遂げた一年であったと実感しております。中でも「Bundle」事業では、木材業界での起業を志す若者たちと、それを支援する講師・メンター・委員会メンバーとの間に、熱意ある交流と学びの場が生まれました。既存の木材団体の枠組みにとらわれない、新たな視点や価値観、そして次代を担う人材の可能性に触れる貴重な機会となりました。

令和７年度は、「木力 木の力が世界を変える」をスローガンにし、より多くの方々に木材の魅力と可能性を発信してまいります。特に若い世代に木の魅力を伝え、「木材業がなりたい職業イチバン」と思っていただけるような事業を行っていきます。また、災害時などの助け合い活動も、広域連携ネットワークを構築し迅速かつ適切に対応できる体制を整えてまいります。さらに、多くの企業や団体と協力関係を築き、日本木青連の活動がより安定的に継続していけるよう努めてまいります。

令和７年度におきましても、皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご挨拶



日本木材青壮年団体連合会
令和7年度全国大会実行委員長
青木健太郎

この度、第70回全国会員関西大会を迎えることを嬉しく思います。多くの方々のご支援と協力によってここまで歩むことができましたことを深く感謝申し上げます。

これまでの歩みを振り返りながら、未来に向けて新たな挑戦を続ける姿勢を示すとともに、皆様との絆をさらに深めていきたいと思います。

木材産業の取り巻く環境は年々厳しさを増しています。その中で私は『GXの取組み、DXの対応、建設費用の高騰、空き家の増加、不動産価格の上昇』が我々の未来に大きく影響すると考えています。GXやDXを通じて、持続可能な森林管理やデジタル技術の活用が進むことで、長期的な資源供給を確保し、環境負荷を減らすことが重要です。DXを活用は生産プロセスの効率化やコスト削減が進めることが可能になり、建設費用の高騰に対応することが可能になります。資源活用の新たな手法を進めていかなければなりません。

建築での利用については、空き家の増加や不動産価格の上昇を受けて、木材産業は新たなビジネスモデルを模索し、例えばリノベーション事業や中古住宅のリサイクルに注力する必要があります。これらの変化は、木材産業が持続可能で効率的な形で進化するための重要なステップとなります。

こうした大きな変化に柔軟に対応していくことがこれから私たちにとって在るべき姿だと感じております。そして木材利用が持つ社会的、環境的価値を広めることに尽力し、木材が持つポテンシャルを最大限に引き出すことと、いままで築いてきた木の文化を合わせることで、未来の世代に誇れる社会を築いていくことが私達の使命であると考えます。

活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度会長補佐
吉原弘二

本年度は例年通りではなく、甲村会長が掲げるスローガン「正しい姿勢で」に則り、従来どおりではなく会長補佐は１名とし、各地区の未来を担うメンバーに会長補佐参与という役職で出向頂きました。

地区長とは違う目線、捉え方で日本木青連運営にご参画頂き、未来につながる経験を得て頂きたいとの趣旨で出向をお願い致しました。

はじめて、日本木青連に出向される方が大半で、新鮮な目線、感じ方で参画頂く事ができたのではないでしょうか。



参与：大澤 哲也（北海道地区）、守屋 光泰（東北地区）、鉾田 宏樹（関東地区）、浦田 将成（東海地区）、氏平 雄人（中四国地区）、外山 勝浩（九州地区）

また、各地区、各会団のメンバー皆様の本当の声をざっくばらんに聞き、意見を交換する為に出来る限りの地区、会団に甲村会長と訪問させて頂きました。お忙しい中にも関わらず、準備、ご対応頂きました地区長及び会団長、メンバーの皆様、ありがとうございました。現地で暖かくお迎え頂きました事をこの場で御礼させて頂きます。

多くの皆様とお会いし、様々なご意見を頂く事で、現在の日本木青連の在り方を見直す良い機会となりました。「変わらない為に変る」という甲村会長の言葉は多くのメンバーの皆様とお会いする事で自然と発生した想い、言葉です。

日本木青連は発足して間もなく70年となります。今一度、本会の持つ良さ、強み、そして意味合いを見直し、更なる発展と本会を未来につないで行く為にはメンバー１人１人がどのような会にしていきたいのかを常に問いながら活動する事が大切だと感じております。その活動が木青連の更なる可能性を広げ、木材業界を発展させていく事に繋がると信じております。本年度の活動を通して多くのメンバーの皆様にお会いできた事を感謝し、私からの寄稿とさせて頂きます。





活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度副会長
朝間健至

副会長に求められる真の役割とは何なのかとの自問に向き合いながら１年間過ごしてまいりました。まずは担当委員会が楽しく１年を過ごす為のお力添え、そして委員会と執行部や他の委員会等との懸け橋としての役割、また時には会長等の暴走を止める役割も必要だったのかもしれません。。個人的な裏テーマとしては女性活躍や新規会員の勧誘にも力を入れて参りました。

さて、担当させてもらった２つの委員会はどちらも新設委員会と言う事もあり手探りで始まりましたが、両方ともに「共に成長できる」ものとなりました。

杢人間力委員会は、”人は人でしか磨かれない“を合言葉に、人間力というテーマに拘って取材や講演を進めて参りました。木材業界にはまだ知らぬ”杢“への熱い想いをもった方々は沢山いらっしゃいます。とても良い刺激を共有できたと感じております。

スタートアップ委員会は、０から１を産み出す苦労に加え、塾生・講師・メンター・審査員など外部の方々やOBさんとの連携をはかる必要のある、とても時間を有する委員会となりました。ただその苦労の共有もいつかは成長に変わり委員会メンバーもが楽しめる意味ある意義ある活動ができたと思っております。今後の日本木青連活動の太い柱の一つになってくれる事も願っております。

一年間さまざまな形でエールをお送りいただいた方々、本当にありがとうございました。
日本木青連最高！！！

活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度副会長長
辻井 大

第70回全国会員関西大会の開催、誠におめでとうございます。

令和６年度スローガン「正しい姿勢で」のもと、木青連メンバーならびに当団体が、諸事活動を通じ成長を望めるように意を込めて「グローアップ委員会」としました。

特に継続事業である木材活用コンクールは今年度第28回を迎えました。今後も継続を目指すにあたり、当コンクールが立ち上げたられた際の想いや目的から更に一段発展させていくため、木青連が主体性を持って木材の利活用を広く発信できるように、これまでとは異なる運営を目指してまいりました。

まずその動機付けとして、木材活用をテーマに2025年大阪・関西万博の設計に関わった若手建築家・竹村優里佳氏を招き、木材活用の新しい視点についてディスカッションをしました。

また第28回木材活用コンクールの運営においても変化をつけました。

１つは審査会の二分化により専門性を高めました。規模を問わず建築物にとどまらず空間やリユース・DIYなど幅広い利活用にも注目を集めました。

２つめは新たな審査員の招聘です。第３・４部門に新たに３名の審査員を加えたこともあり、当該応募数や応募数全体に占める割合が増えた傾向も見ることができました。

１年を通じ、変わらないために変わることの大切さを学ぶことができたと思います。

１年間ありがとうございました。

活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度副会長長
野地伸卓

私はまことに、不出来な副会長であった。令和6年度、木育創造委員会とブランニュー委員会の担当などという大役を仰せつかったものの、私に何ができたであろうか。ただ、委員長たちの才能という美しい花が、私の無能さゆえに摘まれてしまわぬよう、そっと見守ることだけを心掛けていた。それが私の哀しい誇りであった。

木育創造委員会の大原委員長が理事会で「木育は爆発だ」と叫んだとき、私はその言葉に心を奪われた。

しかし、理事のひとりから「戦争を想起させる」という冷たい言葉が返ってきた。ああ、この世はなんと理解し難いものか。その夜、新橋の薄暗い酒場で大原委員長と「木青連って難しいよね」と嘆きながら酒を飲んだ。二人の目には、世に理解されぬ者の共犯関係のような哀しい光が宿っていた。私はその夜のことを、いつか小説に書こうと思っている。書けはしないだろうが。

ブランニュー委員会では、甲村会長の会社訪問の前夜、四人だけの酒席が思いのほか愉しくなり、我を忘れてカメラを回した。まるで我々だけが世界の真実を握っているかのように、笑い、語らい、時には沈黙した。三時間の対談は、あまりにも赤裸々で、結局はお蔵入りとなった。世間の偽善者どもには見せられぬ真実があったのだ。これはただ、岸田委員長と私だけの、甘く苦い秘密として胸に仕舞っておこう。

人間の業というものは不思議なものだ。この日本の林業も同じこと。地域によって全く異なり、同業者とはいえ、互いに理解し得ぬ深い溝がある。時には憎み合い、妬み合う。だが、木青連という名の小さな箱舟の中では、我々は皆、同じ方向を見つめることができる。生涯の友という、この世でたった一つの宝物を手に入れることができる。その奇跡から、思いもよらぬ協業が生まれる。これこそが木青連の哀しいまでの美しさではないか。

人は死の間際に何を思うのだろう。私はきっと、木青連での日々を思い出し、自らの無力さに苦笑いするだろう。甲村会長は「正しい姿勢で」と説いた。私の姿勢など、所詮歪んだものでしかなかったが、せめて「楽しい姿勢で」過ごせたことだけは本当だ。いつか、この一年を小説に書いてみたいと思う。書けはしないだろうが。さようなら。

活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度副会長長
古谷隆明

副会長やらないか？と声がかかり、候補者だった野地・辻井・朝間の４人で副会長会を行った大阪のカフェ。「こんなことしたいよね」とかブレスト段階から楽しみながら関わり準備をしていきました。

事業が固まりつつあった時期に北信越地区長も兼務することになりました。準備段階で練っていたアイデアを遂行しつつ地区のことを考えなければいけない、そんな大役が務まるのか。とても不安でした。

そして兼務が決まった翌月2024年１月１日、私の住む石川県では未曾有の大地震が発生しました。私は執行部へ「職務を果たせない」と申し出ました。すると甲村会長は「能登に寄り添う１年にしたらいいじゃないか」と話されました。前を向くことが出来た私は野地副会長と共に岸田・大原委員長の２委員会を２人体制で担当の元、リバイバル委員会を設立し、ブランニュー委員会との連携で震災対応を行いました。

９月の豪雨災害時も含めて、多くの会団の皆様と連携のもと支援活動を行いました。JBNからの要請を受けた木造仮設住宅の資材供給事業では大量の必要資材を木青連の力を存分に発揮し全国から集材することができました。

一方でこの時に顕在化した多くの課題は要点をまとめ、JBNと更に連携体制を強化出来ました。

急に何が起こるかわからない世の中で、最善策で臨機応変に対応することが出来たのも甲村会長のリーダーシップと執行部の結束力、そして何より木青連の会員の皆様の協力があってのことでした。

１年間本当にありがとうございました！

活動報告



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度専務理事
瓦野光貴

令和６年度、専務理事を務めました瓦野光貴と申します。

日本木青連近畿地区協議会からすると、この令和６年度体制は令和３年度の会長選考から始まり、同年度11月に甲村会長が近畿地区内において選定されてから、はや３年半になりました。そして今年度会長所信「正しい姿勢で」が誕生した令和５年４月から、正式に活動発進した令和５年11月の第1回常任理事予定者会議、そして本日の第70回全国会員関西大会までが一瞬の出来事だったと感じています。

専務理事の役目としては、１）会長及び副会長を補佐し、職務を処理し、庶務全般を司る。２）事務局・総務委員会・財務委員会を担当する。３）業界団体および異業種団体との連携に関する事項を担当する。４）賛助会員・協力企業団体との連携と、日本木青連の一般社団法人化検討を担当する。ですが不十分なところも多々あり、全てを完遂したとは言えない部分もありますが、次年度に日本木青連が一部を一般社団法人化する事もあり、引き続き一兵卒として協力する次第です。

今年度はスタートアップ委員会をはじめ、旧態依然に留まることのない新しい試みが溢れる委員会活動が展開され、また令和６年１月１日に発生した石川県能登半島を震源とする震災を受けて、令和５年度に立ち上げた災害復興支援特別委員会に継続して、リバイバル委員会（委員長、甲村会長兼務、担当窓口、古谷副会長・地区長兼務）と言う名称の下、全国工務店協会（JBN）との災害連携協定に基づき木材供給も行われ、最終的に災害発生時における主幹事材木店の選定（ブランニュー委員会担当）にまで至りました。また私の担いである事務局・総務委員会・財務委員会の皆さま、素晴らしい支えを頂きましたこと、そして甲村会長のエネルギー溢れる今年度に参画できたこと心より感謝申し上げます。

次年度は「木力」の端役として会員の皆さまと関わることもあろうかと思いますので、宜しくお願い申し上げ、活動報告と致します。

１年間、有難うございました。

令和６年度活動報告

ACTIVITY REPORT

contents

総務委員会／財務委員会 017
杢人間力委員会 018
スタートアップ委員会 020
ブランニュー委員会 026
木育創造委員会 第49回全国児童・生徒木工工作コンクール 028
グローアップ委員会 第28回 木材活用コンクール 038
木青連活性化委員会 049
リバイバル委員会（災害復興支援特別委員会） 052
地区活動報告 054
ウッドトランスフォームシステム商品化部会 056
監事講評 058

総務委員会


専務理事
瓦野光貴


委員長
松波 元

令和６年度総務委員長を務めた大阪会団の松波 元と申します。初めての常任理事の出向であり、右も左もわからない状況の中、たくさんの方々に支えられながら大変貴重な経験をさせていただきました。

また、全国から総務委員会に出向していただいた仲間の方々には総務として共に支えていただき、心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。（以下、同じ総務の仲間です）


丸 充彦


吉本 拓生


宮田 昌幸


佐々木 歩


松澤 匡


村本 大


田和 良介


平川 翔一


木村 泰二


友松 功


友野 義正

財務委員会


専務理事
瓦野光貴


委員長
杉山岳人

第70回全国会員関西大会のご開催、心よりお祝い申し上げます。令和7年度財務委員長を務めております杉山岳人と申します。

本年度のスローガン「正しい姿勢で」は、自らが信じる“あるべき姿”を貫くことだと受け止め、私にとっても、これまでの姿勢を見つめ直す貴重な一年となりました。

私は日本木青連の一員として、また財務委員長として、本会の事業を陰ながら支えてまいりました。財務委員会では、令和５年度より継続して進めてまいりました一般社団法人設立の準備を、今年度に皆様からのご承認をいただき、次年度より本格的に設立・運営を進める準備が整いました。

ここに至るまで、委員会メンバーの皆様のご協力があってこそですが、特に令和５年度より、法人設立と運営の仕組みづくりに尽力いただいた土倉宜也副委員長のご貢献は大きく、心より感謝申し上げます。

皆様から設立議案をご承認いただいた瞬間、かつて瓦野専務と酒席で交わした「我々の活動が、少しずつ未来を変えていくんだ」という言葉がふと頭をよぎりました。日本木青連の諸先輩方が少しずつ築き上げてきた“未来”の延長線上に、いま私たちがいること。その歴史の重みと、人の営みの尊さのようなものを、改めて深く感じた次第です。

少々前置きが長くなりましたが、本大会を通じて、日本木青連がより良い未来へとまた一歩踏み出すことを、心より願っております。そして本大会が大いに盛り上がり、私たち一人ひとりが「正しい姿勢で」次のステージへと進むきっかけとなりますよう、祈念申し上げます。

杢人間力委員会



副会長
朝間健至



委員長
三瀬宏土

日本木青連は木材界の発展を通じ、よりよい社会を建設することを綱領に掲げています。木材界が発展するためには、日本木青連の会員が魅力ある人材となることが求められます。魅力ある人材になるためには、人間力を高めることが必要です。人間力を高めるためには、人は人でしか磨かれないことから、人間力が高い人に触れることが大切です。

しかしながら、人間力が高い人を探し出し交流を持つことは容易ではないため、当委員会が会員に対して人間力が高い人に触れる機会を設けることは、有意義な取り組みとなります。私たちは木材人としての人間力を高めるため、身近な杢人間力の高い人に触れることが求められます。

当委員会は会員に魅力を高める機会を提供し、会員が相互に学びあうことを活動の目的とします。得られる結果は、杢人間力の高い人に触れることにより、自身の杢人間力を高め、魅力ある人材になることができることです。会員が魅力ある人材になることは、木材界の発展に資することになります。

当委員会は、委員会にて発掘した杢人間力の高い人を会員に対して定期的に発信することにより、会員に魅力を高める機会を提供しました。発信方法は、理事会後にて対象者を紹介し（４回）、YouTubeにて動画の配信を行いました（５回）。

第１回 対象者紹介

日本木青連会長の甲村耕三氏に登壇いただきました。
テーマは「俺だって まだまだ もてたいやん」。日本木青連や会社のこと、家族のこと、自身のことについて赤裸々に語っていただき、昼のもて方や夜のもて方についてお話を展開されました。

第２回 対象者紹介

ジャパン建材株式会社代表取締役社長執行役員の小川明範氏に登壇いただきました。テーマは「おかげさまです」。ご自身を磨くためにしていること、会社や社員のこと、ご家族のことについて、ユーモアを交えながら熱くお話をいただきました。



第３回 対象者紹介

株式会社飛騨の森でクマは踊る取締役CMOの井上彩氏に登壇いただきました。テーマは「つながりこそ価値、実感させてるさかい」。他者とのつながりを持つことの意義や木材を切って使って植える私たちの働きの尊さについてお話をいただきました。



第４回 対象者紹介

竹広林業株式会社代表取締役社長の髙木大輔氏に登壇いただきました。また、ジャパン建材株式会社代表取締役社長執行役員の小川明範様氏もゲストとしてご登壇いただきました。小田原における木材産業の振興に奮闘されている髙木氏より、地域の課題を解決に導くと意義について熱くお話をいただきました。



第１回動画配信 movie contents #01

「空飛ぶ木工職人」谷工芸CEO/谷澄雄氏。元パイロットで木工職人の谷氏は、木材加工や塗装に突出した技術をお持ちです。ご自身で製作された木製プロペラを飛行機の取りつけ、空を飛んだことがあります。旭川市で取材しました。



第２回動画配信 movie contents #02

「杢を愛するボブ・マーリー」名古屋港木材倉庫株式会社筏師/手嶋宏達氏。ドレッドヘアが特徴的な筏師歴30年の手嶋氏は、外航船の船員からは名古屋港のボブ・マーリーとして親しまれています。名古屋市で取材しました。



第３回動画配信 movie contents #03

「土だんごに込めた魂」左官職人/白石吉広氏。たんぱらな性格だったという白石氏は左官職人歴40年。培った技術を活かして土だんごやかまどの製作・販売を手掛けられています。八戸市で取材しました。



第４回動画配信 movie contents #04

「踊る木工職人」長谷川木工所/長谷川政弥氏。勤務する全所員の趣味は社交ダンス。そんな事業所の代表である長谷川氏は地域社会や業界団体のお世話にも奔走されています。由利本荘市で取材しました。



第５回動画配信 movie contents #05

「すべては棍棒から始まった」全日本棍棒協会/東樫氏。大宇陀で里山づくりに励む東氏は、長閑な里山のイメージとは相対する棍棒に着目されました。棍棒飛ばしという競技を発明し、全国で活動されています。宇陀市で取材しました。



杢人間力勝手にコンテスト!

第1動画配信に登場いただいた「空飛ぶ木工職人」谷工芸CEO/谷澄雄氏に杢人間力大賞を贈呈しました。動画配信の視聴回数や委員会の意見を参考に決定しました。

スタートアップ委員会

副会長 朝間健至　委員長 奥川季花



初　信

国土の７割を森林が占める日本において、森林資源をどう活用するのかは重要なテーマである。2020年以降脱炭素社会実現に向け、国内の森林への関心も高まっている。豪雨による土砂災害の発生件数も年々増加しており、防災の観点からも森林管理の必要性が叫ばれている。これらの社会的なニーズにともない、林業・木材産業に関わる課題解決や、事業者や業界のさらなる発展が求められている。

一方で、林業・木材産業は歴史も深く、課題解決といっても一筋縄ではいかず、流通・人材・機械化・生物多様性など様々な観点が複雑に絡み合っている。また、森林から原木を切り出して製品として消費者の手元に届くまでのステークホルダーも多く、業界特有のルールや用語なども存在する。このような状況にある中、この業界をさらに発展させようとする者の新規参入は困難である。

私たちは、この業界に入り、新たな事業を立ち上げ、林業・木材産業の課題解決や、新たな魅力を創出する者を増やし、この業界の発展を目指す委員会である。

実施背景

現在、林業・木材業界で事業を立ち上げるにあたり、業界構造が複雑なため「業界構造の理解」「課題の発見と整理」「業界の人脈づくり（協力者集め）」が困難である。このことは未来の業界を支える人材の確保の大きなハードルになっている。また、現状、これらを学ぶ手段は様々な現場を周り、課題を自身で整理しながら一人ひとり協力者を集めていくしかなく、併せて事業計画書や資金調達等も行う必要があり膨大な時間がかかる。一方、このような過程を踏むことは起業する上で経験値や信頼を得るために必要な工程でもあるため、適切に起業志望者を支援することが重要である。そのため、起業を促進するための後押しとなる要素が必要である。

委員長所感

令和６年度の新たな委員会として立ち上がった「スタートアップ委員会」の委員長を務めました奥川です。

この委員会は、この業界で起業と思った人が、あきらめることなくやり遂げられる状況をつくるために立ち上がりました。原体験は私自身です。私は2021年に、まったくこの業界に明るくないところから起業しました。林業や木材のことを学ぶために、多くの経営者にお会いし、林業事業体に就職したり、各地を視察訪問したりしました。地域による課題感の違いやステークホルダーの多さなど、この業界のことを理解する難しさを実感しました。また一方で、それらの知識を教えてくれる林業・木材業界の方や、起業後も支えてくれる先輩経営者に助けられ、今も事業を続けることができています。

しかし、その過程で同じくこの業界で起業を目指し、挫折する同志がいたのも事実です。そのような彼ら、彼女らがどうすれば事業を続けられたのか？これから起業したい人たちがどうすればより事業を続けられるのか？を考えた時、私自身が「起業するときに助けられたこと」を形にしたいと思いました。

それがこのBundleです。業界の情報がまとまって把握できることで、これから何を学べばいいのかの概略をつかむことができます。業界の課題を発見したり、整理できれば、何を検証していけばよいのかが分かります。業界の方との繋がりができれば、あゆみの道しるべになり、時には助け合うことができます。

日本木青連という立場から見ると、この団体には800人を超える会員の業種の幅広さや知見があります。これを社会に還元できれば、新しい世代の巻き込みやより魅力的な事業が生まれるかもしれない。「業界の発展」の入口になります。このBundleから新しい起業家が生まれ、その活動が広がれば、その発展のスピードはさらに加速します。そして起業を志した人たちが、一人でも多く事業を成功できるように手を差し伸べる存在でありたいと思いました。多くの業種、地域の会員がいる日本木青連だからこそ、やるべき活動だと思いました。

この想いを委員会メンバーが一つずつ形にしてくださいました。ゼロからの構築で考えることが山ほどある中で、総会議数は数十回に及びました。委員会メンバーは最後まで「塾生のために何ができるか？」という軸をぶらすことなく、たくさんのアイデアや塾生支援を行ってくださいました。

また塾生からは各地の会団入会者が出ました。ご協力いただいた外部の方からは「価値ある活動だ」とのお声をいただきました。私たち委員会は一年間、何かを作り上げる楽しさを体感しました。

引き続き、今回参加してくださった塾生の手を引っ張りながら、私たち自身もともに成長できれば幸いです。

改めて当委員会にご協力してくださった皆さまに感謝申し上げます。

起業家養成塾 Bundle 概要

Bundle

林業・木材業界唯一の起業家養成塾

事業の目的

林業・木材産業における新たな魅力を創出する同志を増やし、共に成長すること。

概　要

「業界構造の理解」「課題の発見と整理」「業界の人脈づくり（協力者集め）」の機会の提供。

内　容

01 講義
日本木青連に所属する事業者が主な講師となり、起業志望者に講義を行う。
日本木青連に所属する事業者の会社や現場（森林や工場等）の視察を行う。

02 事業計画作成
講義を元に事業計画書を作成。フィードバックを行う。

03 発表
事業計画書を審査員の前で発表する。

04 ビジネスマッチング
特に優れたプランの者は日本木青連メンバーが継続的に出資や支援を行い起業まで育てる事を委員会として日本木青連メンバーに促す。

参加対象

林業・木材業界で事業を立ち上げたい人・団体。
日本木青連メンバーやメンバー社員も対象。
（興味程度の人も歓迎。ただし熱意や意欲は予め確認する）

募集人数→参加数

塾生	10名	→	10名
オブザーバー（講義の聴講 と 発表会 のみ参加）	20名	→	31名

日本木青連会員から塾生に１名、オブザーバーに４名が登録
講義・フィールドワーク・発表会等に現役・OBが多数参加

参加対象

卒業生を“木青連チルドレン”と位置づけ、長く両者の関係を続けたい。新たな人材との連携や、日本木青連の新入会員候補など、可能性は無限大。今年度は記念すべき第一期生である。

作成チラシ



講　義

〔講義日〕７月３日（水）、７月17日（水）、７月24日（水）、８月21日（水）、９月４日（水）、９月18日（水）

〔講義とタイトル〕※敬称略

林野庁	**勝沼太志**	「森林・林業・木材産業の現状と課題」
（株）日刊木材新聞社	**橋本崇央**	「木材産業の現状と展望」
柴田産業（株）	**柴田君也**	「私たちの目指す林業」
（株）はぐくみ幸房	**大谷栄徳**	「現在の森林と林業のリアル ～樹木医の視点から～」
奥三河木材協同組合	**市川 光**	「製材の解体新書　針葉樹における大規模工場と小規模工場の現状と課題」
昭和木材（株）	**髙橋謙太郎**	「広葉樹を挽くということ」
藤島木材工業（株）	**藤島 新**	「広葉樹とは？原木から製品まで」
（有）谷地林業	**谷地 譲**	「地域と木炭と世界と」
（株）しそうの森の木	**三渡保典**	「価値創造の本質 ～コアコンピタンスとベネフィット～」
（株）シシガミカンパニー	**田口房国**	「日本初のビジネスモデル「森林レンタル」、その発想とプロモーション戦略」
カリモク家具（株）	**加藤 洋**	「低利用な木材を高付加価値に変えていくものづくり」
（株）小友木材店	**小友康広**	「ロジカルにイノベーションを起こす方法 ～20業種以上の事業を黒字化しているフレームワーク～」
（有）平川木材	**平川翔一**	「木軸（もくじく）ペンの魅力とその可能性」
フルタニランバー（株）	**古谷隆明**	「木材の流通会社から木の価値を届ける企業へ」
丸紅木材（株）	**清水文孝**	「IKONIH(アイコニー)という事業について」



講義パートでは、林業・木材業界の様々な知識や経験を塾生の皆さんに提供しました。講義は全６日間オンライン上で行い、15名の講師の皆さまにご協力いただきました。ご協力頂いた講師の皆さまには今一度御礼申し上げます。
今回受講した塾生の皆さんからは「もっと話が聞きたいです！」「震えるほど刺激受けました！」など運営している私達にとって嬉しい反応を頂きました。講義終了後のブレイクアウトルームでも活発な意見交換が行われていたと感じておりました。
一方で、もう少し塾生の皆さんの描いている事業プランに寄り添った講義内容を取り入れてもよかったのかな、と反省する点もあります。私個人としても、普段聞けないような講義でとても刺激を受け、この委員会に関わることができてよかったです！
ありがとうR６スタートアップ委員会！（米澤 / 宮城会団）

メンタリング

10月から１月までの４か月間、５名のメンターが月１度ずつ担当する２名の塾生のメンタリングしました。メンターは個々の視点や専門性を活かして塾生をサポートしてくださいました。
メンタリングではそれぞれの事業プランに対して興味深い話や新たな視点、経験談が提供され、塾生たちは真剣に向き合い、積極的に学びを深めていました。またメンタリングには委員会メンバーも同席。メンターと協力してより実践的なアドバイスを行いました。
塾生はメンタリングを通じ、自らの事業プランを磨き上げ、より実現可能性の高い計画へと進化させました。



〔メンター〕※敬称略／左から順

（株）モリアゲ	**長野麻子**
RICE MEDIA	**トム**
（株）エーゼログループ	**西岡太史**
（株）シグマクシス	**増田拓也**
Youth Library えんがわ	**並河哲次**



講義とフィールドワークを経て、10月からメンタリングの開始。
個人的には、「メンターって何ぞ･･･？」「メンタリングって何ぞ･･･？」と始まる前には思っていた。今まで生きてきて聞いたことがないワードであったが、勝手に解釈をすればメンターとは困った時・立ち止まった時にそっと道を示してくれる方という認識だろうか。新たに事業を立ち上げるには自分ひとりでは考えも行き詰るところに第三者の目で見てもらい、事業をブラッシュアップしていく。新規事業を始める為のメンタリングとは言え、今既存の事業を抱える我々が聞いても参考になる話であったり、考え方を学ぶ機会としても有意義な時間であったと思う。（菅沼 / 愛知会団）

フィールドワーク in 岡山美作

目　的

講義前半「基礎編」で学んだ林業・木材業界の基本について、より理解を深めるために、塾生やオブザーバーの皆さまの目で実際に見て学んでいただくこと。

日　程

８月２日（金）～３日（土）※２日間

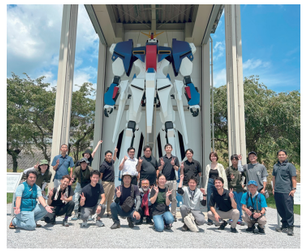
訪問先

〔岡山県津山市・美作市・真庭市〕

①（株）イマガワ
②道の駅　久米の里
③真庭あぐりガーデン
④山下木材(株)
⑤真庭バイオマス集積基地
⑥（有）堀住健
⑦うじひら木材産業（株）
⑧真庭木材市売（株）
⑨勝山町並み保存地区
⑩（株）勝山木材市場

参加者

37名









講義前半「基礎編」で学んだ内容を実地で深めることを目的に、美作地域にてフィールドワークを実施しました。森林施業の現場から製材、そして木材製品として活用されるまでの一連のプロセスを、現地の方々の案内のもとで体感。自然との向き合い方や地域資源の価値について、肌で感じられる機会となりました。
また、地域の暮らしや風土にも触れられるよう、スケジュールや訪問先にも工夫を加え、岡山県北の魅力を多角的に知るきっかけとなるよう意識しました。
参加者からは「リアルな現場を見られて理解が深まった」との声も多く、座学と現地体験の相互補完が効果的だったと感じています。（矢野 / 美作会団）



中間発表会

〔開催日〕11月16日（土）
〔会　場〕大阪科学技術センター
〔内　容〕
最終発表に向けたブラッシュアップの機会として、塾生が事業プランを発表し、参加者から改善点やアイデアをフィードバック。終了後、当日参加した塾生と日本木青連会員との交流会を開催。
〔審査員〕長谷川代行副会長、出口大阪会団長、奥川委員長
〔参加者〕55名（オンライン含む）



塾生・オブザーバー・委員会メンバー・日本木青連会員が一堂に会する貴重な機会となりました。
現地参加した塾生からは「予想以上に大勢の参加者がいて緊張した」との声も。
一方、委員会メンバーも塾生の発表を期待と不安の入り混じった気持ちで見守りました。塾生には持ち時間３分という限られた時間で、各自の事業プランを発表してもらいました。
参加者からは、温かい応援メッセージに加え、具体的なアイデアや意見が数多く寄せられ、塾生にとって貴重な学びの機会となりました。発表後の交流会では、塾生と日本木青連メンバーが直接対話し、業界の現状や課題、今後の可能性について意見を交わしました。（市川 / 愛知会団）



最終発表会

〔開催日〕２月８日(土)
〔場　所〕100BANCH(東京都渋谷区渋谷)
〔参加者〕55名
〔審査基準〕
木材産業における新たな魅力を創出することができ我々と共に成長することができる方



Bundleを通して構築した事業プランの発表とそれらの事業プランに対して審査・表彰式・交流会を行いました。10名の塾生が期間中に練り上げた事業プランを発表し、審査員や会場からコメントを頂きました。



〔審査員〕※敬称略／左から順

(株)モリアゲ	長野麻子
RICE MEDIA	トム
(株)エーゼログループ	西岡太史
(株)シグマクシス	増田拓也
Youth Library えんがわ	並河哲次



最終発表会ではこれまでの集大成として、塾生の皆さま一人一人の熱意が表れていました。そしてそれに応えようと審査員の皆さまから厳しくも真剣なご意見を頂戴することができ、それぞれ皆さまが意見をぶつけあう実りのある発表会でした。(陣内 / 宮崎会団)

メンタリングなどでは個別のパーツの話しかしていなかった物が、最終発表会ではしっかりと内容をまとめられていて、素晴らしい発表会でした。塾生の皆さんの熱意が感じられました。(内山 / 東京会団)



最優秀賞

「絵本とクラフトキット」～木とつながり、育む心、memoring～／萩原 正敬さん

「絵本を通じて、森と仕事と暮らしを繋ぐ。」絵本とクラフトキットの制作・販売を行う。絵本(木育)を通じて、林業・木材に興味を持って貰う為、家族で時間を共有し、思い出を作るファミリー世帯をターゲットに、BtoBでの起業のノベルティグッズなどを軸に販売していく。絵本に出てくるクラフトキットがセットでついてきて、また森からクラフトキットが出来るまでの流れを絵本で伝えることにより、繋がりを意識させ、森に興味を持って貰い、森と仕事と暮らしを繋げて仲間を広げる。クラフトキットだけで無く、実際に山に入る体験の提供も将来進めていく。

●審査員からのコメント

多くの人達を巻き込んで行える事業ではないか。若手絵本作家、木材関係のメンバー、色々な人々と関わりながら、多くの人達と共に、木材業界・木育を盛り上げていって欲しいです。

●受賞者・萩原さんのコメント

受賞時は本当に驚きました。他の塾生の方々が素晴らしいプレゼンをされており、まさかまさかの最優秀賞です。委員会メンバーやメンターの方々どうも有難うございました。現在絵本の製本を進めており、今後お声掛け頂いた皆さまのところへもご案内に伺わせて頂きたいと思います。林業・木材業界がワクワクで溢れるよう活動して参りますので応援宜しくお願い致します。







審査員賞

森林保全・生物多様性をテーマとしたSDGsボードゲームを活用した研修・教育の展開　蟹谷 慧さん

人間が生態系サービスを享受し続けられる社会システムを構築することをテーマに、ボードゲームを用いた研修を考案。意識を変えて森林に対する取り組みを高めたい。ゲームにより意識変容・行動変容を促していきたい。
ゲームの力で企業・学生の目を森に向けさせるという斬新さが審査員から評価されました。「森林産業の裾野を広げるという事に繋がると思う。ゲームをきっかけに森に足を運ばせるなど仕掛けがあるので、自治体が今後どう捉えていくのか楽しみ。」



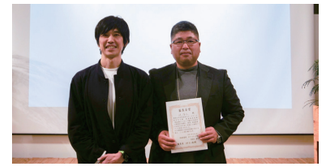


和歌山県紀美野町小川地区をモデルとする、里山の広葉樹バイオマス材供給事業　白井 宏明さん

地域コミュニティを元気にする為に、木質バイオマスの持続的利用をコミュニティビジネスとして推進することによって、森林保全・資源利活用と中山間地の収入及び雇用の創出を行う。また拡大造林によって多様性の減少した里山の人工林の針広混交林化を通して、生物多様性の豊かな森林を創出する。長期で行う必要があるプロジェクトになるので、数年間は赤字になっても頑張っていくそうです。

里山を未来につなぐ淡路島　竹を活用したサステナブルツアー／辻 淳三さん

竹の伐採などを体験できるサステナブルツアーを提供。近隣ホテルに宿泊し、竹灯籠作り、竹チップを使って育てた野菜や筍を食すイベントを行う。災害時に安全に暖を取る方法、直火調理の方法を学ぶ機会も提供。竹製品や竹集成材の販売による物販も行う。審査員からは「個人的な活動だけでなく、今後産業の意識を持って活動すれば、竹利用の可能性はより広がり、竹産業の拡大も期待できる」とのことでした。





「木のうんこ」プロジェクト／古谷 枝里奈さん

現在は森林課題があっても関心のある人間にしか、木や森と出会う機会が無く、万人に伝わらない事が問題である。皆が興味を持つ「うんこ」を共通点の多い木材で作る事により、今まで全く興味の無い人達に、木や森に興味を持って貰いたい。
審査員からは「是非、今後も森林・林業課題を一般層に訴求する活動を古谷さんにやって貰いたい」との応援コメントがありました。

その他の発表者

“木森のある生活を”MOCTORY(きもりのあるせいかつをもくとりー)／木村 正樹さん

MOCTORYという「木(き)と木(モク)と森林と人」の造語を作り、環境問題について活動中。「忙しい現代社会において、森林に関心があるが、森林に行く機会がないこと」を課題として捉え、「どうしたら森林に行く機会を作れるか」をテーマにコンテンツを作る事を今後の活動とする。

建築資材リユースBtoBオークション事業／東 慎也さん

余剰資材を再流通させ廃棄コストを削減しサステナブルな活用をする事により、ビジネスと環境の両面で最小限のトレードオフとなるソリューションを提案する。リユース事業は現在の主はBtoC、CtoCの中で、BtoBの事業を展開し、オンラインとリアルの両面で展開していく。

森と竹、里山の資源をくらしに活かす／市川 里美さん

現在は小規模林業を事業として行っている。その強みを生かしながら、以下３点に力を入れて活動し事業を拡大させることを構想している。
①地域材の建材事業　②自然素材を活用した外構工事　③里山資源プロダクト　キャッチコピーは「つくるは生きるだ」。

森と共創する町 Euchi Forest Project／中尾 雄基さん

鹿児島県で林業を行っており200年先の森創りに取り組んでいく。200年先の森を作っていくために、今後５年間で「みんなが集まれる場所×スポーツ×森林整備」を掛け合わせた事業を作っていきたい。森林整備をした場所でクロスカントリーロードを作る、事務所をコミュニティスペースとして活用する等もしていく。

企業にちょっとキになる「木材利用」の機会を提供する なんでも木質化クラブ／小笠原 太一さん

脱炭素・環境配慮といった社会の変化から、再生可能な天然素材である木材を利用したいという企業が増えている。しかし相談先が分からないという問題がある。その様な企業へ木質化(木材利用)の方法を企画・提案・製造・販売まで一気通貫で行く。

ブランニュー委員会


副会長
古谷隆明


副会長
野地伸卓


委員長
岸田真志

令和６年度ブランニュー委員長を務めました岸田真志です。

本委員会は当初、「リブランディング委員会」として、日本木青連が今後の社会において必要とされ続けるための活動をアップデートすることを目的としていました。しかし、私自身が元旦に発生した令和６年能登半島地震の被災者となったこと、また、災害時の仮設住宅建設において日本木青連の存在意義をさらに示す必要があることが明らかになったことを受け、委員会の担いが変更されました。さらに、広報委員会の役割も加わり、災害対応と広報の二つのテーマを担う大所帯の委員会として活動を進めることとなりました。

●災害対応の取り組み

能登半島地震では、木材調達においてJBNとの連携に課題が浮き彫りとなりました。この教訓を生かし、今後、全国各地で災害が発生した際に同様の混乱を防ぎ、よりスムーズに対応できる体制を整える必要があります。そのため、各地区に主幹事材木店を設定すること、JBNとの災害連携協定の見直しを行い、合同災害訓練を実施することを進めました。これらは令和７年度への引き継ぎ事項でもあり、広域連携委員会の守屋委員長を支えながら引き続き取り組んでいきます。

●広報の取り組み

ウッディレターの動画配信を取りやめ、テキストによる情報発信へと切り替えました。全国大会や地区大会の紹介を主とした記事を制作し、より多くの方々に情報を届けることを目指しました。また、会員の皆が恐れていた(？)甲村会長の素顔に迫る動画を撮影・紹介するなど、新たな試みにも挑戦しました。

さらに、日本木青連の会員が自身の所属意義をどこまで感じているか、また本当に仲間を誘いたいと思える組織になっているかを振り返る機会を設けるべきだと考え、『ザイモクヤ達のR指定トークショー ～不適切にもほどがある！～』というウェビナー企画を開催しました。アバターとボイスチェンジャーを組み合わせた新しい試みが視聴者の心をつかみ、司会者の努力もあり、参加者全員が終始楽しめるプログラムとなりました。普段は聞けない本音のトークが繰り広げられ、仕事に役立つ内容も多かったと感じています。

●委員会の運営について

委員会の運営において、皆で力を合わせられたかと問われれば、なかなか難しい部分もあり、私自身の力不足を痛感しています。至らぬ点も多く、大変申し訳なく思います。それでも、1年間最後までともに活動してくださった両副会長ならびに委員会メンバーの皆様に、心より感謝申し上げます。

１年間、本当にありがとうございました。



◀ウッディーレター①

ウッディーレター②▶





◀オンラインイベント①

オンラインイベント②▼



木育創造委員会


副会長
古谷隆明


副会長
野地伸卓


委員長
大原悠延

令和６年度 木育創造委員会 委員長の大原悠延です。高知会団より出向しております。本年度は主に以下の２つの事業を実施しました。１つ目は、今回で第49回を迎える「全国児童・生徒木工工作コンクール」。２つ目は、木育をさらに高度化させるための「遊戯性教材選定事業」です。令和６年度は、甲村会長のスローガン「正しい姿勢で」に立ち返り、歴史ある木工工作コンクールの木青連としての本来の姿、そしてこの事業をどのように開催し、次年度へつなげていくのかを見つめ直しました。
木工工作コンクールという木育の入り口から、遊戯性教材を取り入れた新たな学校教育や木育の枠組みを創造し、木育をさらに“BOOST”させるべく、踏み込んだ取り組みを行ってまいりました。

１.第49回 全国児童・生徒木工工作コンクール



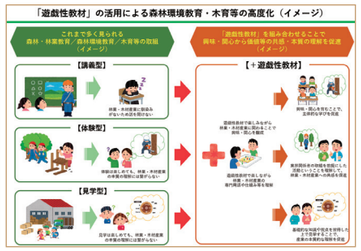


歴史と名誉あるこのコンクールですが、出品地域に偏りがあり、全体の５割強の会団が未実施であることに着目していました。地元・高知県でも長らく出展がなく、その現状を知った私は、早速今年度より高知県仁淀川町での開催をスタートさせました。初年度は仁淀川町役場の後援をいただき、78作品が出展。小規模ながらも「まず始めること」ができた成功事例として、他地域への波及の可能性を示す一歩となりました。
また、最終審査会については、中四国のメンバーに多大なる負担をかけることとなりましたが、中四国の新旧役員会と日程を重ねることで、調整を図りました。本当に仲間には感謝しかありません。
前夜祭は合同で実施し、スケジュールや審査会場の選定にも工夫を凝らすことで、できる限り多くのメンバーが作品に触れ、木工工作コンクールへの理解や関心を深められるよう努めました。個人エントリーを含め、北海道から沖縄まで16,023点の作品が出展され、3月16日の最終審査会では25作品の受賞が決定しました。

２.遊戯性教材選定事業

私たちがこれまで行ってきた木育には、講義型・体験型・見学型など多くの形がありますが、その多くが“一過性”に終わってしまっている現状もあります。私自身、地元密着型の製材工場を営みながら小中学生の社会科見学を受け入れていますが、座学や現場体験を通じて伝えたいことが、本当に届いているのか実感できないこともありました。その場では興味を持ってくれていても、翌日には忘れてしまっているのではないか…そんなもどかしさを感じていたのです。
そこで注目したのが、今、巷で人気急上昇中の“森林環境教育”や“木育”に特化したボードゲームやカードゲームといった「遊戯性教材」です。これまであまり知られてこなかったこれらの教材を活用することで、子どもたちの興味関心を引き出し、価値観の共感や木材への本質的な理解を促進できるのではと考えています。現在、「有効性検討委員会」を設置した段階にあり、今後さらに教材の内容や活用方法について深掘りしていく予定です。
木育は、業界団体だけでなく学校教育や地域、都市部と地方との連携が必要不可欠です。その中で本委員会は「効果の検証」を担う存在として、非常に重要な役割を果たすものと位置付けています。いずれ、木青連のメンバーにとっても“強力な右腕”となるような遊戯性教材が誕生し、それを広く普及できるよう、これからも積極的に関わり続けていきたいと強く感じています。







森育・木育教材普及協議会／森育・木育教材有効性検討委員会（第１回）　主催：日本木材青壮年団体連合会／日時：令和７年3月26日／会場：Zoom開催

---------- 出席者名簿（敬称略） ----------
金子 嘉宏（東京学芸大学 教授、教育インキュベーションセンター長）　浅田 茂裕（埼玉大学 教育学部 教授）　東原 貴志（上越教育大学大学院学校教育研究科 教授、日本森林学会 中等教育連携委員会 委員）
青木 謙治（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授、日本木材学会 副会長・木材教育委員会 委員長）　腰原 幹雄（東京大学生産技術研究所 教授、（一社）日本建築学会 木質構造運営委員会 主査）　山崎 亮（関西学院大学 建築学部 教授）
今泉 裕治（（公社）国土緑化推進機構 常務理事）　本郷 浩二（全国木材組合連合会 副会長・専務理事）　大原 悠延（日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 委員長）　秋山 洋（（独）国立青少年教育振興機構 教育事業部長）欠席
〔オブザーバー〕
中野 彰子（林野庁 林政部 木材利用課 課長補佐（消費対策班））　矢島 万理（（公社）国土緑化推進機構 政策企画部）　中川原 壮一（日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会）　南谷 優輝（日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会）
〔事例発表者〕田中 俊輔（熊野林星会／セーザイゲーム）　狩野 和也（飛騨五木（株）/FOREST BALANCE GAME）　秋山 高男（山梨日日新聞社/moritomirai）　長瀬 めぐみ（（株）プロジェクトデザイン/moritomirai）
〔事務局〕野地 伸卓（日本木材青壮年団体連合会 副会長）　古谷 隆明（日本木材青壮年団体連合会 副会長）　阿部 真弥（（一社）kiki 共同代表）　木俣 知大（（一社）東京学芸大 Explayground 推進機構 研究員）

第49回全国児童・生徒木工工作コンクール
『日本の木から創造しよう、木工工作は爆発だ』

●主　催：日本木材青壮年団体連合会
●後　援：文部科学省・農林水産省・NHK・全国造形教育連盟・全国木材組合連合会
●協　賛：株式会社ウッドワン・株式会社Tree to Green・カリモク家具株式会社
●審査日：令和７年３月16日（日）
●会　場：高知市文化プラザかるぽーと

審査委員長　全国造形教育連盟 委員長　松永かおり

審査委員
農林水産省 林野庁 林政部 木材産業課 企画班 課長補佐 ―― 勝沼 太志
一般社団法人高知県木材協会 専務理事 ―― 小原 忠
株式会社ウッドワン 戦略統括本部
コーポレートコミュニケーション室 広報課 課長 ―― 中道 圭一
株式会社Tree to Green マネージャー ―― 伊藤 龍二
知多カリモク株式会社 取締役 ―― 三輪 義保
日本木材青壮年団体連合会 会長 ―― 甲村 耕三
日本木材青壮年団体連合会 副会長 ―― 野地 伸卓
日本木材青壮年団体連合会 副会長 ―― 古谷 隆明
日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 委員長 ―― 大原 悠延
日本木材青壮年団体連合会 常任理事 ―― 一同
日本木材青壮年団体連合会 木育創造委員会 ―― 一同

令和６年度 第49回全国児童・生徒木工工作コンクール 審査委員長 総評


全国造形教育連盟 委員長
松永 かおり

つい最近、実用化されたかと思うAIも、教育現場での活用が当たり前になってきました。子供達はα世代と呼ばれ、デジタルネイティブとして成長していくことが必然です。世代の特性として、オンライン上のつながりに抵抗がない、オンラインゲーム、VR、メタバース等でアバターを通じたコミュニケーションを常識とするなど、先進的技術への適応力が高い。一方で、タイパ（タイムパフォーマンス）重視、動画は倍速再生が当たり前など、結果をすぐに求める傾向があるそうです。
利便性が重視されるのはよいことですが、物事に粘り強く取り組むことや、様々な角度から物事について考える中で解決策を見出す、人間ならではの感性や創造力を発揮する機会を意識的にとっていくことの大切さを痛感します。
令和６年度第49回目となる本コンクールは、「日本の木から創造しよう、木工工作は爆発だ」というテーマのもと、実施されました。岡本太郎さんの「芸術は爆発だ」という名言に基づくそうですが、岡本さんのこの言葉は、「アートに込められたエネルギーや革新性」を表しているそうです。子供たちが木材に触れながら、自分なりに試行錯誤したり、さまざまな人々と協働したりして、自らの感性や創造性を発揮し、エネルギーに満ち溢れた作品を生み出すことは、きわめて貴重な経験となっています。改めて、長きにわたり、子供たちにこのような機会を与えていただいていることに、心より感謝申し上げます。
応募された作品は、友達や家族とともに、木材のよさを生かし、創意工夫しながらつくられた素晴らしいものばかりでした。作品づくりを通して、木材のもつあたたかさや質感、様々な加工によって生まれる特性やそのよさを生かし、自分の思い描く作品を生み出している様子がうかがえました。
子供たちが、木材との出会いや今回の作品作りをきっかけとして、自然との共生や人とのつながりの大切さ、そして自分の感性や創造性を生かす喜びを、さらに感じてもらえたら嬉しいです。

文部科学大臣賞

鳳凰

奈良県桜井市立
安倍小学校 5年生
松井（マツイ） 春樹（ハルキ）



農林水産大臣賞　小学校・低中学年の部

木カツ

三重県熊野市立
金山小学校 2年生
峪中（サコナカ） 結月（ユヅキ）



農林水産大臣賞　小学校・高学年の部

6年間の思い出

岐阜県高山市立
花里小学校 6年生
谷口（タニグチ） 未空（ミク）



農林水産大臣賞　中学校の部

花信風

栃木県那須町立
那須中央中学校 1年生
髙田（タカダ） 征希（マサキ）



林野庁長官賞
小学校・低中学年の部

けんばんハーモニカ

奈良県桜井市立安倍小学校 2年生
ヨシダ　リサ
吉田 理紗



林野庁長官賞
小学校・高学年の部

グランドピアノ

和歌山県那智勝浦町立市野々小学校 6年生
ヤマサキ　リン
山﨑 倫



林野庁長官賞
中学校の部

賽銭型 貯金箱

岐阜県高山市立朝日中学校 3年生
ナガセ　リオ
長瀬 莉旺



NHK会長賞

ハチドリとひまわり

奈良県天理市立前裁小学校 5年生
タカタ　ケイタ
髙田 啓太



全国造形教育連盟 委員長賞
小学校・低中学年の部

木にへんそうしたカメレオン

福岡県北九州市立日明小学校 4年生
ナガオカ　ミナト
長岡 湊人



全国造形教育連盟 委員長賞
小学校・高学年の部

宇宙旅行

栃木県那須塩原市立大山小学校 6年生
ナカエ　アカリ
中江 朱里



全国造形教育連盟 委員長賞
中学校の部

手動式 1000連射 ガトリングゴム鉄砲

岩手県盛岡市立乙部中学校 3年生
ヒラツカ　ヒカル
平塚 希



全国木材組合連合会 会長賞

つばめの子育て

福島県いわき市立泉北小学校 6年生
阿部（アベ） 優菜（ユウナ）



ウッドワン賞
小学校・低中学年の部

思い出の盆踊り大会

栃木県那須塩原市立稲村小学校 4年生
渡部（ワタナベ） 亮（リョウ）



ウッドワン賞
小学校・高学年の部

カンブリア紀の海の王者 アノマロカリス〜ワプティア危機一発

福岡県北九州市立大蔵小学校 5年生
原口（ハラグチ） 樹（タツキ）



ウッドワン賞
中学校の部

廃材で作ったイス

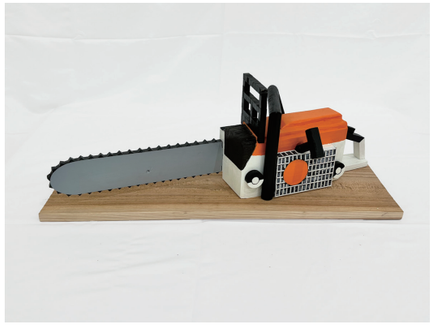
岐阜県中津川市立坂下中学校 1年生
原（ハラ） 柚紀（ユズキ）



Tree to green賞
小学校・低中学年の部

パパのあいぼう

宮崎県三股町立三股西小学校 3年生
斉藤（サイトウ） 紗愛（サラ）



Tree to green賞
小学校・高学年の部

ラスト・シュート

群馬県吉岡町立明治小学校 6年生
木暮（コグレ） 龍樹（リュウジュ）



Tree to green賞
中学校の部

自由自在

秋田県横手市立横手北中学校 1年生
高橋（タカハシ） 翔（ショウ）



カリモク家具賞
小学校・低中学年の部

今を語る砂時計

栃木県那須塩原市立大山小学校 3年生
佐川（サガワ） 諧生（カイセイ）



カリモク家具賞
小学校・高学年の部

世界平和の花
～もしも砲弾やミサイルが花になったら～

長野県茅野市立米沢小学校 6年生
吉田（ヨシダ） 陽翔（ハルト）



カリモク家具賞
中学校の部

上田城跡公園 東虎口櫓門

長野県東御市立東部中学校 1年生
白倉（シラクラ） 大雅（タイガ）



日本木青連会長賞
小学校・低中学年の部

ちょうちんあんこう

長野県上田市立西小学校 4年生
吉池（ヨシイケ） 悠人（ユウト）



日本木青連会長賞
小学校・高学年の部

風車

三重県紀宝町立神内小学校 6年生
野地（ノジ） 哲平（テッペイ）



木育創造委員長賞
小学校・低中学年の部

木モック
～川のハンモックと山のハンモック～

三重県熊野市立井戸小学校 4年生
下岡（シモオカ） 諒陽（アサヒ）



木育創造委員長賞
小学校・高学年の部

錦帯橋

福岡県北九州市立吉田小学校 6年生
宮浦（ミヤウラ） 結生（ユイ）



グローアップ委員会



副会長
辻井 大



委員長
中塚修平

グローアップ委員会は「第28回木材活用コンクール」を開催し、応募総数100作品の中から21作品の受賞を決定することが出来ました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。また、多種多様な木材活用作品を応募していただいた全ての応募者様、厳正な審査を行って頂いた審査委員会の皆様、ご後援団体・ご協賛企業の皆さま、その他お関わり頂いた全ての皆様に感謝を申し上げます。

本年度グローアップ委員会は甲村会長の掲げる「正しい姿勢で」のスローガンのもと新たな挑戦をおこなう年度となりました。年度の開始当初より引継ぎ事業ではあるが、新たにコンクールを作り上げていく思いのもと活動をおこなって参りました。長く続いている事業だからこそ、新たな挑戦をおこない、進化をさせていく必要があると感じており、今年度は例年とは異なる取組を行ってまいりました。

また、新たな取り組みを行った一方で、PR活動が十分にできず、募集作品を例年より多く減らしてしまう結果となりました。しかしながら分母は減ってしましましたが、応募していただいた作品一つひとつが素晴らしいものでした。「木の良さ」を活かした作品が多く審査会でも選出が難しかったと思います。

今後も木材活用コンクールを続けていく上でしっかりと今年度の取組の結果を引継ぎ、次年度以降も素晴らしい「木材活用コンクール」の一助となれればと思います。

最後に、今年度グローアップ委員会が1年間通して活動をできたのは、同委員会のメンバーの皆様が支えてくださいましたおかげでございます。辻井副会長、各部部会長である中岡さん、田中さん、梅谷さん、伊勢戸さんをはじめ委員会メンバー皆様に感謝申し上げます。





第28回 木材活用コンクール

●主　催：日本木材青壮年団体連合会
●後　援：農林水産省、国土交通省、(公財)日本住宅・木材技術センター、(一社)全国木材組合連合会、
(公社)日本建築家協会、(一社)日本建築学会、(一社)日本インテリアプランナー協会、
(公財)日本デザイン振興会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会
●協　賛：(一社)JBN・全国工務店協会　JKホールディングス株式会社
●審査日：令和７年３月９日(日)
●会　場：株式会社内田洋行

審査委員長　首都大学東京(現東京都立大学)名誉教授　深尾 精一

第1・2部門 審査委員

- 加藤 昌之　株式会社 加藤設計 代表取締役
- 宮澤 俊輔　公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 理事長
- 松井 郁夫　株式会社 松井郁夫建築設計事務所 代表取締役
- 藤田 香織　東京大学大学院 教授
- 武藤 信之　林野庁 木材産業課 木材製品技術室長
- 中澤 篤志　国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長
- 安成 信次　一般社団法人JBN・全国工務店協会 会長
- 甲村 耕三　日本木材青壮年団体連合会 会長

第3・4部門 審査委員

- 宮澤 俊輔　公益財団法人 日本住宅・木材技術センター 理事長
- 霜野 隆　一般社団法人 日本インテリアプランナー協会 顧問
- 武藤 信之　林野庁 木材産業課 木材製品技術室長
- 秋吉 浩気　VUILD株式会社 代表取締役CEO
- 竹村 優里佳　Yurica Design & Architecture主宰
- 若杉 浩一　武蔵野美術大学 造形構想学部 教授
- 甲村 耕三　日本木材青壮年団体連合会 会長

令和６年度 第28回 木材活用コンクール 審査委員長 総評



首都大学東京(現東京都立大学)
名誉教授
深尾 精一

第28回木材活用コンクールは、昨年より減少し100件の作品に応募して頂きました。減少はしましたが、その内容はレベルが高く、木材の活用に関する関心が高まっていることを感じさせます。応募の内訳は、第一部門37作品、第二部門21作品、第三部門18作品、第四部門24作品となりました。

今回は審査方法を大きく改め、第一部門と第二部門のグループと、第三部門と第四部門のグループの、二つのグループに分けて審査を行い、特に後者のグループには、新たな審査員に参加していただきました。

受賞作品の内訳は、第一部門から10作品、第二部門から３作品と、前者のグループから13作品、そして、第三部門から５作品、第四部門から３作品と、後者のグループから８作品、計21の優れた作品となりました。受賞作品は第二部門が昨年の８作品から大幅に減少したほかは、昨年の比率に近いものとなりました。次回は、第二部門からの多くの作品の応募を期待したいところです。

農林水産大臣賞を受賞した「ＥＦ木材加工場」は、120㎜角とその半割材を組み合わせて、不定形で大きな空間を創り出していることが、高く評価されました。また、国土交通大臣賞を受賞した「十津川村災害対策本部拠点施設」も、地域で入手可能な製材を用いた建築ですが、建築のみならず、地域での様々取り組みの一環であることが評価されました。

昨年に引き続き設けた「ウッド・ムーブメント賞」は、第四部門から、様々な展開が期待できる、木材を用いたシステムの提案が選ばれました。また、今回新設された「グローアップ賞」は、第三部門から、様々な形態の内装に木材を活用した事例が選ばれました。

木材青壮年団体連合会の会員の方々に選んでいただく「木材開拓賞」は、例年は他の賞との重賞となることが多いのですが、今回は単独受賞となりました。会員の方々には、建築設計として優れており、かつ室内のあたたかな雰囲気の感じられる作品を選んでいただいたことに敬意を表します。

今後も、木材活用コンクールに、より高いレベルの作品が多数応募されることを期待いたします。

最優秀賞

農林水産大臣賞



エバーフィールド木材加工場

講評　強度の高い地元産小国杉を用い、一般流通材に拘って複雑なトラス構造の組み合わせで、素晴らしい大空間を実現している。社員大工によって施工されたことにも大きな意義がある。

最優秀賞

国土交通大臣賞



十津川村災害対策本部拠点施設

講評　RC造を採用することが多い防災拠点施設に木造を選択して積極的に木材活用していることが素晴らしい。事前に地元で供給可能な部材断面の大きさと長さを確認したうえで設計していることも評価できる。また菱十字構造の美しさを上手く見せている。

優秀賞

林野庁長官賞（第1・第2部門）



伊勢遺跡史跡公園遺構展示施設

講評　凹凸のついた杉無垢天井材を活かした設計と施工技術が素晴らしい。圧倒的な木質空間で来館者に強く木のインパクトを与えている。デザイン性が高く、新たな木材の使い方を提案している。

優秀賞

林野庁長官賞（第3・第4部門）



meet tree GINZA

講評　一般流通材のヒノキ正角材を使い、デザイン性の高い室内空間を都市部において演出している。正角材を若干斜めに落として台形を連続させるという、単純なようで難易度の高いアイディアが素晴らしい。

優秀賞

（公財）日本住宅・木材技術センター 理事長賞



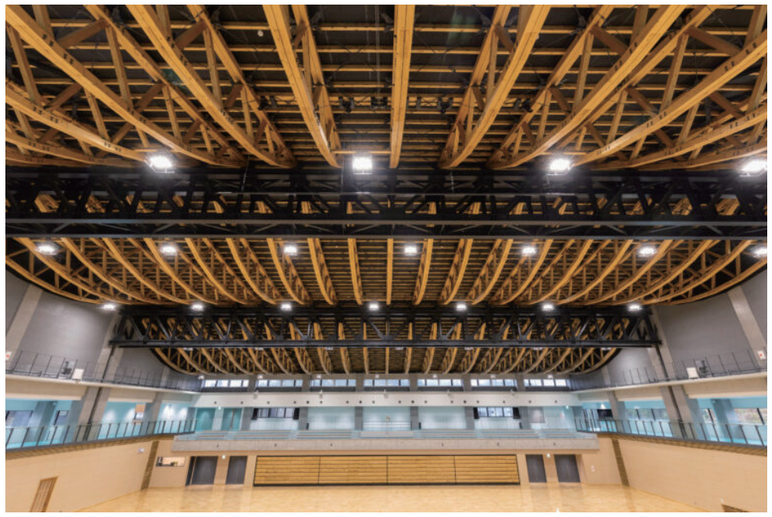
リブウッド大阪城

講評

敷地内の地下に下水管が通っているなど、悪い条件の大阪の都市部で、耐火性能を担保しながら、多様な産地の材料を使った木造ビルを実現しており、木材の見せ方への強いこだわりが感じられる作品となっている。

優秀賞

（一社）全国木材組合連合会 会長賞



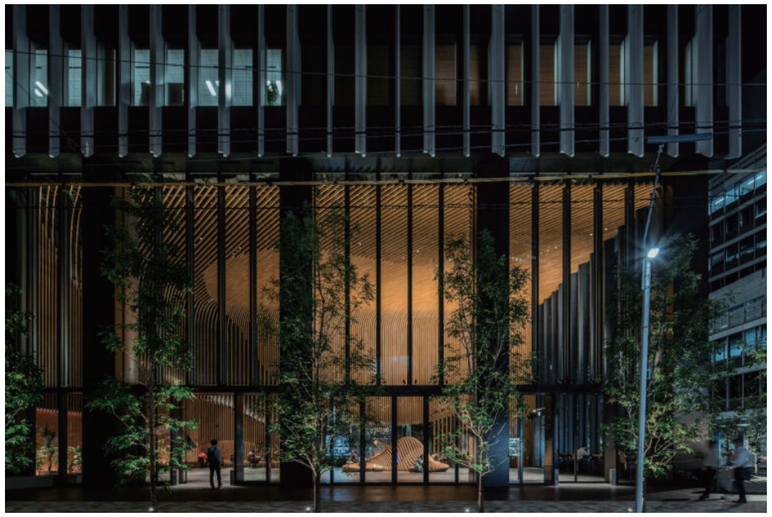
山都町総合体育館パスレル

講評

山都町産のヒノキ丸太から製材した一般流通サイズのJAS材を使い、弓弦トラスと鉄骨トラスのハイブリッド構造でダイナミックな大空間を実現している。下弦材の接合部に追掛け継ぎを採用するなど、構造的な工夫と加工技術も素晴らしい。

優秀賞

（一社）日本インテリアプランナー協会賞



第2名古屋三交ビル

講評

多くの人が訪れる都市部の屋内公開空地の大空間に、ルーバー材を用いてダイナミックで美しい曲面をつくる繊細な設計と施工技術が素晴らしい。利用者にとって居心地のよい洗練された木質空間を作り出している。

優秀賞

（一社）JBN・全国工務店協会 会長賞



京北の木材で大工の卵たちと造る磨き丸太方杖のある木造倉庫

講評

京北の木材を用いて、大工の卵たちと造った磨き丸太方杖のある木造倉庫である。プレカット加工が主流となって墨付け出来ない大工が増えている中で、大工加工技術の伝承につながる、若手を育てる取り組みが素晴らしい。

優秀賞

日本木材青壮年団体連合会 会長賞



AQ Group本社屋

講評

８階建ての木造を実現するために様々な構造的工夫がなされており、耐火構造のために被覆された主要構造材の間に、高倍率の格子耐力壁を現しで配置するなど、構造的デザイン性を高めながら木造ビルであることを強く発信している。

特別賞

グローアップ賞



四万十市総合文化センター しまんとぴあ

講評

あらゆるところにルーバーや格子組を用いた地元産の四万十ヒノキを上手く使った建築である。音響のために木材を上手に利用し、柔らかくて美しい空間を作り上げている。メインファザードの軒庇にも桧材を曲面に施工し、来館者にインパクトを与えている。

特別賞

ウッド・ムーブメント賞



モバイルインフィル®

講評

主要な構造となっている四本の部材の組み合わせ方が巧妙である。組み立てから解体までの施工性もよく考えられているおり、クランプ金物を使った同様のタイプのものと比べ、デザイン性にも優れている。

部門賞

第1部門賞



DLT木造仮設住宅

講評

一般流通材を利用したDLTでユニットを作成し、それを千鳥状に配置するカルバート構法という効率的な設計で、恒久的な仮設住宅を建設している。被災者に安心な住まいと木の温もりを提供している。

部門賞
第2部門賞

大法師山の立体格子

講評

立体格子の木架構が象徴的な社屋の建築である。4寸角の束ね柱と束ね梁の接合部に、伝統的な構法ではなく金物構法を採用するなど、構造的な工夫が随所にみられる。

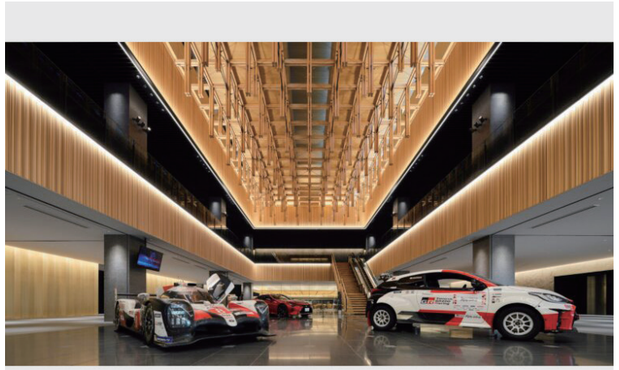


部門賞
第3部門賞

Toyota Technical Center Shimoyama 車両開発棟・来客棟

講評

間伐材を簡素な継ぎ手を用い、音を拡散する音響素材として木材利用している。RC構造の建物でありながら、細く短い間伐材を組み合わせた張弦梁など、繊細な設計で木の良さを上手く引き出している。



部門賞
第4部門賞

Fat Wood Shoji / 肥松の障子

講評

木材を薄くスライスすることで肥松の色味や木目を活かすアイディアが斬新である。インテリアデザインとしてのインパクトが強く、障子だけでなく他の用途にも活かせる木材の新しい使い方を提案している。



木材活用賞

カモ井加工紙 営業事務所棟

講評

断面欠損を最小限に抑えて柱梁を組み合わせた、耐震壁を用いない他に類を見ない木架構である。実大実験結果を基に慎重な構造解析を経て実現している点が評価できる。



木材活用賞

NISHIU de repos

講評

地元産の大径材を利用して、杉の心材と辺材の特性を活かした芯去り平角材の使い方が見事である。構造材、内外装材ともに木材使用量が多い点とエレベーターシャフトまで木造となっている点も評価できる。



木材活用賞

岡崎のオフィス

講評

平面が台形かつ立面が三角形という、非常に変化に富んだ面白い空間を木質構造で作り上げており、今後の展開に期待したい。



木材活用賞

苔庭の家

講評

複雑な形状の曲面天井を、特殊なリブ加工板を用いて上手に施工しており、上品な木質空間を演出している。



木材活用賞

枝ベンチ

講評

山の伐採現場に行けばどこにでもあるような枝付き丸太を、上手く利用した創造性の高い作品である。端部を曲面にすることで、木目を綺麗に見せながらデザイン性を高めている。



木質開拓賞（日本木青連会員賞）

石川県森林公園屋内木育施設
もりのひみつきち

講評

メインとなる木育ホールの放射状レシプロカル構造の小屋組みが気持ちの良いデザインになっている。エントランスホールの有機的多角形屋根や二重筒状耐力壁面などの構造も素晴らしい。



木青連活性化委員会



委員長
長谷川泰治

本年度の木青連活性化委員会におきましては、計６回の委員会会議を開催いたしました。

各回には、オンラインも併用しつつ、たくさんの地区長・会団長の皆様にご参集いただきました。会議では、令和６年度のスローガンおよび活動内容の説明、全国木造建設事業協会との災害連携協定に関する報告、一般社団法人MSR設立に向けた経緯の共有、さらに令和7年度のスローガンと活動計画についても説明する機会を設けることができました。これにより、理事会だけでは十分にお伝えしきれなかった内容についても補足することができ、委員会として有意義な役割を果たせたのではないかと感じております。

また、会員拡大に向けた各地の取り組みにつきましては、奈良・大阪・宮城の各会団による実践事例を共有し、それぞれの勧誘方法やチラシ等のツール活用を通じて、極めて有意義な情報交換の場となりました。加えて、Googleフォームを用いたアンケート調査も実施し、日本木青連としての勧誘チラシの必要性について、会員の皆様の率直なご意見を把握することができました。これらの結果をもとに、令和２年度版の日本木青連パンフレットを改訂し、新たに令和６年度版の「日本木青連 勧誘チラシ」（次ページご参照）を制作いたしました。当チラシは、会員ページからのダウンロードに加え、2,900部を印刷のうえ、全国各地区へ配布済みです。勧誘活動にぜひご活用いただければ幸いです。

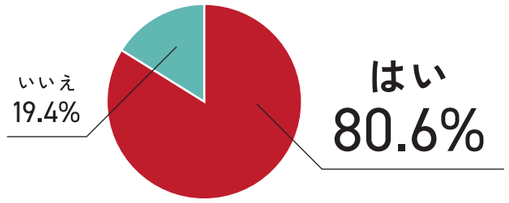
さらに、アンケート結果からは、各地区・会団において多種多様な交流イベントが活発に実施されている実態が明らかとなりました。こうしたイベントは、セミナーや懇親会にとどまらず、事業所見学会やビジネスマッチングイベントなど、幅広い形式で行われており、会団の活性化に大きく寄与しているものと感じております。

特に、積極的に活動されている会団におかれましては、勧誘を含む多様な取り組みの成果が顕著であり、さらにそうした会団同士の横のつながりによる交流も、全国各地で広がりを見せております。一方で今後の課題として、会員数の減少が見受けられる会団や、現在休会中の会団への支援と活性化の働きかけが、喫緊のテーマであると強く認識しております。

令和７年度も、木青連全体の活力をさらに高めていけるよう、各会団の再興や活性化に向けた支援を、引き続き積極的に進めてまいります。結びに、アンケートにご協力くださった皆様、また委員会会議にご参加いただいた皆様に、改めて心より感謝申し上げます。本年度一年間、誠にありがとうございました。

Questionnaire

日木青連として勧誘用のツール（パンフレット等）はあった方が良いと思いますか？



※Googleフォームアンケート調査／36件の回答



＼全国の仲間がここにいます／

日本木材青壮年団体連合会

会員募集

組織概要

団体名	日本木材青壮年団体連合会
団体設立年月日	昭和31年10月13日
会員数	約900名
活動範囲	日本国内一円
役職員構成	常任理事約30名、理事約130名

日本木材青壮年団体連合会とは

全国の木材産業に携わる経営者や経営者を目指す青壮年が集い、様々な活動や交流を通して、親睦を深め相互に啓発し、知識と品位の向上を図り、木材産業の普及啓蒙をはじめとした振興活動を行い社会に貢献することを目的とした団体です。
全国８地区からの連合会として組織形成され、北海道から九州まで約900名の木材産業に携わる会員が所属しています。世界的に注目されている木材利用において、会員間のネットワーク構築だけではなく、他分野、他産業との関係構築を積極的に行い、公私ともに有益な成果が得られる活動を行っています。



全国会員大会

日本木材青壮年団体連合会の最も大きなイベントは、毎年開催され会員やOB、関係団体の方々500名以上が集う全国会員大会です。連合会の礎となる８地区の輪番性で行い毎年異なる地域で開催されるため、多様性を活かした有意義な集まりとなっています。参加をすれば、必ず良い出会いやご縁が生まれる素晴らしい大会が毎年開催されています。

「日本木青連」は、さまざまな活動を行なっています

木育活動

木工工作コンクールの開催

毎年、日本全国の小学生・中学生から２万近くの作品応募がある木工工作の全国大会といってもよい規模のコンクールを約半世紀も継続開催しています。この活動から「木育」という言葉が全国に広まったといっても過言でなく、会員にとっても多くの学びがあり、地元の学校や自治体とのネットワークを構築できる場となっています。

木工工作webページ



木材活用推進

木材活用コンクールの開催

建築や製品等４つの部門を設けて募集し、木材の良さの普及と木材の利用用途の拡大に貢献する優秀な作品を表彰するコンクールを開催しています。木材活用を評価するコンクールとして大手ゼネコンや建築家だけではなく、デザイナーや非住宅施設関係者など多くの方々からの応募があり、木材や木造関係者以外とのネットワークを構築できる素晴らしい機会となっています。

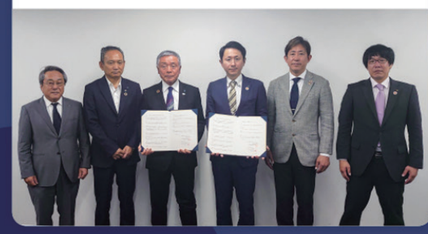
木材活用webページ



助け合い

災害時の支援活動

日本木青連では災害時などで事業継続が困難な時に地域を超えた会員間の助け合い活動が盛んに行われています。災害時の支援活動も積極的に実施しており、令和４年度には全国木造建設事業協会と災害連携協定を結び、応急仮設住宅への材料提供を行なっています。また、ウッドトランスフォームシステムなど木材と災害支援を組み合わせたユニークな取り組みも日本木青連からスタートした活動です。



学びの場

勉強会やセミナーの開催

勉強会や講演会を頻繁に開催しています。木材業界や建築業界の有名な先生や事業家だけではなく、様々な分野の講師をお招きして会員向けには無料でセミナーを開催しています。オンライン参加可能なセミナーも多く、基本的な内容から最新のトレンドまで幅広く効率的に学ぶことができます。令和６年度からはじまったBundleセミナーでは外部の受講生を募り木材業界のスタートアップの支援をしています。



日本木材青壮年団体連合会

会員募集中！　お気軽にご相談ください
〒135-0041　東京都江東区冬木6-14飯沼ビル102
TEL　03-5620-4806　　FAX　03-5620-4809
E-mail　info@mokusei.net
mokuseiren.jp

リバイバル委員会
（災害復興支援特別委員会）



委員長
甲村耕三



担当窓口
古谷隆明

令和６年度、石川県では能登半島地震および豪雨災害が発生しました。

震源に近い能登地域を中心に建物の倒壊や損壊が広範囲に及び、多数の住宅が全壊または半壊する被害が発生しました。特に古い木造住宅や歴史的建造物に甚大なダメージが見受けられ、日常生活や地域の景観に大きな影響を与えています。また道路、下水、電力といったインフラ施設も損傷を受け、復旧作業には多大な時間と労力を要している状況です。

当会では令和５年に立ち上がった復興特別委員会をR6年度も引き継ぎました。委員会名には「復興」の言葉は選ばず、「リバイバル＝再生」を選びました。現況の報告、支援の呼びかけを行い、皆様には被災地に寄り添い、たくさんの心温まるご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

水や食料などの生活支援物資のご提供をはじめ、現地でのボランティア活動や、ウッドトランスフォーム、組手什などの木での支援、そして仮設住宅建設への資材供給など多岐にわたるご支援を頂きました。この厳しい状況下でのご厚意は、被災された方々にとって大きな励ましとなり、再生に向けた大きな力となっています。会員が結束したことにより単なる物的支援にとどまらず、「ともに歩む仲間」という強い思いが込められ、能登地域の希望の光となりました。

今後も復興には長い時間を要しますが、皆様からの温かな支援を胸に、地域一丸となって歩みを進めてまいります。改めまして、深いご理解とご協力に対し、心からの感謝を申し上げます。





























地区活動報告

北海道地区

令和６年度 北海道地区協議会 会長　山本 純也



令和６年度の北海道地区協議会は、『定常を捨てて 外へ出よう！』というスローガンの下、活動を行って参りました。定常「一定していて変わらないこと」から、外へ出て色んな出会いをして、変化に触れ変わっていこう！ということに主眼を置いて、令和５年度に引き続き、渉外委員会を設置し事業を行いました。本年度は九州福岡地区の視察研修を実施し、企業訪問、交流を行わせていただき、さらには九州佐賀の地区大会にも参加し、得難い経験をすることが出来ました。福岡地区・九州地区の皆様有難うございました。また、北海道地区大会の際は、前年交流した関東・東京地区の皆様に前乗りで旭川に来ていただいての更なる親交、また北海道としても初めての試みであるボーリング交流会を通しての交流と、有意義な活動を行うことが出来ました。これも支えていただいた皆様のおかげと感謝申し上げます。最後に今期集大成の全国会員関西大会が盛会に開催されますことを祈念申し上げます！盛り上がっていきましょう！

東北地区

令和６年度 東北地区協議会 会長　寺島 信弘



原人ではなく縄文人です。青森県が紡いだ縄文人です。まずは、第70回全国会員関西大会の御開催、誠におめでとうございます。さて、令和６年度東北地区協議会のスローガンは「探求」とし、東北各地で木材界を牽引する仲間達の工場見学や親睦を通じ、精通する木と木材製品、その機械など、知識を教わることで、個々の社業への学びと発展に努めることを目的に活動してきました。

令和６年度当協議会79名の仲間達がおり、東北各地域で木材界を牽引しております。「当協議会の仲間達を知ること」は「正しい姿勢」の一つとして、会員拡大やビジネスにおいて人脈を築き、信頼できる仲間のコミュニティを構築することが、次の世代により求められると考えております。これからも「探求」してまいります。

最後に甲村耕三会長を始め令和６年度常任理事の皆様、各地区会員・関係者皆様、また当協議会皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。１年間ありがとうございました。

北信越地区

令和６年度 北信越地区協議会 会長　古谷 隆明



私は副会長と地区長を兼務しました。事業を作る側とジャッジする側、２人の自分が必要でした。不安でしたが地区長軍団を見るとキャラが濃いメンツ。不安は直ぐに楽しみに変わりました。25年２月に「リバイバル」をテーマに地区大会を開催しました。「変わらないために変わる」為に行ったそれぞれの地区大会。あいさつは特別な衣装で行うことが定番化し、ここでやるの！？という地域も見ながら北信越も例年通りではないことを考えていきました。「形式的な型」と「おまえ、なめてんのか！？」の境目をギリギリ攻める感じでした。会場はライブハウス、服装は自由、挨拶は歌から、飲みながら参加、とにかく普段着な雰囲気を優先しました。ひとつの新しいカタチで定着できればとの想いで開催しました。また自分が地区長ならば、オレ全開で進めようと決め、演出には「ゆるキャラ・里山ウッディー君」「作詞・作曲とレコーディングしたテーマソング」「松本梨香さんを声優に迎えたアニメ」「おかあさんといっしょの上原りささんによるダンスムービー」、そこに県木「能登ヒバ」の高付加価値化を目指した楽器、2023ミス日本みどりの大使で能登ヒバアンバサダーでもある「上村さや香」さんの講演とライブなど、これまでの活動で関わった財産を全て出しました。そして林業従事者応援ソング「森で愛ましょう」をメッセージに参加者とこれからの話を出来たことは忘れることは出来ません。私にとっての木青連の活動におけるメリットは会員同士の絆です。今年は特に強く感じました。将来、木材人生を振り返った時のハイライトになる１年になりそうです。皆様ありがとうございました！

関東地区

令和６年度 関東地区協議会 会長　渡辺 健人



「関東はひとつ！」をテーマに、会員同士が楽しく交流し学びや情報を得られる機会を作ってまいりました。

東京新木場の木材会館で開催した「関東地区東京大会」には、関東の会員をはじめ、ご来賓、常任理事、理事、ＯＢの方々に多数のご参加をいただき、また多くの仲間に助けていただきました。厚く御礼を申し上げます。

式典では木材がもつ価値を改めて共有し、苦しくて前が見えない時にこそ行動することの大切さを学び、懇親会で各地から集まった同世代同業者とのネットワークを築き、縄文人のように元気にがんばろう！やってやんぜ！と、屋形船でテキーラを飲み干しながら皆で歌い語り合えた、楽しい大会でした。

この度の第70回全国会員関西大会は、新しい時代で自身の弾を撃つ正しい姿勢を体現し、内に秘める小宇宙を赤く燃焼させる、大盛会となることを祈念しております。

一年間、多くの方に支えていただきました。本当にありがとうございました。

東海地区

令和６年度 東海地区協議会 会長　佐部利 健太



第70回全国会員関西大会の開催、誠におめでとうございます。

令和６年度の甲村会長の「正しい姿勢」というテーマに考えさせられる年だったと感じます。コロナが空けて、活動に自由が戻る中、取り巻く環境は大きく変わりました。この高効率を求める社会ニーズの中で我々は非効率の代表格の職種と言われております。建設用に於いては働き方改革、石綿の届け出、４号特例の廃止、省エネ法義務化、それに遡及する既存不適格と改修工事の解釈に頭を悩ませる中、この「正しい姿勢」というテーマが日々の業務中に何度も思い出させられました。愛知・三重・岐阜の３会団からなる東海地区協議会はこの「正しい姿勢とは何か」を己に問い、日々の業務で恥ずかしい言動をしていないかを問う東海地区大会をしました。私もこの１年間この建設業の中で後世に残せるシステム開発の挑戦をしました。我々生産者の立場の人間はお互いに利害関係が一致しないと関係が深まらないため、現在の職種、業態、課題、挑戦を発信してその利害の糸口を見つけるのが今後の課題だと思いました。

令和８年度は東海地区で全国大会となりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしています。１年有難うございました。

近畿地区

令和６年度 近畿地区協議会 会長　伊藤 喜隆



令和６年度近畿地区協議会はスローガンを [WELCOM TO NEW ERA] と掲げ、新たな時代に向けて、若い担い手が活発に交流できるよう、会員交流委員会を設け、昨年能登で発生した地震、豪雨等の災害への備えを学ぶ為に阪神淡路大震災から30年となることから「人と未来防災センター」を見学し、被害の凄まじさを実感するとともに被災地で人と人とが助け合う姿が印象的でした。第２回研修会は、心理的安全性や、信頼関係の築き方などコミュニケーションに関するセミナーを行い、年齢問わず、社内外で役に立つ内容で、ワークショップの時間も設け、有意義な会員相互の交流の時間となりました。

もう一つの委員会、近畿大会実行委員会は、全国大会の決起大会と位置付けて、近畿地区105名、他地区会員・OBが35名と140名の会員の皆様に参加していただきました。歴史的建造物が近年は続きましたが、世界遺産に登録されている人形浄瑠璃が日常開催されている国立文楽劇場で式典を、大阪のホテル最上階で都会らしい懇親会をということでホテル日航大阪で開催させていただきました。なかなか行けない場所にこれだけ多くの会員が集まり、交流することで、会員同士の結束力も高まり、全国大会に向けて弾みがつきました。

１年間ご支援ご協力ありがとうございました。引き続き次年度もよろしくお願いいたします。

中四国地区

令和６年度 中四国地区協議会 会長　吉田 伸



この度は第70回全国会員関西大会の開催、誠におめでとうございます。

令和６年度の中四国地区協議会は例年５回の役員会を行いますが、そのうちの４回に各担当会団に交流会を開いていただきました。今年の当会のスローガン「やってみよう！let's give it a go」に沿い、今までやった事の無い、経験した事の無い事に挑戦してみようをテーマに座禅、オリジナルモルック大会、休会地区でのボーリング大会、そして異業種との勉強会を企画していただきました。また、昨年の９月14日には第53回地区大会を無事行う事ができました。大会でも挑戦として、講演会ではなく大交流会を行い、参加会員に名前、社名だけでなく事業紹介もしていただき、交流を深めました。更なる新しい縁、深い絆が出来たと思います。今後も各員が「正しい姿勢」で日本木材青壮年団体連合会に臨んでいけたらと思います。最後になりましたが日本木材青壮年団体連合会理事の皆さま、中四国地区協議会の皆さま、１年間本当にありがとうございました。

九州地区

令和６年度 九州地区協議会 会長　福田 マイケル



Ｒ６年度の九州木青連は【集え！交わせ！そして拓け！】をスローガンに掲げ活動をしてきました。九州各地で７回の理事会を開催し、11月には若手交流事業として40才以下を対象に森林伐採現場や原木市場、製材工場や集成材工場をめぐる視察研修を宮崎県日向市にて開催し川上から川下までの流れを学び、異業種間の交流会の中でこれからの木青連を担うメンバーの結束に繋がりました。９月には台湾に渡り台湾木材組合連合会との交流研修事業を行い日本木青連からも多数の参加を頂きました。

九州地区大会は佐賀城本丸歴史館の外御書院(320畳)で150名を超える参加を頂き盛大に開催することができました。大懇親会ではメインステージとして聖闘士星矢LIVEを披露させて頂き参加者の心を一つにし、を感じて頂けたものと確信しています。

一年間ありがとうございました。

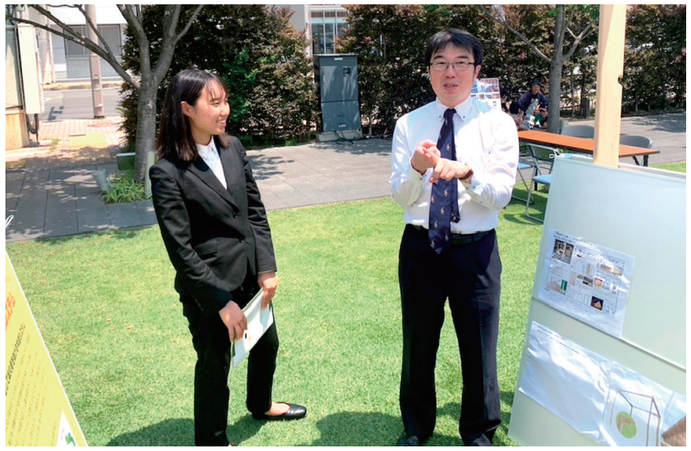
ウッドトランスフォーム システム商品化部会



部会長
多田啓

平成28年熊本地震発生時、他の機関・団体よりも早く被災地に空間を届けた初期型ウッドトランスフォームの運用から、当年度の日本木青連活動でフェンス小屋の仕組化を実現した。平成30年度、令和元年度には平常時-災害時に変形するコンセプトを引き継ぎ、広く一般からアイデアを募るコンペティションを実施。令和２年からはアイディアコンペティションに寄せられた多数の応募の中から商品化を見据えて外部企業を 交えた部会活動に移行した。令和２年に完成した２商品（帝国器材（株）「transform table」、（株）エバニュー「NEST BOX」）を以って、令和３～６年度は寄贈事業などを通じて普及啓発を図ってきた。商標の取得、新商品の「ジラーフユニット」を加えている。





令和６年度活動実績・寄贈事業

■６月８日（土）、９日（日）日本木青連第69回全国会員長野大会（長野市）にてブース出展
■10月５日（土）、６日（日）木と暮しのふれあい展（東京都江東区）にてブース出展
■令和７年３月７日（金）木材会館会議室にて、ウッドトランスフォームシステム協会決起大会を開催。
リアル・zoom併用で開催した結果、30名以上の関係者の中、日本木青連ウッドトランスフォーム商品化部会の発展的解消と新たにウッドトランスフォームシステム協会の設立予定を発表。

（株）長谷川萬治商店　寄贈品：NEST BOX

扇橋小学校（9/2）　第一亀戸小学校（9/3）　豊洲西小学校（9/4）　第七砂町小学校（9/5）

肥後木材（株）　寄贈品：NEST BOX

泉ヶ丘小学校１台　若葉小学校２台　弓削小学校２台　長嶺小学校２台　東町小学校１台　人吉東小学校２台
各学校寄贈後、木育授業の実施。





令和７年度以降は日本木青連他含めた団体と連携し、「木の防災」をキーワードに活動を継続予定。

部会長所信

５年間にわたり、日本木青連の一部会として活動をさせて頂きました。今後は一つの団体として節目を迎えますが、ここまで活動が継続できましたのも、日本木青連の会員のご理解と、部会メンバーの支えがありました。特に、会団、企業による継続的に地元小学校への寄贈は活動の軸となりました。各展示会でも非常に高い関心を頂き、災害大国日本と日本の木の文化のコラボレーションのポテンシャルを感じました。

**日本木材青壮年団体連合会
ウッドトランスフォーム
システム商品化部会メンバー**

山崎和昭、高橋暢介、市之瀬嘉樹、長谷川泰治、由井正宏、梅谷雄高
服部真俊、圓佛英之、平川 典秀、三瀬宏土、佐藤圭一郎（敬称略）

監事講評



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度 監事

阿部高志

みなさん、この１年どんな姿勢で木青連活動や社業に取り組まれましたか。

甲村会長が「正しい姿勢で」というスローガンとともに「変わらないために変わり続ける」と常々おっしゃっていました。日本木青連、会員企業、会員自身の成長や進化を続けること、変わらない価値や存在感を磨いていくことだと理事会の度に考えさせられた1年でした。

新設委員会であった杢人間力、スタートアップの両事業からも感じるように、先駆者、挑戦者のみなさんから新たな気づきや情報をいただける機会の創造はできたと考えます。それをどのように生かすことができるか、それは会員一人ひとりの姿勢次第です。

一方、ここ数年、継続事業の引継ぎが不十分であったことが見受けられます。関係各所のご協力をいただきながら進めていく事業もあるため、事業目的を果たせるよう丁寧に事業を進めてほしいものです。また、計画や実績を報告する際には、可能な限り数字で示していただき、体感による個人差をなくし目線を揃えて事業を進めていただきたいです。

日本木青連の各事業のほか、各地区、会団の中でも良いものは継続して磨き続ける、不具合があれば変えていく。これを繰り返していくことで、年々素晴らしい組織や事業へと磨かれます。日本木青連がすべての会員にとって有益であり、仲間とつながれる場であり続けることを願っております。
今日も楽しく前向きに行きましょう。
１年間ありがとうございました。

監事講評



日本木材青壮年団体連合会
令和６年度 監事

圓佛英之

「先施の心」で取り組んだ日本木青連

令和６年度は、「正しい姿勢で」のスローガンのもとに「先施の心」で現在までの日本木青連活動を深く考え、会員同士が連携・結合・共同しながら新たな行動を起こせた１年だったのではないでしょうか。

動画配信とリアル開催で木材人として人間力が高まった杢人間力委員会、林業・木材業界の起業家養成塾「Bundle」を通じて木材業界の新たな可能性や気付きを得られたスタートアップ委員会、ブラッシュアップした木材活用コンクールを開催したグローアップ委員会、補助金事業にもチャレンジし木工工作コンクール参加会団を増やす取り組みで“木工工作は爆発だ”の木育創造委員会、JBNとの連携強化やメンバーの本音が聞けたウェビナーを開催したブランニュー委員会、木青連のネットワークで実現した能登地震復興の為のリバイバル委員会。そして、多くの繋がりを創出した全国会員に開かれた理事会の開催。

このような多くの新設委員会と精査された既存事業の委員会や活動によって、メンバーにとってより存在意義のある団体だと感じる事が出来たと思います。

この１年で得た学びや繋がりを大切に次の新たな一歩を踏み出しましょう。

最後に、令和６年度に監事として日本木青連活動に携われた事、貴重な機会を頂けた事へ感謝を申し上げて、総括とさせていただきます。

全国会員大会 大会史

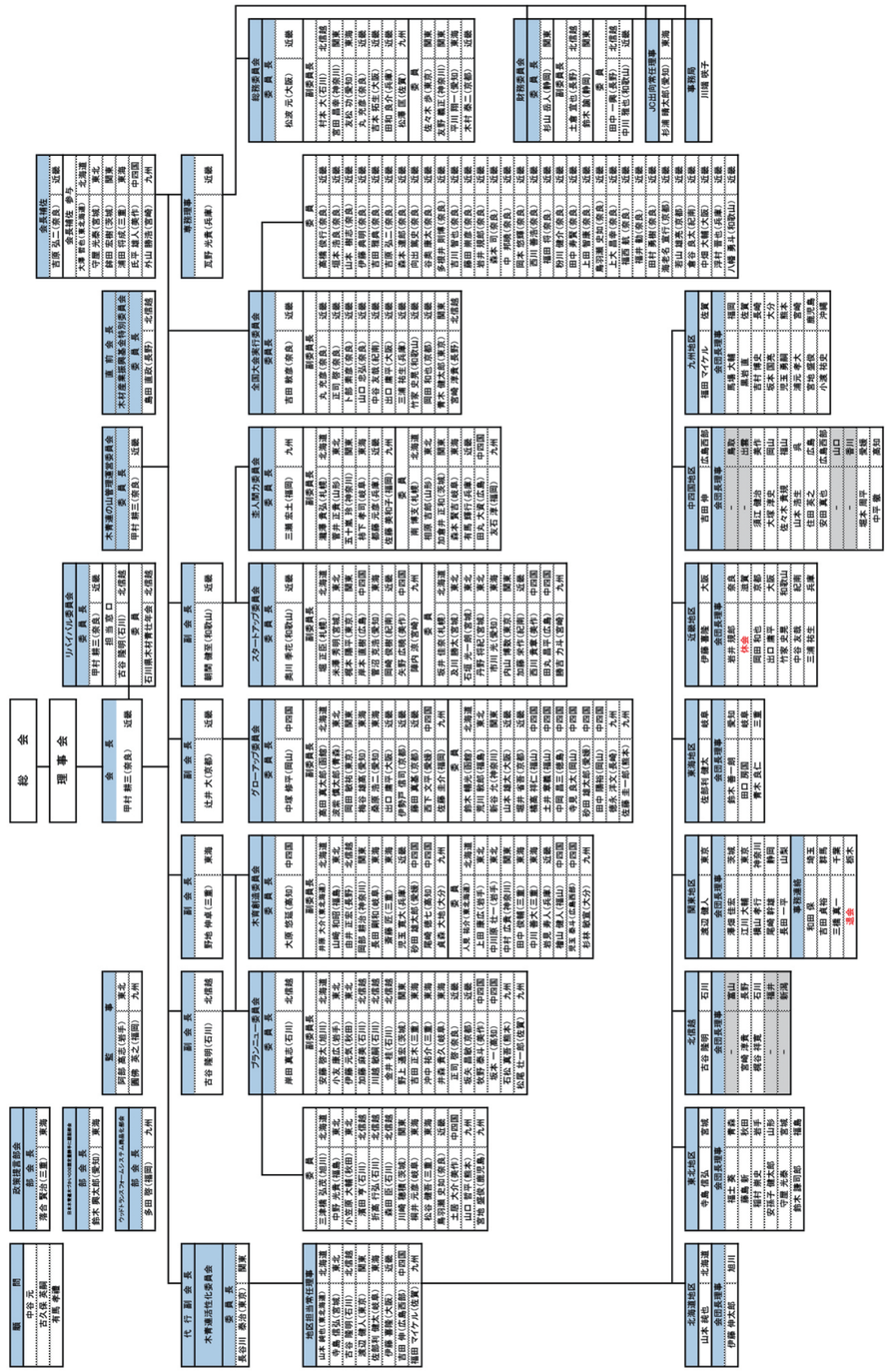
回	大会名	開催日	開催地	会長
第１回	総　会	昭和31.10.13	東京都	伊藤一郎運営委員長
第２回	総　会	昭和32.10.21	熱海市	伊藤一郎運営委員長
第３回	総　会	昭和33.8.24	和歌山市	伊藤一郎運営委員長
第４回	総　会	昭和34.8.5	函館市	伊藤一郎運営委員長
第５回	総　会	昭和35.9.17	桜井市	伊藤一郎運営委員長
第６回	総　会	昭和36.10.15	名古屋市	西本 嗣
第７回	総　会	昭和37.10.14	広島市	佐藤 正徳
第８回	総　会	昭和38.6.9	熱海市	佐藤 正徳
第９回	総　会	昭和39.9.7	仙台市	鈴木 正治
第10回	総　会	昭和40.6.6	富山市	村松 幸一
第11回	総　会	昭和41.6.11	札幌市	加藤 誠蔵
第12回	全国会員 大阪大会	昭和42.3.17～18	大阪市	荻田 辰生
第13回	全国会員 東京大会	昭和43.6.15～17	東京都	小池 栄作
第14回	全国会員 熊本大会	昭和44.6.17	熊本市	榎戸 勇
第15回	全国会員 広島大会	昭和45.6.4	広島市	小林 敏雄（和泉会長代行）
第16回	全国会員 京都大会	昭和46.5.9～10	京都市	若山 備弘
第17回	全国会員 名古屋大会	昭和47.5.21～22	名古屋市	安藤 友一
第18回	全国会員 長野大会	昭和48.6.3	長野市	荒井 宏一郎
第19回	全国会員 神奈川大会	昭和49.5.12	横浜市	菅沼 歌郎
第20回	全国会員 青森大会	昭和50.6.8～10	青森市	駒井 満夫
第21回	全国会員 北海道大会	昭和51.6.12	札幌市	宇野 利一
第22回	全国会員 大分大会	昭和52.4.10	別府市	若松 舜児
第23回	全国会員 岡山大会	昭和53.5.20	岡山市	西川 寛
第24回	全国会員 石川大会	昭和54.5.19	金沢市	片境 繁
第25回	全国会員 兵庫大会	昭和55.4.13	神戸市	菅生 清左衛門
第26回	全国会員 静岡大会	昭和56.5.10	熱海市	影山 弥太郎
第27回	全国会員 岐阜大会	昭和57.5.21～23	岐阜市	谷本 敏彦
第28回	全国会員 宮城大会	昭和58.5.27～29	仙台市	佐藤 安彦
第29回	全国会員 福岡大会	昭和59.6.1～3	福岡市	吉崎 修司
第30回	全国会員 北海道大会	昭和60.6.7	札幌市	村井 幸雄
第31回	全国会員 広島大会	昭和61.3.21～23	広島市	大之木 伸一郎
第32回	全国会員 福井大会	昭和62.4.5	福井市	島田 基正
第33回	全国会員 大阪大会	昭和63.3.18～19	大阪市	頴川 五郎
第34回	全国会員 東京大会	平成元.5.12～13	東京都	髙田 庄一
第35回	全国会員 三重大会	平成2.5.11～12	伊勢志摩	黄瀬 稔
第36回	全国会員 岩手大会	平成3.5.17～18	盛岡市	澤口 竜太郎
第37回	全国会員 長崎大会	平成4.6.5～7	長崎市	鈴木 泰彦
第38回	全国会員 北海道大会	平成5.6.4～5	札幌市	松原 正和
第39回	全国会員 岡山大会	平成6.6.4～5	岡山市	田中 隆行
第40回	全国会員 富山大会	平成7.5.19～20	富山市	米澤 克邦
第41回	全国会員 京都大会	平成8.6.7～8	京都市	若山 貴義
第42回	全国会員 神奈川大会	平成9.5.16～17	横浜市	栗林 一郎
第43回	全国会員 愛知大会	平成10.6.5～6	名古屋市	鈴木 龍一郎
第44回	全国会員 山形大会	平成11.6.4～5	山形市	榎戸 正人
第45回	全国会員 宮崎大会	平成12.6.9～10	宮崎市	久保 泰人
第46回	全国会員 広島大会	平成13.6.8～9	広島市	田中 信行
第47回	全国会員 長野大会	平成14.6.7～8	長野市	齊藤 廣
第48回	全国会員 奈良大会	平成15.5.23～24	橿原市	吉田 勝亮
第49回	全国会員 静岡大会	平成16.6.11～12	静岡市	影山 秀樹
第50回	全国会員 岐阜県飛騨高山大会	平成17.5.27～28	高山市	山田 貴敏
第51回	全国会員 福島県いわき大会	平成18.6.2～3	いわき市	日當 和孝
第52回	全国会員 福岡大会	平成19.6.8～9	福岡市	角 博
第53回	全国会員 広島大会	平成20.6.13～14	広島市	日當 和孝
第54回	全国会員 金沢大会	平成21.5.29～30	金沢市	江守 淳一
第55回	全国会員 大阪大会	平成22.6.18～19	大阪市	久我 洋一
第56回	全国会員 埼玉大会in静岡（東日本大震災復興決起大会）	平成23.6.3～4	静岡市	落合 祐二
第57回	全国会員 三重大会	平成24.5.25～26	津市	落合 賢治
第58回	全国会員 岩手大会	平成25.5.31～6.2	盛岡市	吉田 良弘
第59回	全国会員 宮崎大会	平成26.6.13～15	宮崎市	木脇 桂太郎
第60回	全国会員 四国愛媛大会	平成27.5.22～24	松山市	川西 雅也
第61回	全国会員 福井大会	平成28.6.10～22	福井市	下荒 隆晴
第62回	全国会員 近畿大阪大会	平成29.6.16～17	大阪市	越井 潤
第63回	全国会員 東京大会	平成30.5.11～12	東京都	荒井 浩
第64回	全国会員 愛知大会	令和元.6.21～22	名古屋市	鈴木 興太郎
第65回	全国会員 東北宮城大会	令和2.11.2	仙台市	亀山 武弘
第66回	全国会員 九州熊本大会	令和3.6.18～19	熊本市	多田 啓
第67回	全国会員 北海道大会	令和4.5.28	札幌市	松原 輝和
第68回	全国会員 高知大会	令和5.6.2～3	高知市	川井 博貴
第69回	全国会員 長野大会	令和6.6.7～8	長野市	島田 直政

歴代会長名簿

第１代会長	伊藤　一郎	
第２代会長	西本　嗣	
第３代会長	佐藤　正徳	
第４代会長	鈴木　正治	材摠木材（株）
第５代会長	村松　幸一	
第６代会長	加藤　誠蔵	（株）マルヒロ
第７代会長	荻田　辰生	
第８代会長	小池　英作	小池木材（株）
第９代会長	榎戸　勇	（株）榎戸材木店
第10代会長	和泉　昭二	
第10代会長	小林　敏男	小林（株）
第11代会長	若山　備弘	美濃清商工（株）
第12代会長	安藤　友一	丸良安藤（株）
第13代会長	荒井　宏一郎	
第14代会長	菅沼　歌郎	
第15代会長	駒井　満夫	駒井木材（株）
第16代会長	宇野　利一	宇野木材工業（株）
第17代会長	若松　舜児	山秀情報システム（株）
第18代会長	西川　寛	（株）東中国木材センター
第19代会長	片境　繁	丸高木材（株）
第20代会長	菅生　清左衛門	菅生木材（株）
第21代会長	影山　弥太郎	影山木材（株）
第22代会長	谷本　敏彦	中央材木（株）
第23代会長	佐藤　安彦	
第24代会長	吉崎　修司	
第25代会長	村井　幸雄	
第26代会長	大之木　伸一郎	（株）大之木ダイモ
第27代会長	島田　基正	（株）第三木材
第28代会長	頴川　五郎	（有）リビエラ
第29代会長	髙田　庄一	三富木材（株）
第30代会長	黄瀬　稔	（株）オオコーチ
第31代会長	澤口　竜太郎	エステックウッド（株）
第32代会長	鈴木　泰彦	鈴木木材工業（株）
第33代会長	松原　正和	松原産業（株）
第34代会長	田中　隆行	（株）ザイエンス
第35代会長	米澤　克邦	
第36代会長	若山　貴義	美濃清商工（株）
第37代会長	栗林　一郎	（株）相模原木材センター
第38代会長	鈴木　龍一郎	材惣木材（株）
第39代会長	榎戸　正人	（株）榎戸材木店
第40代会長	久保　泰人	南九州木材市場（株）
第41代会長	田中　信行	さんもく工業（株）
第42代会長	齊藤　廣	齊藤木材工業（株）
第43代会長	吉田　勝亮	（株）吉田木材
第44代会長	影山　秀樹	影山木材（株）
第45代会長	山田　貴敏	笠原木材（株）
第46代会長	日當　和孝	（有）マルヒ製材
第47代会長	角　博	九州木材工業（株）
第48代会長	日當　和孝	（有）マルヒ製材
第49代会長	江守　淳一	ＣＰＩ（株）
第50代会長	久我　洋一	（株）久我
第51代会長	落合　祐二	（資）落合製材社
第52代会長	落合　賢治	丸栄木材（株）
第53代会長	吉田　良弘	（株）ヨシダ
第54代会長	木脇　桂太郎	木脇産業（株）
第55代会長	川西　雅也	（株）川西材木店
第56代会長	下荒　隆晴	（株）シモアラ
第57代会長	越井　潤	越井木材工業（株）
第58代会長	荒井　浩	
第59代会長	鈴木　興太郎	材惣DMBホールディングス（株）
第60代会長	亀山　武弘	宮城十條林産（株）
第61代会長	多田　啓	（株）アサモク
第62代会長	松原　輝和	テラオホールディングス（株）
第63代会長	川井　博貴	（有）川井木材
第64代会長	島田　直政	（株）第三木材
第65代会長	甲村　耕三	甲村ハウジング（株）

※伊藤一郎、佐藤正徳、鈴木正治、村松幸一、加藤誠蔵、小池英作、榎戸勇、和泉昭二、小林敏男、若山備弘、安藤友一、荒井宏一郎、菅沼歌郎、若松舜児、片境繁、菅生清左衛門、影山弥太郎、谷本敏彦、村井幸雄、大之木伸一郎、髙田庄一、澤口竜太郎らの各氏の歴代会長経験者は故人となられました。

日本木材青壮年団体連合会　令和６年度 組織図



令和６年度 常任理事

会長（兼 木青連の山管理運営委員長／兼 リバイバル委員会委員長）	甲村　耕三（近畿地区｜奈良）
直前会長（兼 木材産業復興基金特別委員長）	島田　直政（北信越地区｜長野）
代行副会長（兼 木青連活性化委員長）	長谷川 泰治（関東地区｜東京）
副会長	古谷　隆明（北信越地区｜石川）
副会長	野地　伸卓（東海地区｜三重）
副会長	辻井　　大（近畿地区｜京都）
副会長	朝間　健至（近畿地区｜和歌山）
会長補佐	吉原　弘二（近畿地区｜奈良）
専務理事	瓦野　光貴（近畿地区｜兵庫）
監事	阿部　高志（東北地区｜岩手）
監事	圓佛　英之（九州地区｜福岡）
JC出向常任理事	杉浦 晴太郎（東海地区｜愛知）

会務担当常任理事（委員会委員長）

ブランニュー委員会 委員長	岸田　真志（北信越地区｜石川）
木育創造委員会 委員長	大原　悠延（中四国地区｜高知）
グローアップ委員会 委員長	中塚　修平（中四国地区｜岡山）
スタートアップ委員会 委員長	奥川　季花（近畿地区｜和歌山）
杢人間力委員会 委員長	三瀬　宏土（九州地区｜福岡）
全国大会実行委員会 委員長	吉田　敦彦（近畿地区｜奈良）
総務委員会 委員長	松波　　元（近畿地区｜大阪）
財務委員会 委員長	杉山　岳人（関東地区｜静岡）

地区担当常任理事（地区協議会会長）

北海道地区	山本　純也（北海道）
東北地区	寺島　信弘（宮城）
北信越地区	古谷　隆明（石川）
関東地区	渡辺　健人（東京）
東海地区	佐部利 健太（岐阜）
近畿地区	伊藤　喜隆（大阪）
中四国地区	吉田　　伸（広島西部）
九州地区	福田 マイケル（佐賀）

令和６年度 全国会員会団一覧（計796名）

北海道地区協議会／66名

北海道木材青壮年団体連合会（66名）

東北地区協議会／68名

青森県木材クラブ（３名）
秋田県木材青壮年団体連合会（７名）
岩手県木材青壮年協議会（28名）
山形県木材青壮年協議会（４名）
宮城県木材同友会（15名）
福島県木材青壮年協会（11名）

関東地区協議会／60名

茨城県木材青壮年協会（12名）
群馬県木材青年協会（１名）
埼玉県木材青壮年連合会（１名）
千葉県木材青壮年協議会（１名）
東京木材青年クラブ（30名）
神奈川県木材青壮年団体連合会（10名）
静岡県木材青壮年団体連合会（４名）
山梨県木材青壮年協会（１名）

北信越地区協議会／52名

長野県木材青壮年団体連合会（27名）
石川県木材青壮年会（24名）
福井県木材青壮年会（１名）

東海地区協議会／98名

愛知県木材青壮年団体連合会（23名）
岐阜県木材青壮年団体連合会（35名）
三重県木材青壮年団体連合会（40名）

近畿地区協議会／147名

奈良県木材青年経営者協議会（46名）
京都木材青年経営者協議会（14名）
大阪木材青年経営者協議会（42名）
和歌山木成クラブ（11名）
紀南木材新緑会（９名）
兵庫県木材青年クラブ（25名）

中四国地区協議会／132名

美作木材青壮年経営者協議会（26名）
岡山木材青年会（17名）
福山木材青年協議会（17名）
呉市木材青年経営者協議会（１名）
広島木材青年経営者協議会（19名）
広島県西部木材青年協議会（７名）
愛媛木材青年協議会（26名）
高知県青年林材協会（19名）

九州地区協議会／173名

福岡県木材青壮年連合会（32名）
佐賀県木材青壮年会（９名）
長崎県木材青壮年連合会（６名）
大分県木材青壮年連合会（20名）
熊本県木材青壮年連合会（32名）
宮崎県木材青壮年会連合会（69名）
鹿児島県木材青壮年会（３名）
沖縄県木材青壮年会（２名）

協賛企業目次（五十音順）

あ アイカ工業㈱　大阪支店 169
㈱飛鳥・森本木材・古味金物店・桜井商工会青年部 120
㈱アサノ 134
旭ファイバーグラス㈱ 169
㈱朝間商会 072-073
㈱アサモク 100
㈱アジアトレーディング 170
有萬木材㈱ 134
㈲安心院製材所 170
い 池川木材工業㈲ 170
㈱石岡材木店 170
石山木材㈱ 170
伊太祁曽神社 135
㈱伊藤嘉材木店 135
う ㈱ウエキ産業 121
上西木材㈱・グリーンハウザー㈱ 136
ウラベ木材工業 136
浦本木材㈱ 170
え 永大産業㈱ 170
エス・エルワールド㈱ 166
A.CE技建 137
海老名製材㈱ 137
㈱エム・エー・ディー 166
圓佛産業㈱ 122
お オーアイ・イノベーション㈱ 166
王栄木材㈲ 170
大阪ガスケミカル㈱ 138
一般社団法人大阪府木材連合会 074-075
大阪木材工場団地協同組合 101
㈱大阪木材相互市場 076-077
大阪木材商業団地協同組合 139,143
大阪木材青年経営者協議会 078-079
大阪木材仲買協同組合 103
㈲大谷製材所 171
㈱岡田材木店 138
㈱岡本銘木店 139
か ㈱梶谷集成材 171
かねひさ㈱ 140
㈱カネヨ 166
兼義木材 140
㈲川井木材 171
㈱川口屋 171
㈱瓦野 123
㈱関西工務店 171
き 岸田木材㈱ 171
紀南木材新緑会 171
木屋　伊勢戸 171
九州木材工業㈱ 104
紀洋木材㈱ 141
㈱協同ウッド 167
一般社団法人京都府木材組合連合会 141
京都木材協同組合 105
京都木材青年経営者協議会 124
京青協ＯＢ一同 172
木脇産業㈱ 142
く ㈱久我 106
久我市売木材㈱ 172
グリーンウッドタクミ協同組合 142
桑原木材㈱ 143
こ ㈲洪水製材所 172
㈱神戸木材会館 172
神戸木材業協同組合 172
神戸木材市売協同組合 172
甲南木材協同組合 172
甲村ハウジング㈱ 184-185
甲村木材㈱・㈱オカイ 182-183
㈱国興 172
越井木材工業㈱ 070-071
さ 坂利木材工業㈱ 173
坂矢木材㈱ 144
㈲齊藤木材 173
桜井木材協同組合 080-081
桜井木材協同組合青年経営者協議会 082-083
㈱櫻井 144
佐々木林業㈲ 173
佐藤木材㈱ 173
㈱三栄 173
三祐木材㈱ 145
し JKホールディングス㈱ 107
㈱しそうの森の木 173
㈱シモアラ 108
新宮木材協同組合 173
㈲新宅善廣商店 145
新和材木店 173
す 翠葉会 146
㈱すえ木工 174
㈾末金製材所 174
スキャドロン㈱ 174
杉治㈱ 167
㈱菅生 146
㈱スペースパーツ山形 147
㈱住まい工房　集 174
住友林業㈱ 147
せ 西部木材工業 174
㈱センエイ 125
そ ㈱ソマノベース 174
た ㈱タイムズコーポレーション 174
㈱田上 148
大建工業㈱ 174
高広木材㈱ 167
高田木材協同組合 084-085
㈱大五 102
㈱第三木材 109
大信製材㈱ 148
タカダビルテック㈱ 110
滝澤ベニヤ㈱・札鶴ベニヤ㈱ 149
タケヤテック㈱ 167
㈲橘商店 168
谷一木材㈱ 149
㈱タニグチ 175
㈱タワヨシ 175
つ 辻井木材㈱ 086-087
辻井木材センター㈱ 088-089
㈱都藤商店 175
㈲土倉製材所 175
て ㈲寺島木材 168
天馬運輸㈱ 168
と TOTO㈱　関西支社 175
㈱鳥羽瀬社寺建築 168
外山木材㈱ 111
トリスミ集成材㈱ 150
な ㈱中川 175
中田木材工業㈱ 169
㈱中長商店 175
ナカザワ建販㈱ 150
中吉野木材工業協同組合 151
なごみ建築工房 175
中畑木材㈱ 176
㈱七谷川木材工業社 112
㈱奈良木建 126
奈良県木材協同組合連合会 113
奈良県木材青年経営者協議会 090-091
奈良県銘木協同組合 169
南海プライウッド㈱ 176
㈱南都銀行 176
に 西垣林業㈱ 127
西辻木材 151
㈱日新 176
日本木青連昭和49年会 152
日本木青連55年会 176
日本木青連ナナハチ会 152
の ㈱nojimoku 153
は ㈱長谷川萬治商店 114
バイオマスパワーテクノロジーズ㈱・㈱玉木材 115
パナソニックハウジングソリューションズ㈱ 128
ひ ㈱ヒウラ 176
肥後木材㈱ 153
姫路木材協同組合 176
兵庫県木材業協同組合連合会 154
兵庫県木材青年クラブ 092-093
平林会木材協同組合 129
ふ フソー㈱ 154
フルタニランバー㈱ 155
へ 平安建材㈱ 130
㈱紅中 155
ほ 北海道木材青壮年団体連合会 156
㈱ホーテック 176
堀内木材㈱ 177
堀川林業㈱ 177
ホリモク㈱ 116
ま ㈱桝忠銘木店 117
松阪地区青和会 156
松下木材㈱ 157
㈱松本商店 157
㈱マナックス 158
㈱丸産業 094-095
㈱丸商店 158
㈱丸國林業 177
丸五木材㈲ 159
㈱丸玉 159
丸武木材㈱ 177
丸紅木材㈱ 118
㈱マルヨ木材 177
㈱丸嘉 160
み 瑞穂木材㈱ 177
港ハウスビルダー㈱ 169
美濃清商工㈱ 068-069
宮城十條林産㈱ 160
㈱宮本工業 177
む 村上木材㈱ 161
村上木材 161
も 森庄銘木産業㈱ 177
森本銘木店 162
や ㈱山共 162
㈱山口裕康商店 131
㈱山末 163
大和信用金庫 178
㈱大和木材商会 163
山の出前一頂 132
よ ㈱ヨシダ 119
吉田製材㈱ 180-181
㈱吉田木材 066-067
㈱吉野カネジュウ 164
吉野石膏㈱ 164
吉野製材工業協同組合 096-097
吉野中央木材㈱ 178
吉野銘木製造販売㈱ 178
吉野木材青壮年経営者協議会 098-099
㈱四ツ橋 165
米田産業㈱ 178
れ 歴代実行委員長の会 133
わ 和歌山木材協同組合 165
㈱渡辺木材 178

地域と共に百有余年　YOSHIDA

祝

日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員 関西大会

日本木青連
第43代会長

マサアキ
吉田 勝亮

株式会社吉田木材 神宮事務所

〒634-0063
奈良県橿原市久米町841-1　神宮吉田ビル5階
TEL：0744-23-5000　FAX：0744-23-5100
E-mail：info@yoshida-mokuzai.com
URL：https://www.yoshida-mokuzai.com









美濃清商工株式會社

美濃清商工株式会社

〒601-8371 京都府京都市南区吉祥院嶋樫山町 35 番地

TEL:075-682-2355（代）FAX:075-682-2377


祝
日本木材　青壮年団体連合会
第７０回　全国会員関西大会
支えあう友情と　チャレンジする勇気を祝して
がんばれ、石川。
越井木材工業株式会社
KOSHII SDGs
KISM
WOODS LIFE
BUILD BASE
木製浮き基礎工法
MOKUIKU
代表取締役社長　越井　潤
［本社］〒559-0026大阪市住之江区平林北1-2-158
TEL：06-6685-2061　E-mail：info@koshiiwoods.com
URL：https://www.koshii.co.jp/



APC ASAMA PRECUT

株式会社 朝間商会

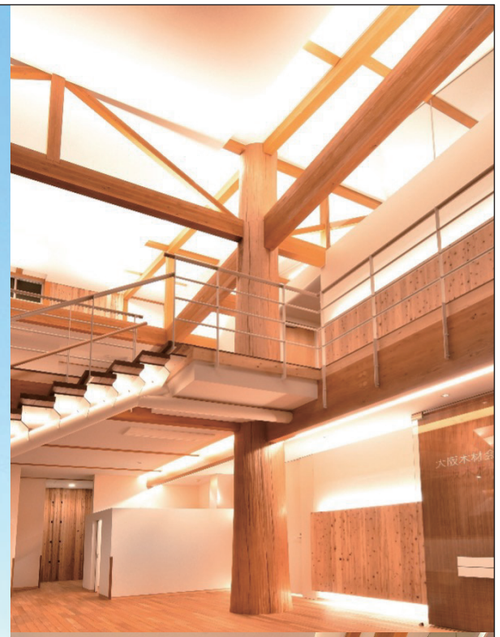
専務取締役 朝間健至

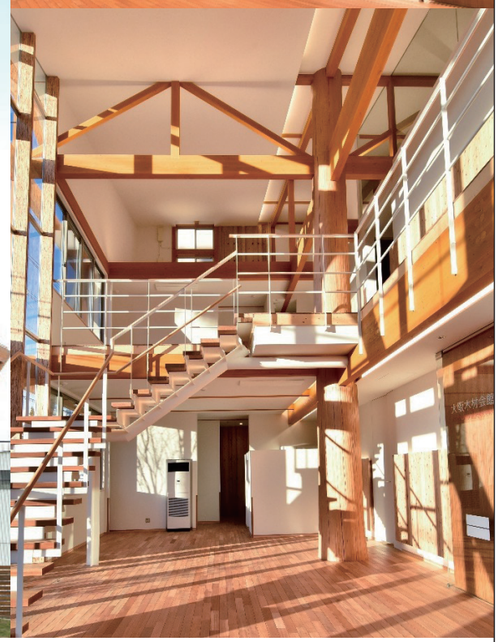
住所 〒641-0036　和歌山県和歌山市西浜 1660-71
TEL : 073-448-2266　FAX : 073-448-2286
Email : apc-cad@almond.ocn.ne.jp
URL : http://www.asama-pc.com

祝

日本木材青壮年団体連合会
第 70 回 全国会員 関西大会







一般社団法人大阪府木材連合会

〒559-0029 大阪市住之江区平林南 1-1-8 大阪木材会館 2 階
TEL:06-6685-3101　FAX:06-6685-3102

会長 津田 潮

副会長 浅野 敏行
副会長 山下 光明
副会長 岡橋 清元
副会長 ショーン・ローラー
副会長 松山 能久
副会長 越井 潤
副会長 内藤 和行
専務理事 三宅 英隆

101年芽の誓い



大阪木材相互市場が育んできた1世紀にわたる年月。
これは私たちのひとつの誇りです。
しかし、100周年を迎え、今、新たに思います。
樹齢何千年の大樹があるように、
その揺るがない存在となれるように。
私たちは、新しい“木材の未来”に向けて誓います。

公式HP

木材の流通を通じて社会に貢献する

自然との共生そして、木のある心豊かな暮らし

株式会社 大阪木材相互市場
〒552-0013 大阪府大阪市港区福崎一丁目2番1号
TEL:06-6574-1131 FAX:06-6574-7544

おかげをもちまして 100th
Since1924
大阪木材相互市場

祝　第70回全国会員関西大会

大阪木材青年経営者協議会





株式会社アオエ
青江淳

紀洋木材株式会社
桑原良介

株式会社木匠
飴村仁志

小林木材株式会社
小林雅祥



中﨑木材株式会社
中﨑智久

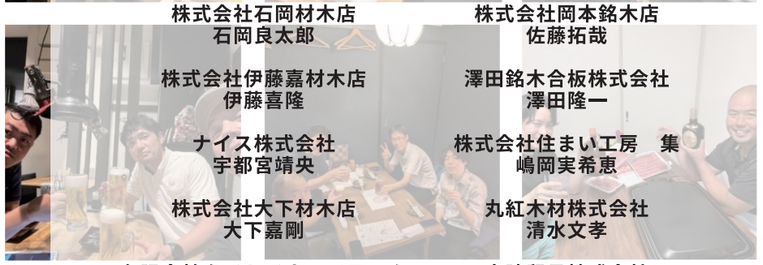
株式会社大和木材商会
杢保茂明

ナカザワ建販株式会社
中澤秀紀

久我市売木材株式会社
薮田将一







株式会社石岡材木店
石岡良太郎

株式会社岡本銘木店
佐藤拓哉

株式会社伊藤嘉材木店
伊藤喜隆

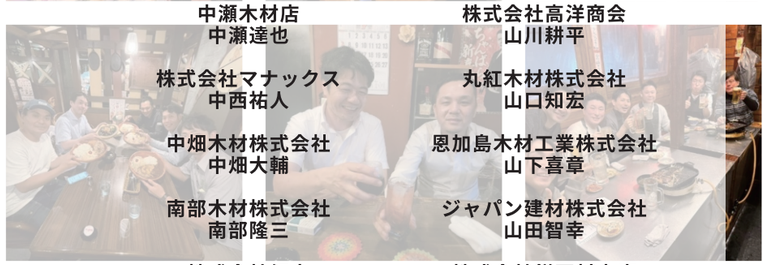
澤田銘木合板株式会社
澤田隆一

ナイス株式会社
宇都宮靖央

株式会社住まい工房　集
嶋岡実希恵

株式会社大下材木店
大下嘉剛

丸紅木材株式会社
清水文孝



中瀬木材店
中瀬達也

株式会社高洋商会
山川耕平

株式会社マナックス
中西祐人

丸紅木材株式会社
山口知宏

中畑木材株式会社
中畑大輔

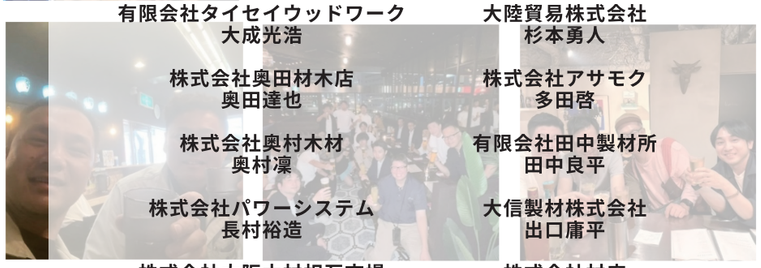
恩加島木材工業株式会社
山下喜章

南部木材株式会社
南部隆三

ジャパン建材株式会社
山田智幸







有限会社タイセイウッドワーク
大成光浩

大陸貿易株式会社
杉本勇人

株式会社奥田材木店
奥田達也

株式会社アサモク
多田啓

株式会社奥村木材
奥村凛

有限会社田中製材所
田中良平

株式会社パワーシステム
長村裕造

大信製材株式会社
出口庸平



株式会社紅中
西尾尚記

株式会社鎌戸材木店
山本雄太

越智産業株式会社
風呂谷健大

株式会社吉寅
吉田篤人

株式会社ホリニシ
堀西正一郎

紀洋木材株式会社
吉田武司

増田産業株式会社
増田忠之

株式会社中喜
吉本拓生







株式会社大阪木材相互市場
角田健

株式会社材庄
峠口剛志

丸紅木材株式会社
鹿毛健史

株式会社ホリニシ
鳥羽泰広

キリン木材株式会社
岸本直樹

株式会社アズ・ミックス
戸松慎太郎



株式会社マナックス
松波元

有限会社映産木材
六條彦徳

株式会社カク木材
松本賢

株式会社奥村木材
和田侑作

太陽工業株式会社
松山奈央

真田裕子



大青協の今年の「乾杯」集めました

お時間ある方は、
ぜひご覧ください。

（株）大阪木材相互市場

紀洋木材（株）

（有）田中製材所

（株）カク木材

（株）住まい工房 集

中瀬木材店

南部木材（株）

丸紅木材（株）

（株）木匠 お庭事業
Garden&Exterior KI-NO-KA

（株）ホリニシ

（株）木匠

大青協 TV

祝

日本木材青壮年団体連合会
第 70 回全国会員関西大会

住む人の心にしみる木の香り

桜井木材協同組合



名称　桜井木材協同組合
創立　昭和 24 年 10 月 11 日
組合員数　80 名（令和 7 年 4 月 1 日現在）
理事長　菅生康清
（株式会社 菅生・菅生銘木市場 代表取締役）

〒633-0062　奈良県桜井市粟殿 350 番地
TEL:0744-42-3535　FAX:0744-43-2552
ホームページアドレス　http://www.sakurai-mokkyo.or.jp/

ウッドメッセ奈良

桜井木材協同組合原木市売部
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1
TEL : 0744-46-9539
FAX : 0744-46-9571

桜井木材協同組合山林部
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1
TEL : 0744-46-9539
FAX : 0744-46-9571

桜井木材市場株式会社
〒633-0048　奈良県桜井市生田 713-1
TEL　0744-42-3235
FAX　0744-45-5971





木材振興センター

「あるぼ～る」

コンサートや展示即売会・会議等
多目的にご利用いただける
イベントホール・レンタルスペース

各種テナント

Café de arbol・ぷれせあ
サンフォン和（なごみ）・K's Club・吉方庵

奈良県木材協同組合連合会

〒633-0062 奈良県桜井市粟殿 355
TEL : 0744-45-3955
FAX : 0744-43-2552

祝 日本木材青壮年団体連合会 第70回全国会員関西大会



住む人の心にしみる木の香り

桜井木材協同組合青年経営者協議会

The hometown of wood culture
SAKURAI

木の街
さくらい

木の文化を世界へ

事業内容



万葉まつり 打ち割り実演



木工工作室



児童生徒木工工作展



小学校へ木製机・椅子納入





木製遊具にてイベント参加

HP

桜井木材協同組合青年経営者協議会 会員一覧

【正会員】

岡本悠輝	(株)飛鳥	谷奥康太	谷一木材(株)	中尾大風	丸清木材(有)
堀内直樹	(株)ホーテック	松本直樹	松本林業	森本達郎	森庄銘木産業(株)
森本 司	森本銘木店	山口忠弘	(株)山口裕康商店	山口祐志	山口木材(株)
山本樹志	(株)山末	吉田敦彦	吉田製材(株)		

【特別会員】

梶谷忠右	(株)梶谷集成材	西垣雅史	西垣林業(株)	卜部素彦	ウラベ木材工業
辻本憲一郎	辻和木材				

高田木材協同組合

〒639-2201 奈良県御所市柳原1番1
TEL 0745-63-1101 FAX 0745-63-2225
URL https://www.takada-mokkyou.com
E-mail info@takada-mokkyou.com



木材は、自然を守り豊かな暮しをつくります。　『住んでよし　心ゆたかな　木の住まい』

末永く快適に暮せる家作りには、安全・安心な木材が不可欠です。
当組合では、「環境にやさしく」「安心できる」木材として信頼のブランド
【JAS製材品】【奈良県地域認証材】を作っています。



ＪＡＳ認証工場

●認証番号：JLIRA-B-48-20
【品目・区分】 目視等級区分構造用製材
機械等級区分構造用製材

●認証番号：JLIRA-B-48-22
【品目・区分】 人工乾燥処理造作用製材

＜高度な技術で品質保証＞
高度な技術と標準化された品質管理システムが生み出すJAS製品を 製造・販売し、設計者・施行者の皆様の期待に応えます。



奈良県地域認証材製造工場

●合法木材事業者認定
認定番号：奈良県木連合第006号
●クリーンウッド登録事業者
登録番号：日林協－CLW－Ⅰ Ⅱ－63号
●奈良県地域材認証登録業者
登録番号：第(登-7) 0003号
●奈良県地域材認証機械検査施設
登録番号：第(認-7) 0002号

奈良県産の木材は年輪幅が狭く均一で、見た目にも美しく、強度に優れ、建築用材として高い評価を受けてきました。
奈良県地域認証材は優れた品質を備えた奈良県産のスギ・ヒノキを使用しています。



施設案内

当組合では、木材製品の販売・人工乾燥・木材加工・原木皮剥 および
木材の強度・含水率を測定するグレーディング検査を行っております。

製品販売

国産材、外材の各種建築部材等を取り揃えています。



人工乾燥

乾燥の種類：中温乾燥、高温乾燥、圧力式乾燥



木材加工

モルダー加工およびグレーディングマシンによる木材の検査
強度(ヤング係数)、含水率の測定を行っています。



原木皮剥

リングバーカーでの皮剥を行なっています。



組合員一覧

企　業　名				
西忠木材		吉野銘木製造販売㈱		岡本木材店
山本製材所		長谷川製材		㈱高政
葛城木材産業㈱		嶋田木材		甲村木材㈱
越智木材㈱		㈱生野建設		㈱吉岡製材所
高谷木材		西川木材		葛木製材所
イワキ木材		㈱イムラ		㈲矢倉林業
㈱岡田商店		㈱吉田木材		㈲中和木材流通
㈱吉野松井商店		岡田木材㈱		



■プレカット・資材販売
辻 辻井木材株式会社

■CAD・各種計算
株式会社 Wood Tag

■サプライチェーン
京都中大断面木材生産協同組合





木材・建材 総合問屋

辻井木材センター
Tsujii Mokuzai Center

辻井木材センター株式会社

本社・三条営業所
〒604-8422　京都市中京区西ノ京東月光町1-9
TEL（075)841-8455㈹　FAX（075)842-2075

三条プレカットCAD室
〒604-8422　京都市中京区西ノ京東月光町1-9
TEL（075)841-9090　FAX（075)842-2080

栗東営業所・栗東プレカットCAD室
〒520-3022
滋賀県栗東市上鈎107
TEL（077)552-3555㈹
FAX（077)553-7835

向日町営業所・
向日町プレカットCAD室
〒617-0003
向日市森本町佃23
TEL（075)931-0502㈹
FAX（075)934-3202

尼崎営業所
〒661-0021
兵庫県尼崎市名神町1丁目1-23
TEL（06)6423-5558㈹
FAX（06)6423-5568

顧客満足

すべてのお客様に満足していただくために、何をどのように提供していくのかを考える

社員満足

従業員の積極性やモチベーションなどを引き出し、お客様へもより良いサービスを提供する

地域貢献

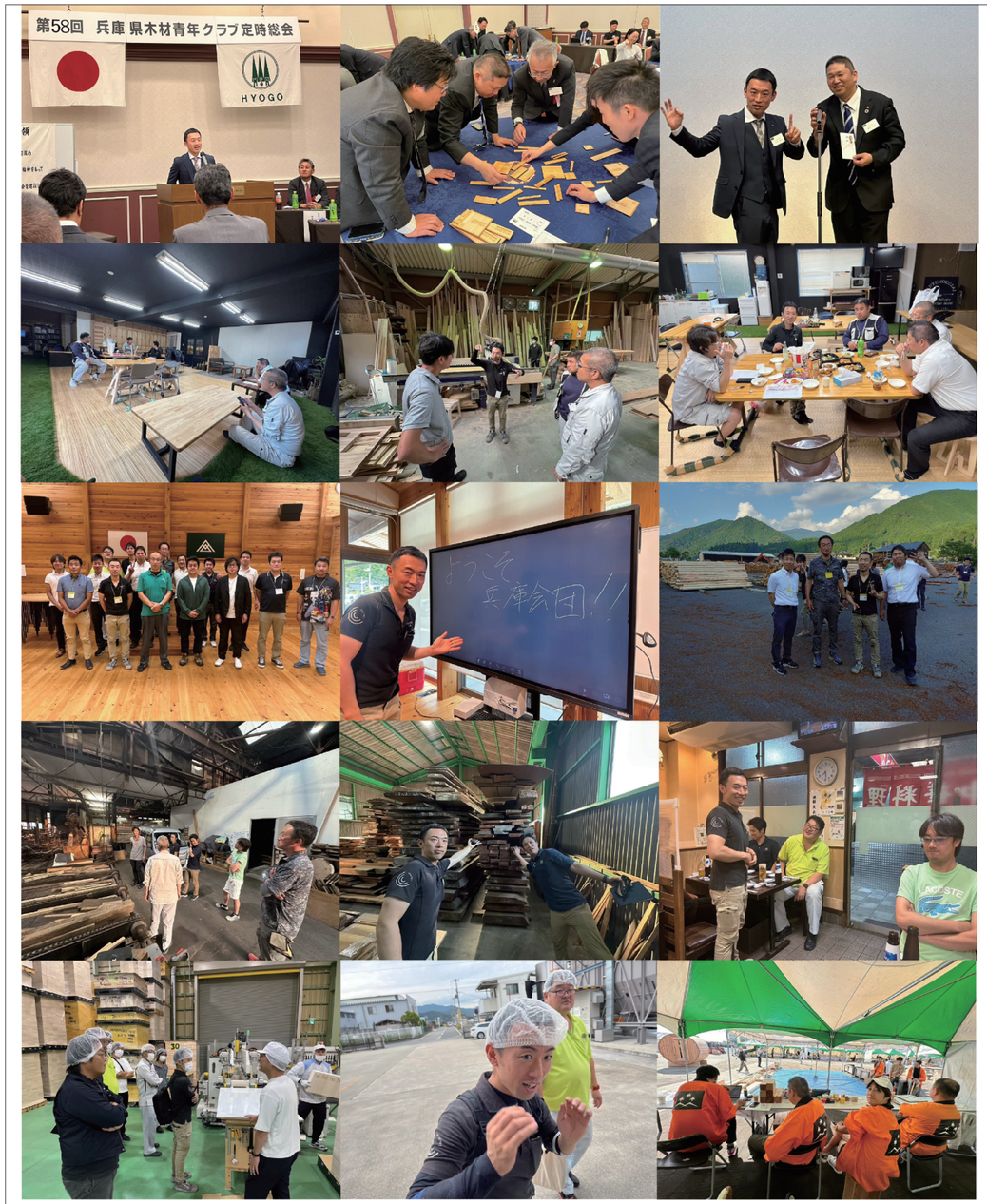
それぞれの地域にあった地元密着路線を展開し、取引先との厚い信頼を構築する

祝

日本木材青壮年団体連合会
第 70 回 全国会員 関西大会

奈良県木材青年経営者協議会

赤庄産業株式会社
株式会社飛鳥
上大木材産業株式会社
ウラベ木材工業
株式会社垣本ハウス
株式会社梶谷集成材
株式会社関西工務店
(有) グリーンフォレストエンタープライズ
甲村ハウジング株式会社
粉川木材株式会社
古味金物店
坂本商店
スキャドロン株式会社
（有）創和建築事務所
ダイタン工業株式会社
タカダビルテック株式会社
株式会社高政
株式会社竹野
谷一木材株式会社
谷林業株式会社
株式会社玉木材
辻木材商店
辻和木材
株式会社鳥羽瀬社寺建築
トリスミ集成材株式会社
株式会社中造園
なごみ建築工房
株式会社奈良木建
西井木材株式会社
西垣林業株式会社
株式会社ホーテック
バイオマスパワーテクノロジーズ（株）
長谷川木材
株式会社桝忠銘木店
松本林業
有限会社丸岡材木店
（株） マルキ化粧合板
株式会社丸国林業
株式会社丸商店
株式会社マンヨー
森庄銘木産業株式会社
森本銘木
森本木材
やすら木設計舎
山口木材株式会社
株式会社山口裕康商店
株式会社山末
吉田製材株式会社
株式会社吉野興林
吉野製材工業（株）吉野材センター
吉野銘木製造販売株式会社



https://www.hyogomokusei.com

祝

日本木材青壮年団体連合会

第７０回全国会員関西大会

兵庫県木材青年クラブ

有馬　輝行	A.CE 技建	田中　裕己	（株）田中木材商会
池田　和彦	（株）マテリアル	谷口　篤史	（株）マルタニ
石川　　毅	（株）イシカワ	田和　良介	（株）タワヨシ
井上　和宣	（有）井上製材所	都藤　元彦	（株）都藤商店
岩見　寿人	（株）ZAIMOKU-YA	寺下　健次	（株）寺下商店
浮村　晋也	（株）宮下木材	中塚　三千美	（株）桧野商
瓦野　光貴	（株）瓦野	中村　大知	（株）マプリィ
岸本　豊史	（有）岸本材木店	中村　祐太	中村義一建材（株）
衣笠　秀貴	（有）衣笠木工所	名田　和豊	（株）名田商店
児玉　寛大	（株）イズミ	服部　真俊	（株）三栄
古西　和紀	（株）古西商店	三浦　祐生	三祐木材（株）
佐野　恵介	朝来ハウジング（株）	毛利　駿太	（株）毛利商会
杉下　和人	杉下材木商	横尾　幸政	（株）ユニウッドコーポレーション



MARU INDUSTRY CO., LTD.

施主様・企業様へ家づくりの最良の

プロデュースとサポートを

住宅の設計から施工、施主様に安心して購入していただける

までのさまざまなプロセスをひとつにまとめあげ、

新しい住まいをプロデュースします。

施主様一人一人に「満足し、喜んでいただける優良な

住宅づくり」を、地域の特性やつくり手の個性を活かしながら、

「品質とサービス」を管理しサポートいたします。

丸産業は住宅資材・建材の商社です。

株式会社 丸産業

〒634-0831　奈良県橿原市曽我町32-2

TEL. 0744-22-4390（代表）　FAX. 0744-22-6533

https://www.marusangyou.co.jp/

丸産業　検索

吉野製材工業協同組合 吉野材センター

理事長 中西 利彦

赤庄産業 株式会社
上大木材産業 株式会社
株式会社 上垣商店
上田製材所
オオツジ
株式会社 岡仁
株式会社 垣本ハウス
加昌林業
上吉野木材協同組合
喜多製材所
北村林業 株式会社
小瀬太平商店
有限会社 米田木工
阪口製材所
株式会社 坂本商店
坂本林業
株式会社 櫻井
島田商店
昭和林材
そわ木材 株式会社
株式会社 高政
株式会社 辻源商店
辻木材商店
中西製材所
中峰製材所
西村商店
春亮木材 株式会社
有限会社 丸岡材木店
株式会社 丸商店
株式会社 吉野カネジュウ
吉野中央木材 株式会社
吉野松田製材
吉野木材協同組合連合会
吉野山三木材 株式会社

奈良県吉野郡吉野町丹治 11 番地

TEL : 0746-32-5773　FAX : 0746-32-8738

HP : http://www.yoshino-wing.jp/

吉野木材青壮年経営者協議会

会長　辻 健太郎

赤庄産業 株式会社	向井 嘉隆	辻木材商店	辻 健太郎
上大木材産業 株式会社	上大 昌幸	西井木材 株式会社	藤田 崇彦
株式会社 垣本ハウス	垣本 浩良	有限会社 丸岡材木店	岡本 修一
株式会社 坂本商店	坂本 哲郎	株式会社 丸商店	丸 充彦
株式会社 高政	高橋 俊行	吉野材センター	南 隆弘

奈良県吉野郡吉野町丹治 11 番地

TEL : 0746-32-5773　FAX : 0746-32-8738

プラスワンで住まいを創造する。
アサモク
https://www.asamoku.co.jp/

大阪木材工場団地協同組合



〒587-0042
大阪府堺市美原区木材通 4-1-1
TEL:072-361-2670 FAX:072-361-0629
HP：https://wood.or.jp/
Instagram：moku2_dream1962

No.	組員員名	団地内本社 事業所 TEL	団地外本社 TEL	主要取扱い営業品目
1	アキツ工業㈱	072-363-0500		トロフィー・メダルなどアワード商品の企画・制作・卸売
2	㈱アサノ	072-361-5566	06-6271-6371	外材全般・戸建住宅用ユニット階段・プレカット構造材
3	アサヒサイクル㈱	072-362-8181		自転車の製造卸及び自転車部品の卸
4	イヌイ㈱	072-362-1313	06-6203-7838	工業用薬品製造及び卸、建材加工及び建材卸
5	浦本木材㈱	072-362-6550	072-233-7841	木材販売加工、不動産管理業
6	永大産業㈱	072-362-0843	06-6684-3000	フローリング、室内階段、室内ドア・クロゼット・造作材・システム収納、システムキッチン・洗面・バス、パーティクルボード等の製造販売
7	㈾大阪ツキ板センター	072-361-4371		ツキ板販売、諸施設賃貸事業
8	㈱オーシカ	072-361-4174	03-5916-8851	木質構造材（ＴＪＩ・ＬＶＬ）、各種合板並びに接着剤
9	㈱面田金属工業	072-362-8062		アルミ庇・丸柱、スチール照明ＢＯＸ、ステンレス面台・枠等、建築金物の製作
10	㈱カベキチ	072-361-1210		ダンボールケース・クラフト化粧ケース・包装資材
11	㈱カワモト	072-369-1319		住宅金物部品、住宅足場金物部材
12	㈱関西ランバー	072-361-7727		木材・集成材・合板・新建材・住宅機器販売
13	木原造林㈱		03-3260-1651	木材生産販売、土木建築工事設計・施工、造園
14	協和産業㈱	072-361-6811	06-6531-7079	合板、新建材、住宅設備機器、家具資材及び塗料等の販売
15	㈱鯉丸	072-361-6837		パーティクルボード､ＭＤＦ、その他木質材料加工販売
16	コマツカスタマーサポート㈱	072-369-1655	078-304-7210	フォークリフト、コンベア、ショベルローダ、物流関連商品等
17	三興物流㈱	072-362-3517	06-6925-3519	運送・宅配・商品保管・倉庫・流通加工等、物流業務全般
18	㈱サンヨーメディカル	072-369-5557	0721-93-3181	家庭用・業務用洗浄剤、化粧品、医薬部外品、食品添加物等
19	ＪＫホールディングス㈱	072-362-0441	03-5534-3711	合板、二次製品、建材、住器
20	㈱新広社	072-361-6925	06-6537-0050	折込広告を主とするＳＰ広告全般
21	スワロー電機㈱	072-363-7801	06-6719-8100	電源機器、海外旅行用変圧器等
22	大平林業㈱	072-362-2561		天然銘木ツキ板製造・販売
23	高島屋スペースクリエイツ㈱		03-5652-1200	建築、室内装飾及び和洋家具製造業
24	㈲田中木材店	072-361-4126		特殊南洋材、建物賃貸
25	ツカ・カナモノ㈱	072-362-3841		鋼製束、住宅用金物、合板強化床パネル（ＳＦＰパネル）の製造販売
26	東部木材㈱	072-362-5138		マンション等、集合住宅の造作材及び木製建具製造販売
27	㈱東洋	072-363-2100	06-6535-5691	金融機関店舗インテリア家具及び内装製品の製作
28	中川木材産業㈱	072-361-5501		ウッドデッキの製造販売、設計施工、土木用仮設材、木造構築物、ウッドクラフト
29	ナカザワ建販㈱	072-369-1123	0725-30-3500	建材・住設・エコ商品販売、木造住宅プレカット事業（加工・販売）
30	中畑木材㈱	072-362-6616		各種木材・新建材・住設備機器・プレカット製造 / 販売
31	中村鉄工㈱	072-369-2722		鉄骨建設資材の加工及びその他金属製品の製造販売
32	日新シール工業㈱	072-362-5593		食品・雑貨等のパッケージの製造、販売、開発
33	日本フッソ工業㈱	072-361-3391		フッ素樹脂の焼付コーティング、ライニング
34	㈱林田順平商店	072-361-2852		エクステリア関連商材 (ビリアンデッキ材、ロートアイアン、ガラスブロック)、一般建材、合板ＯＳＢの販売
35	㈱林田製材所	072-361-2852		ウッドデッキ用ハードウッド（ビリアン材）の販売・加工、ビリアン製開発商品の企画・試作
36	㈱ビー・テイ・アイ	072-362-2550		産業機械用、プラスチック部品 (切削加工)
37	㈱紅中	072-361-4861	06-6195-3330	各種合板、内外装材、住宅設備機器
38	ベンダーサービスセンター㈱	072-362-7220	06-6886-3966	飲料機材の設置・修理・整備・保管及び電気工事業、水道工事業
39	㈱ボンビアルコン	072-369-3111		ペット用品
40	㈲松川組	072-362-2221		土木建築請負業、産業廃棄物中間処理業、収集運搬業、トラックスケール
41	マルコマ㈱	072-369-6661	06-6538-7221	プレカット、建材・住宅機器販売、内外装工事、建築請負工事
42	㈱丸末	072-362-6150	072-333-2200	倉庫賃貸、ゴルフ場、建設　リフォーム、他
43	丸八木材㈱		06-6561-4781	木材、合板製品の貸倉庫業、マンション、駐車場の賃貸管理業
44	㈱みはら	072-362-8006		鋼製足場材、アルミ足場板、足場パイプ、クランプ他　仮設資材一式、不動産管理業
45	ヤマキインテリア㈱	072-362-6565	06-6553-2222	別注家具・内装木工造作工事の設計・製作施工
46	㈱ヤマゲン	072-361-5583	03-3521-6455	木材リサイクル、山林管理、不動産賃貸
47	㈱吉村商店	072-363-3006	06-6968-2111	別注集成材の製造販売



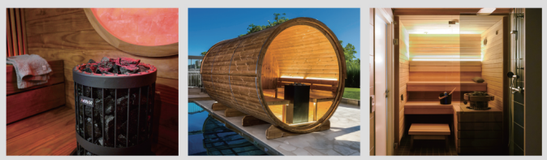
パナソニックのプロ×施工のプロ

私たち大五は、パナソニックを中心に設備・建材の販売を行う問屋機能と、建築一式工事から各種専門工事までを行う施工機能を兼ね備えた『エンジニアリング問屋』です。パナソニックのプロとして、施工のプロとして、関西エリアにおける街づくり・住まいづくりに貢献していきます。

HARVIA Sauna & Spa

Sauna Showroom 大阪中央

世界No.1シェア、フィンランドのサウナヒーターメーカー・HARVIA(ハルビア)の正規代理店。



オーダーメイドサウナ M.SAUNA



株式会社 大五

〒550-0011　大阪府大阪市西区阿波座2丁目4番23号　　https://daigo-inc.co.jp

祝　日本木材青壮年団体連合会
第 70 回全国会員関西大会





大阪木材仲買協同組合

理 事 長　　福本　桂太
副理事長　　佐藤　原二
副理事長　　桝谷　雅彦
専務理事　　森下　能成

※令和 7 年 5 月 22 日現在

〒550-0015　大阪市西区南堀江 4 - 18 - 10
TEL (06) 6538-2351　　FAX (06) 6538-2355
https://www.mokuzai-nakagai.com
E-mail:moku-nakagai@mth.biglobe.ne.jp

エコアコールウッド®

the earth conscious novel materials [ECO／ACCORD]

低分子フェノール樹脂保存処理木材



エコアコールウッドの特徴

- **高い防腐防蟻性能**
- **割れにくい、変形しにくい**
- 環境に配慮した無毒性
- **強度性能レベルアップ**
- **木材の質感維持**
- 国産材を使った製品



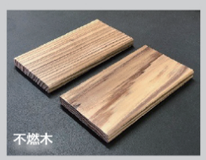




FUNEGI 不燃木

国内最高品質 内装用不燃木材 **不燃木®（フネギ）**

不燃木®（フネギ）は福岡県との不燃木材共同開発の締結のもと
経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業として進められ
新たな難燃剤の導入と九州木材工業の90年以上の注入技術で
国内最高峰の「不燃木材」の実用化に成功しました。



環境を守る 人の命を守る

九州木材

HP　YouTube

九州木材工業株式会社
代表取締役社長 角 博（第47代日本木青会会長）

〒833-0041 福岡県筑後市大字和泉309-1
TEL：0942-53-2174（代表）
MAIL：kmkk@kyumoku.co.jp
https://www.kyumoku.co.jp/

地域未来牽引企業　AQ-232-J2-1 AQ-232-11-1　JAS 全木協　JAB MS CM027　ISO 9001

京都木材協同組合

理事長
堀井 誠二

京都府京都市中京区西ノ京小倉町 138 番地
TEL：075-811-0147　FAX：075-822-3063
HP：http://www.kyomokkyo.com/

京都木材協同組合
Kyoto Wood Industry Cooperative

木とひかり、
自然の恵みで
未来を拓く

SLCs 2050

We are a group of sustainable Lumber companies,
moving towards a net-zero carbon by 2050

Sustainable Lumber Companies
循環型木材企業グループ

株式会社 久我

株式会社関西木材市場
大阪木材市場株式会社
大阪港木材倉庫株式会社
久我木材工業株式会社

私たちは、循環型木材社会を築き、
Net-Zero Carbon 2050※を目指す企業グループです。

※2050年までに、二酸化炭素の排出量実質ゼロ達成を目標にした宣言

連絡先▶ contacts@slcs2050.com

https://slcs2050.com/

私たちが世界のために実現出来ること。

地球と暮らしを考える。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JKホールディングスグループでは、持続可能な社会構築を目指すSDGs参画を通して、
現代社会に蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。地球資源を暮らしに活かす
企業だからこそ、地球の未来を想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。

JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800　https://www.jkhd.co.jp









第70回全国会員関西大会開催
おめでとうございます。

森から人へ、親から子へと、
受け継がれる家を建てる。めぐる暮らしをつくる。
これが、私たちの大切にしている想いです。



shimoara
株式会社シモアラ

本社 〒922-0262 加賀市柏野町イ51
Tel.0761-77-2133（本社）
www.shimoara.co.jp シモアラ

DAI 3 WOOD

地域のものを使い、
地域のものを継承する



株式会社 弥三木材
〒389-0514 長野県東御市加沢201-5
TEL:0268-62-1202 FAX:0268-62-1204
URL:https://dai3wood.co.jp/

instagram web

会の発展と
皆様の更なる
繁栄を祈念しまして

祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回全国会員関西大会

タカダビルテック株式会社

代表取締役 **正司 茂希**

〒 639-2241 奈良県御所市茅原 78 番地の 1
TEL : 0745-62-9783　FAX : 0745-62-8670
HP: https://www.takada-billtec.com/

Wood Support
外山木材株式会社
～木と共に１１３年～

株式会社Wood Prime ホールディングス

代表取締役会長　外山 正志
代表取締役社長　外山 勝浩



これからも地域基幹産業である木材産業を誠意と熱意をもって盛り上げて参ります

会社ホームページ

企業PVは
こちらから

【本社】
〒885-0075
宮崎県都城市八幡町18街区7号
TEL：0986-22-0176
FAX：0986-25-6804

【福岡ウッドセンター】
〒838-0144
福岡県小郡市祇園2丁目3番地1
TEL：0942-48-3200
FAX：0942-48-3232

【今町工場】
〒885-0064
宮崎県都城市今町7590番地
TEL：0986-39-1317
FAX：0986-39-2276

【志和池工場】
〒885-1103
宮崎県都城市上水流町1878-8
TEL：0986-36-3888
FAX：0986-36-3887

【志布志工場】
〒899-7401
鹿児島県志布志市有明町
伊崎田4153-1
TEL：099-474-2117
FAX：099-474-2108



北欧産ホワイトウッド　国産杉

小中大断面集成材 JAS認定工場

住宅用製材製品 パネル 部材加工

株式会社七谷川木材工業社

京都府亀岡市千歳町国分後田22番地1

TEL (0771) 22-1119 FAX (0771) 22-5095



Nana Europe Ltd. /　Tinatie 1, Neuvoton, FINLAND

祝

日本木材青壮年団体連合会

第７０回全国会員関西大会

奈良県木材協同組合連合会

会　長　丸　　敏　幸

副会長　菅　生　康　清

副会長　嶋　田　盛　男

〒633-0062　奈良県桜井市粟殿 354 番地

TEL　0744-47-4350　　FAX 0744-47-4361

https://naraken-mokuzai.jp/








CLT 施工写真


DLT恒久仮設木造住宅｜設計 坂茂建築設計＋ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク（VAN）


中・大規模木造建築 施工事例｜photo Takumi Ota


ANDPAD HOUSE｜設計 小林・槙デザインワークショップ

木を守る。木を生かす。

HASEMAN

私たち長谷萬グループは、新しい技術・サービスの開発や、木質化による豊かな空間の創造など、
木材の活用を通して、お客様に新たな価値を提供していくことを目指しています。

木材販売・加工事業

- CLT等、中・大規模木造プレカット加工
- 軸組・各種金物・2×4工法のプレカット加工
- 国産材・輸入材の販売

建築施工事業

- 中・大規模木造建築の設計施工
- CLT・DLT等、各種特殊木造工法の設計施工

株式会社 長谷川萬治商店
本社 〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6
TEL：03-5245-1151 https://www.haseman.co.jp▶

株式会社 長谷萬 カスタムホームズ事業本部
本社 〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-6
TEL：0120-698-296 https://customhomes.co.jp▶

日本木材青壮年団体連合会
第70回全国会員関西大会
開催おめでとうございます！



2050年カーボンニュートラルを見据えた
グリーン成長戦略の一翼を担うべく、
SDGs×ESG時代に相応しい
林業イノベーション型地方創生
エネルギー事業の創造をつうじて、
持続可能な
資源循環型経済の構築に
貢献しています。

バイオマスパワーテクノロジーズ
BIOMASS POWER TECHNOLOGIES
バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社
三重県松阪市小片野町1790番地1
btp.co.jp

ForestForce
Innovation & Renovation
Creating the Future of Forestry
株式会社 玉木材
奈良県五條市野原西4丁目2-8
forestforce.co.jp

代表取締役社長 北角 強（Tsuyoshi Kitakado） tsuyoshi.kitakado@bpt.co.jp

木を活かし、
空間を活かす



京都府産材・各地域産材でプレカットから家具、小物まで自社製造しています。

生活空間は日々変わりゆくもの…

ホリモクでは、お客様のライフスタイルに合わせて、

目的や趣味趣向にあったご提案をしていきたいと考えております。

環境を考えた無垢の優しさを手にしていただけたら…

それがホリモクの願いです。

竹 ホリモク株式会社

〒610-0114　京都府城陽市市辺五島 84-2
TEL:0774-52-0032　FAX:0774-55-3536

京都府産木材認証制度　取扱認定事業所
京都市域産みやこ杣木生産事業体
合法木材供給事業体



木の創造は無限大

The creativity of trees

木を育てる事から、製材、最終製品に加工販売する
お客様の「欲しい形」をワンストップで実現できる会社です



JAS認定工場／JPIC-LT-201　化粧貼集成材
国産杉桧積層材製造　無垢材加工　3D加工　特殊加工　銘木卸販売

株式会社 桝忠銘木店

〒637-0014　奈良県五條市住川町1303番地
電話番号0747-26-3600　FAX番号0747-26-3605　http://masuchu.co.jp/



IKONIH ウエットタオル　檜の旅

綿 100%、寄付金付きおしぼり



¥23（税込 25 円）

800 本入 / 箱
1 ロット 5 箱（¥101,200- 税込）、配送料込

日本木青連
会員様
限定価格

1 本につき 1 円の寄付

1本×1円の寄付 → 寄付先

植林は、森林再生だけでなく、地球温暖化の原因である二酸化炭素の新たな吸収源となります。

1本につき1円の寄付ができる仕組みを構築している為、購入数に応じて、貴社の寄付金額を可視化することができます。近年企業に求められる環境意識の向上やESG経営を推進の一助となる製品です。

ひのきサシェ

消臭 / 抗菌 / 防虫 / 除湿効果のある香り袋

動画にて活用方法をご覧いただけます。



1パック
2 個入

¥180（税込 198 円）

100 パック入 / 箱
1 ロット 5 箱（¥99,000- 税込）、配送料込

日本木青連
会員様
限定価格

おすすめ活用法


靴に入れて消臭


クローゼットで消臭

消臭・除湿などの優れた効果を発揮することを認めて頂き、住宅会社のノベルティやゴルフ場でゴルフシューズ用に販売など、様々な業界の企業様に導入いただいております。

外袋ラベルは、オリジナルデザインに変更可能です。
（別途料金 / 納期要相談）

例



カーボンポジティブの動画はこちら

丸紅木材株式会社　担当：田淵
大阪市中央区南船場 1-18-17　商工中金船場ビル 13 階
TEL：06-6260-0081 MAIL：info@ikonih.jp

販促資料、動画
すべて提供可能です

祝 日本木材青壮年団体連合会
第 70 回 全国会員 関西大会

◇針葉樹製材・加工　合法木材供給事業者（道木連第９号）　JAS 認定事業者　北林検認定第 193 号◇

株式会社 ヨシダ

〒053-0056　北海道苫小牧市あけぼの町3丁目4番7号
TEL.0144-55-0830／FAX.0144-55-2582
https://www.tomakomai-yoshida.com

IMPULSE

桜井市商工桜井市商工会青年部

MORIMOTO-MOKUZAI

古味金物店
KOMIKANAMONOTEN

株式会社 飛鳥
飛鳥と変える明日の暮らし



より快適な住まいづくりをお手伝いする

ENBUTSU

圓佛産業株式会社

圓佛産業 株式会社 大牟田木材市場

〒 836-0843 福岡県大牟田市不知火町 2 丁目 1-14
TEL : 0944-52-4222　FAX : 0944-52-3256
HP: https://enbutsu-sangyou.com/

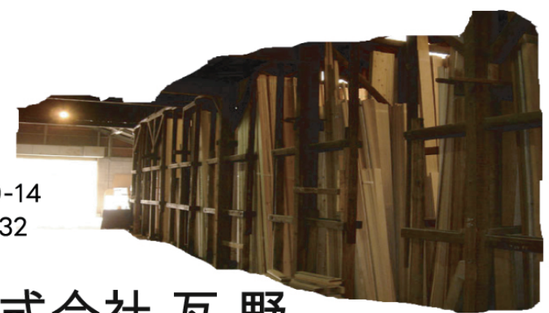
Ｄｅｓｉｇｎ空間と空間木質化の提案。











〒647-0045 大阪市平野区平野上町 1-10-14
tel：06-6791-1108　fax：06-6791-8132
e-mail：mitsutaka@kawarano.co.jp

HAWARANO Co.,Ltd. 株式会社 瓦 野

京都木材青年経営者協議会

合板加工の開発工場

株式会社 センエイ

SEN-EI

代表取締役　間﨑 泰光

〒596-0011 大阪府岸和田市木材町 15-4
TEL：072-436-5769　FAX：072-436-5759
www.senei.co.jp





FSC
www.fsc.org
FSC® C162124
責任ある森林管理のマーク

SGEC
SGEC/31-31-1425

JAS
JAS 認証工場

LRQA CERTIFIED ISO 9001
UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 0001
品質マネジメントシステム
ISO９００１認証取得

DX認定
DX - 2023 - 11 - 0008 - 01

2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

祝

日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員 関西大会

株式会社 奈良木建

代表取締役　谷畑 勝三

〒630-8145 奈良県奈良市八条 5 丁目 430-1
TEL : 0742-33-6332　FAX : 0742-34-2618
HP : https://naramokken.co.jp/

「木と人と、未来のために」

西垣林業株式会社

代表取締役社長　西　垣　雅　史
代表取締役副社長　西　垣　貴　文

■桜井本社
奈良県桜井市大字戒重１３７番地
ＴＥＬ　０７４４（４６）３９３９（代）　ＦＡＸ：０７４４（４６）３９２２

■名古屋本社
愛知県名古屋市瑞穂区桃園町３番２３号
ＴＥＬ　５８２（８１１）７１３１（代）　ＦＡＸ：０５２（８２４）８２９７

○事業所／工場：酒田・茨城・浜松・豊田・三重・舞鶴・四国
○出　張　所：高山・美濃・高知西部・仁淀川
○西垣林業フォレスト（株）：奈良本社・高知・三重・愛知・山形

西垣林業株式会社
Facebook 公式アカウント

西垣林業株式会社
【公式】インスタグラム



ずっと使うフローリングだから、色や素材はもちろん
お部屋や過ごし方に合わせた「性能」で選びませんか。

空間や暮らしに合わせた性能グレードをご用意しています


油汚れや埃が
つきやすい
LDK


椅子の引きずり傷が
つきやすい
ワークスペース


遊びで
傷つきやすい
子供部屋


小さなゴミで
傷つきやすい
廊下


すべりに
配慮したい
ペットとの暮らし

適材適床に
ついて
詳しくご紹介

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
KECT1G79

くらしの「ずっと」をつくる。
Green Housing Panasonic

木材産業の発展をとおして
地域・社会に貢献する

平林会木材協同組合
一般社団法人 平林会

平林会木材協同組合
理事長　湯川 昌子

(一社) 平林会
理事長　小林 健次郎

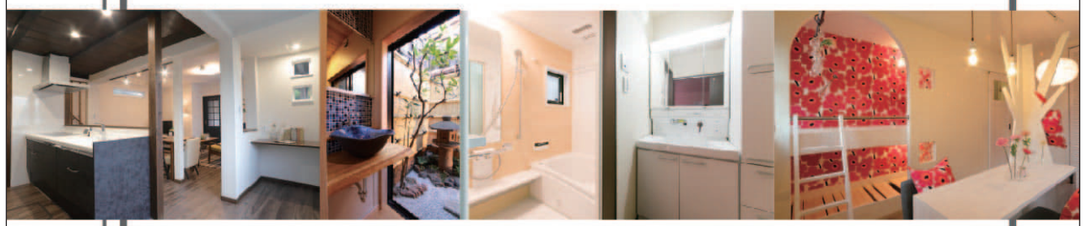
〒559-0025 大阪府大阪市住之江区平林南 1-1-8
TEL : 06-6685-6907　FAX : 06-6686-5724

平安建材は、 京都の住まいと暮らしを支える
住宅建材の流通サービス業です



京ぐらし“醍醐の家”

『京ぐらし』は、歴史ある京町家を次の世代に住み継ぐ為、
新しい息吹を建物に吹き込み、生まれ変わらせる提案をしています。





平安建材株式会社
http://www.heiankenzai.co.jp/

[本社] 京都市右京区西京極北庄堺町 27-1

[TEL] 075-311-9600

Wood yan

—— Wood-yan.com ——

古材足場板のプロショップ

大量在庫　安定供給

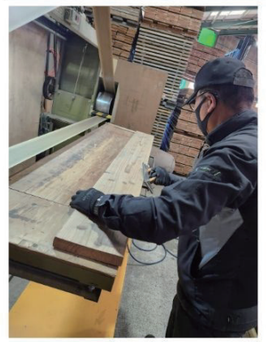
木材の卸売を生業としているからこその自社が取り扱う商品は単価、納期の面での対応はもちろんですが、安定供給できる事こそが強みであると思います。我が子を想う気持ちが強いあまり、一枚一本丁寧に時間をかけて仕上げておりますが、その分クレームに繋がるような粗悪品は絶対に混入させない事、規格に基づいた高品質の古材を今後も変わらずお届けするように努めてまいります。





全国発送
承ります







WELCOME　建築のプロの方へ

建築材料として古材足場板を扱うのが
初めての法人様でもご安心ください。
私たちが全力でサポート。

QUALITY　大型案件にも対応

大量在庫から独自の規格を設けて、
ニーズに見合った高品質の古材足場板を
提供しております。

Onlineshop

Wood yan
—— Wood-yan.com ——

TEL　0744-43-2222
FAX　0744-43-2223
※平日9：00-16：00

Instaglam

web　https://wood-yan.com
住所　〒633-0053　奈良県桜井市谷45-1

関西で型枠用桟木・杉足場板といえば
仮設資材専門の山口裕康商店へ！

0744-43-2221

株式会社　山口裕康（ひろやす）商店

営業時間　8:00-17:00　定休日/土・日・祝日
住所　〒633-0053　奈良県桜井市谷45-1

日本木材青壮年団体連合会

第 70 回全国会員関西大会 開催
おめでとうございます



Know Forest Know Life

森を知り、木を生活に取り入れる事で
人生はもっと豊かに

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社 東野木材店
Higashino timber Co.,Ltd

MINAMIKAWACHI RINGYO Co.,LTD

FUJIKI BUILDER
www.FUJIKI345.com

祝

日本木材青壮年団体連合会
第 70 回全国会員関西大会

歴代実行委員長の会

代表発起人

宮崎　正毅（平成 13 年度長野大会実行委員長）
加藤　慎一郎（平成 18 年度福岡大会実行委員長）

平成 13 年度以前の歴代実行委員長の方で、ご賛同・ご参加頂ける方は日本木青連事務局までご連絡下さいませ。

日本木材青壮年団体連合会

事務局　川端 咲子

〒135-0041 東京都江東区冬木 6-14 飯沼ビル 102

TEL 03-5620-4806 / FAX 03-5620-4809
email info@mokusei.net

ASANO
ASANO Enterprises Inc.
木材の輸入専門商社

求められる木を、
求められるカタチで。

株式会社 アサノ
代表取締役社長 浅野敏行

本　社 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1丁目12番13号 TEL(06)6271-6371 FAX(06)6245-2304
旭川支店 〒070-0823 北海道旭川市緑町17丁目 TEL(0166)51-4114 FAX(0166)51-4119

http://www.asano-inc.jp/

木を育む手で確かな資材供給
有萬木材株式会社
代表取締役 山口哲生
〒572-0071 大阪府寝屋川市豊里町15番8号
TEL:072-832-4141　FAX:072-832-3711
URL http://www.aruman.co.jp
E-mail:info@aruman.co.jp
関連会社：株式会社 有萬

祝
日本木材青壮年団体連合会
第七十回全国会員関西大会
我が国に樹木を植えて廻った木の神様を祀る
紀伊国一之宮
伊太祁曽神社
和歌山市伊太祈曽558
電話 073（478）0006
JR和歌山駅より和歌山電鐵伊太祈曽駅下車すぐ
阪和自動車道和歌山南IC（ETC専用）より5分
いたきそ神社 検索



株式会社 伊藤嘉材木店
取締役 伊藤 喜隆
〒558-0044 大阪府大阪市住吉区長峡町7番23号
TEL：06-6671-2579　FAX：06-6675-1123　HP：https://itohka.com/

上西木材株式会社

代表取締役 上西 博一

〒581-0068 大阪府八尾市跡部北の町 1 丁目 2-14

TEL：072-992-0125（代）　FAX：072-992-1407

グリーンハウザー株式会社

代表取締役 青松 達志

〒597-0102 大阪府貝塚市木積 482

TEL：072-421-3955　FAX：072-421-3966

裕 ウラベ木材工業
ウラベ商事株式会社

代表取締役 卜部 能尚

PRESIDENT　URABE　YOSHITAKA

〒633-0054　奈良県桜井市大字阿部527
TEL：0744(42)2688(代)
FAX：0744(45)4378

URABE LUMBER CO.,LTD.
527,ABE,SAKURAI-CITY,
633-0054,NARA,JAPAN
TEL：0744-42-2688　FAX：0744-45-4378

祝 第70回 全国会員 関西大会

A.CE 技建

兵庫県淡路市久留麻 128-4
TEL：0799-70-1166
FAX ： 0799-70-1166



お客さまといっしょに積み上げる木の家づくり

エビナ製材株式会社

本　　社：京都市右京区嵯峨野千代ノ道町11　〒616-8321
モデルハウス：京都市右京区山ノ内西八反田町1-2　〒615-0095
(075)861-2127　(075)861-2129
(090)4273-1148　shop@kyoto-ebina.com
https://www.kyoto-ebina.com

新発売！



キシラデコール® シリーズ
木材の自然な色合いを長く保持させます。

キシラデコール OVER 50 SINCE 1971 Experience

屋外木部用 / 油性 / 含浸形

キシラデコール® やすらぎ
防カビ補強下塗り剤
（フォレステージ兼用）

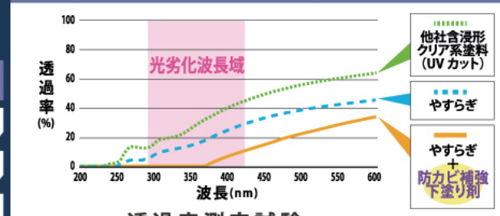
本防カビ補強下塗り剤は、
大阪・関西万博「大阪ヘルスケアパビリオン」
の木部外壁塗装に使用されています。

下塗り剤塗布が効果的な理由

POINT 1 高配合の防カビ成分が木材に浸透してカビの発生を抑制
POINT 2 UVA がやすらぎからわずかに透過する紫外線をブロックし木材を保護
POINT 3 HALS が樹脂などの劣化因子ラジカルを捕捉することで塗膜劣化を抑制

UVA：紫外線吸収剤　HALS：光安定剤

木材の光劣化の原因となる紫外線
（波長 300 ～ 380nm）をブロック



透過率測定試験　測定試験の材質：石英

製造販売
みつける、こたえる、かなえる ケミカル
大阪ガスケミカル株式会社

保存剤事業部　〒550-0023　大阪市西区千代崎三丁目南 2 番 37 号　ドームシティガスビル
平日9:00～17:30（土日祝日・その他当社休業日を除く）　0120-124-123
提携先: キシラデコール、フォレステージはAkzoNobel社の登録商標です。https://www.xyladecor.jp/

株式会社 岡田材木店

〒601-8381 京都市南区吉祥院西ノ茶屋町 35
TEL：075-691-3306　FAX：075-691-3686

※ 住宅および非住宅木造建築
（倉庫・工場、各種施設など）についてもご相談を承ります。
TEL:06-6245-1333【国際企画部】
メール kikakucloud@okamei.co.jp

OKAMEI
株式会社岡本銘木店
〒564-0001 大阪府吹田市岸部北 5-32-1
代表取締役社長　佐藤 朋子



祝 日本木材青壮年団体連合会

第 70 回全国会員関西大会 開催
木を愛し　勤労にいそしむ人々を尊び
大阪は泉州の地から　世の平和と繁栄とを願う.
私たちは大阪木材商業団地協同組合です

理事長 角野 弘　　専務理事　前田 光作



大阪木材商業団地協同組合
〒550-0015　大阪市西区南堀江4-18-10
TEL06-6538-2351／FAX06-6538-2355

大阪木材商業会館
〒596-0011　岸和田市木材町15-3







総合物流サポート 倉庫作業・配送・木材加工
木材・建材販売・木製品販売
かねひさ株式会社
〒596-0011 大阪府岸和田市木材町9−2
TEL 072-438-0021 FAX 072-431-7775
http://www.kanehisa.co.jp

KANEHISA
「唯一無二のモノづくり」の事例は
右側の QR コードよりご覧ください

賃挽製材・樫材別注品・各種冷凍イカ販売

兼義木材　川合 秀亘

〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-56
TEL : 06-6685-1771　FAX : 06-6685-5054



㊅ 紀洋木材株式会社
〒551-0013 大阪市大正区小林西1丁目16番2号
TEL 06-6552-6391
FAX 06-6552-5332　E-MAIL info@kiyolumber.co.jp

さらに詳しい情報は
ホームページで随時公開中です。
紀洋木材　検索
http://www.kiyolumber.co.jp

㊅ このロゴマークは、大正時代に先々代・桑原清八が創業した桑原商店の屋号「マルセ」から、代々引き継いできたものです。時代は変われども、「創業の志は不変である」との想いを象徴しています

地元で育てた木を地元で使うこと。
それは京都の森林を支えること。



一般社団法人 京都府木材組合連合会
〒604-8417 京都府京都市中京区西ノ京内畑町 41-3
TEL : 075-802-2991　FAX : 075-811-2593　HP : https://www.kyomokuren.or.jp

祝 70 回 全国会員関西大会



日本製材技術賞
農林水産大臣賞受賞

匠

グリーンウッドタクミ協同組合
代表理事　浦田　理
〒515-0088 三重県松阪市木の郷町 12
Web
JAS 規格・三重・愛知・岐阜・奈良・京都・滋賀の県産材認定工場

NO.1　国産材役物メーカー

頑張っています。
KUWABARA

■事業内容　：国産桧・杉の製材および加工
■主な商品内容：構造材・造作材
社寺建築用特殊部材
フローリング・羽目板

木と人の、幸せ関係。Woody Happy
㊎桑原木材株式會社
代表取締役 桑原 教行
〒484-0888 愛知県犬山市大字羽黒新田字下蝉屋38
TEL(0568)67-5111(代) FAX(0568)67-4770
URL http://www.kuwabara.co.jp/

今は丸太浮かばぬ貯木場　　時は過ぎ 時代は移ろう
瞼閉じれば過ぎし日の光景浮かび　　水面のごとくこの心、揺れる
されど我ら 意気軒昂　　ともに拓かん、商いの道を
大阪木材商業団地協同組合は若き木材人を応援しています！



大阪木材商業団地協同組合
〒550-0015　大阪市西区南堀江4-18-10
TEL06-6538-2351／FAX06-6538-2355

大阪木材商業会館
〒596-0011　岸和田市木材町15-3

坂矢木材株式会社

代表取締役 坂矢 勝哉

〒622-0031
京都府南丹市園部町船岡栗村 60

TEL : 0771-62-3535　FAX : 0771-62-2001
HP : https://sakaya-mokuzai.com/



SANYU MOKUZAI since1951

三祐木材株式会社

代表取締役 三浦 祐生

〒654-0133
兵庫県神戸市須磨区多井畑池の奥上 11-1　TEL : 078-743-3111　FAX : 078-743-3203



祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員関西大会

翠葉会

西田 稔夫	森 隆彦	村瀬 伸秀	若山 貴義
小川 宣久	堀井 誠史	岸本 宏	國松 保之
森田 茂美	清水 弘一	谷口 吉昭	玉井 庸久
藤田 剛士	早田 登史男	辻井 毅	出竿 吉嗣
洪水 浩巳	渡邉 義人	竹内 秀行	稲垣 佳孝
利田 淳司	中西 一喜	青木 康一郎	浅岡 秀哉
小畑 隆正	齋藤 行則	石山 淳一	吉岡 英昌
久保 和則	尾崎 友紀	山口 展稔	中川 登
赤塚 弘和	内藤 隆行	中田 弥	海老名 宜行

翠葉会は京都木材青年経営者協議会のOB会です。

SUGO 菅生銘木市場

株式会社 菅生
〒633-0048 奈良県桜井市生田 713-1 ウッドメッセ奈良 TEL：0744-43-7700

S·P·Y 株式会社スペースパーツ山形

○住宅資材（内外装建材、水廻り設備機器、樹脂サッシ 他）
○木材・合板（無垢材、集成材、LVL、各種合板）
○木造軸組プレカット加工（在来工法・金物工法）
○工事各種（木工事、外壁工事、断熱吹付工事、太陽光パネル工事 等）
○長期優良住宅サポート・住宅構造計算（許容応力度・壁量、耐震等級）
○省エネ計算サポート（BELS 評価申請、ZEH 住宅申請 他）

本　　社 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地 155-6
TEL 0237-83-3000　FAX 0237-83-3030
仙台支店 〒983-0822 宮城県仙台市宮城野区燕沢東 1 丁目 6-25
TEL 022-797-3118　FAX 022-797-3218



桧フローリング・内装材・注文材対応

人と木と・・・未来のために

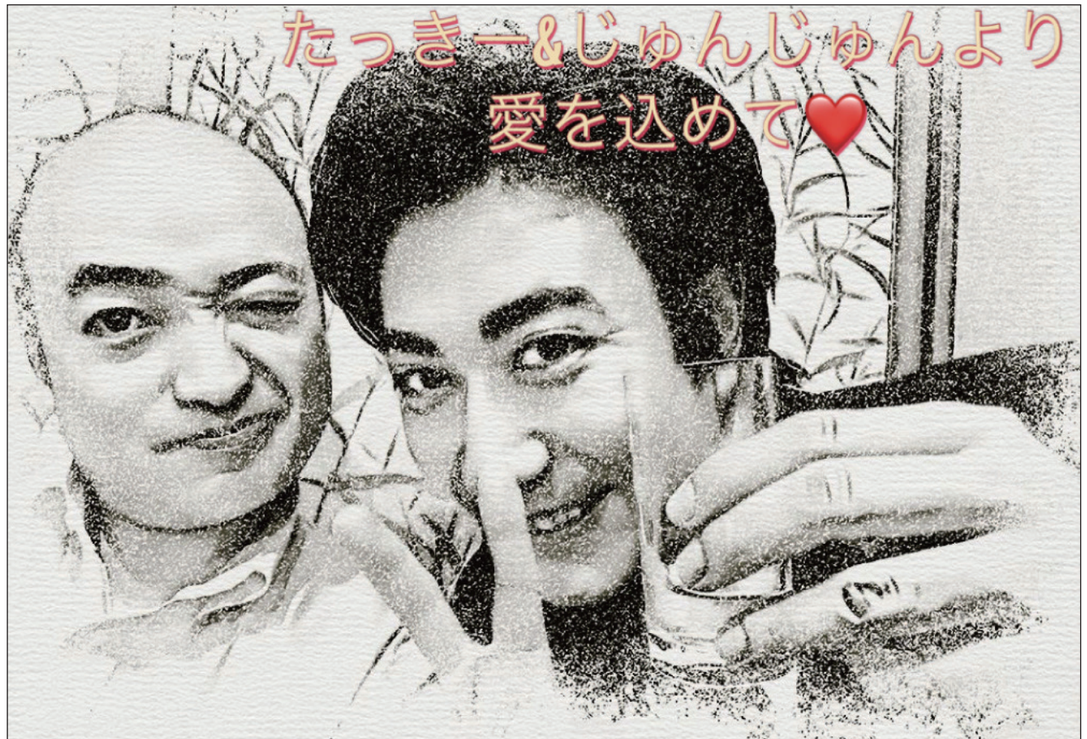
株式会社 田上

代表取締役 田上浩基

三重県松阪市飯南町下仁柿 134 番地
TEL : 0598-32-2983　FAX : 0598-32-3729
HP : https://maru7-tagami.co.jp/



DAISHIN 大信製材株式会社



Taniichi

代表取締役 谷奥 康太

谷一木材株式会社　〒632-0063 奈良県天理市西長柄町 680
TEL : 0743-67-0126　FAX : 0743-67-0127



小規模から中大規模建築まで
当社はあらゆる木造建築に対応

店舗、老人ホーム、病院、大型住宅、工場、倉庫などの木造建築
各県産材、地域産材での製造などお気軽にご相談ください。

TORISUMI
トリスミ集成材株式会社
代表取締役 貝本貴哉 〒637-0014 奈良県五條市住川町 1297
TEL : 0747-26-6662 FAX : 0747-23-5260 HP : http://www.torisumi.net/

幸せと豊かさを共につくる



ナカザワ建販株式会社
NAKAZAWA KENPAN

- 構造材・プレカット
- 外壁材・サイディングプレカット
- 住宅設備機器
- 中大規模木造工事
- 内装建材 インテリア
- 外装材・エクステリア
- 太陽光発電・蓄電システム
- 自社物流ネットワーク

TEL.0725-30-3500 FAX.0725-30-3550 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野4-3-20 https://www.nakazawa-kenpan.co.jp

HPはこちら!!

中吉野木材工業協同組合

代表理事 堀内嘉久

祝 第 70 回 全国会員 関西大会

吉田実行委員長　岩井会団長
お疲れ様です

H14 年度奈良県木材青壮年団体連合会会長

日本木青連昭和49年会

会　長　笹岡 輝久（高知）　　副 会 長　瓦野 光貴（兵庫）
副会長　中村 隆章（兵庫）　　事務局長　藤本 純司（大阪）

江崎　亮（北海道）　丹　一成（福島）　荒井　浩（東京）
折高 行弘（石川）　角永 克介（石川）　石川 敏英（福井）
岩城　努（三重）　中田　弥（京都）　伊東 和哉（京都）
久々山大樹（大阪）　楠　泰明（大阪）　田中 由虎（大阪）
仲谷 貴紀（大阪）　横尾 幸政（兵庫）　岸本 豊史（兵庫）
古西 和紀（兵庫）　小林 幹治（美作）　鈴鹿 雄平（美作）
難波 高明（美作）　豆原 義人（美作）　山下 昭郎（美作）
須江 健治（美作）　田原真一郎（広島）　富永洋一郎（広島）
松本　淳（広島）　增原 一憲（出雲）　森本 吉則（福岡）
鍬本 篤史（熊本）　工藤 建樹（宮崎）　高嶺 清哲（宮崎）
小山 幹太（沖縄）

祝 第70回 全国会員 関西大会

祝 第70回全国会員関西大会

日本木青連ナナハチ会

昭和47年・48年生まれの日本木青連会員及びOBの会です。
全国の同世代との交流、情報交換を目的とした会ですので
昭和47年・48年生まれの皆様、ご連絡をお待ちしております。

＜連絡先＞　清水　俊晴（愛知）
E-mail：tkyn197311@gmail.com

【第70回全国会員関西大会協賛メンバー】

丹治　有貴（北海道）　村山　恵一郎（北海道）　吉田　勝利（北海道）
谷地　譲　（岩手）　市之瀬　嘉樹（東京）　中村　広貴（神奈川）
印出　晃　（長野）　角永　義隆　（石川）　清水　俊晴（愛知）
峰野　晋　（愛知）　宮本　哲治（和歌山）　藤木　剛　（大阪）
三渡　保典（兵庫）　冨田　徳明（広島県西）　小城　貴嗣（広島県西）



人とともに。木とともに。

HIGOMOKU

肥後木材株式会社



令和7年3月～乾燥事業部開設

代表取締役　佐藤圭一郎

熊本県熊本市東区平山町2986-11
TEL：096-389-0022 FAX：096-389-8911
https://www.higomoku.com

●グループ会社
【熊本市】株式会社佐藤林業（製材・小売販売）
【北九州市】株式会社福岡県新小倉木材市場（製品市場）
【鹿児島市】株式会社パーフェクト（製品市場）
【熊本市】肥後石油株式会社（ガソリンスタンド）

祝　日本木材青壮年団体連合会
第70回全国会員関西大会



住んでよし 心ゆたかな 木の住まい

兵庫県木材業協同組合連合会



〒650-0012
兵庫県神戸市中央区北長狭通５丁目５番18号
https://www.hyogomokuren.jp/
TEL:078-371-0607　FAX:078-371-7662





スライドソーを選ぶなら、アーテンドルフ

無垢木材、合板、パネルを美しく切断。
軸傾斜、定規の角度セットで3次元カットも高精度に行えます。
パネルソー、リップソー、クロスカット、昇降盤、軸傾斜横切り盤の
すべての機能を兼ね備えた木材関連業者に必須の機械です。
オプションで最大4900mmまでの長尺切断タイプも可能です。

URL http://www.fuso-ltd.co.jp
FUSO フソー株式会社

祝・第70回全国会員関西大会

フルタニランバー株式会社

石川県金沢市湊1丁目86番地　TEL 076-238-5633 FAX 076-238-5635

■事業内容　木材輸入販売（卸売・小売）、木材加工

■取扱品　無垢板材（家具材・建具材・建築材）
集成材、フローリング、ランバーコア、芯材、丸太

■取扱樹種　タモ、ナラ、ウォルナット、チーク、スギ、ヒノキ、能登ヒバ等
国内外の広葉樹・針葉樹各種

woodbe
改質水と抗火石の高速木材乾燥技術

treeflow
木材業界に特化した業務システム

ATENOTE
能登ヒバ楽器プロジェクト



森と仕事と
暮らしをつなぐ
ユニークカンパニーへ

株式会社 紅中

代表取締役社長　中村晃輔

大阪会団　西尾尚記
東京会団　佐々木歩

VENICHU

祝

日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員 関西大会

北海道木材青壮年団体連合会



松阪地区青和会　FAX：0598-20-2234

三重県松阪市木の郷町18松阪地区木材協同組合スマッキー内

@MATSUSAKASEIWAKAI

松下木材株式会社

本社
〒595-0011
大阪府泉大津市曽根町2-10-5
TEL 0725-23-3900
FAX 0725-23-3905

Jqualia
〒659-0067
兵庫県芦屋市茶屋之町10-7-1F
TEL/FAX　0797-32-1010

木と工房家具　Jクオリア

https://www.j-qualia.jp

株式会社松本商店

大阪府大阪市住之江区平林南 1-3-83
TEL：06-6685-3971　FAX：06-6685-3033

(株)マナックス

代表取締役社長 **松波 清人**

〒545-0052 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-5-1 あべのルシアス 8F
TEL : 06-6563-9944　FAX : 06-6563-9947　HP : https://www.manacs.co.jp/

吉野勘 株式会社 丸商店

代表取締役社長 **丸 充彦**

〒639-3114
奈良県吉野郡吉野町丹治 69

TEL : 0746-32-8048　FAX : 0746-32-4030
HP : http://www.marushouten.co.jp

祝 第70回全国会員関西大会

丸五木材 有限会社

祝 日本木青連 第 70 回 全国会員 関西大会

FOR TIMBER. LUMBER
社寺仏閣材
優良材・内外材原木・現地挽製品問屋

株式會社 丸 玉

代表取締役　玉井 庸久

本　　社　〒617 - 0003 京都府向日市森本町高田 14-4
TEL 075-933-1181~3　FAX 075-933-1332
URL http://www.woody-marutama.co.jp

東土川倉庫　〒601 - 8204 京都市南区久世東土川町 83
TEL 075-922-2244

八 幡 倉 庫　〒614 - 8194 京都府八幡市野尻円ノ元 10-2



古民家の
広葉樹 古材
買います

京都・古材市場
株式会社 丸嘉（マルヨシ）
代表取締役　小畑　隆正
（京都木材青年経営者協議会 OB）

〒612-8297
京都市伏見区横大路貴船114
TEL 075-622-1408　FAX 075-622-1400
E-mail t-obata@maruyoshi21.com

LINE
WEB



創業1894年
暮らしの中に木のぬくもりを

MURAKAMI
村上木材株式会社
代表取締役社長　佐原 謙次

本社
〒559-0025 大阪市住之江区平林南 2 丁目 - 11-108
TEL (06) 6685-0431 (代表)　FAX (06) 6681-5057
https://mr-lb-co.jp

支店・事業拠点
東京・福岡・大分

広陵木材株式会社
プレテック株式会社 PRETEC Co., Ltd.
プレテック福岡株式会社
JAPAN WOOD HOUSE 株式会社
尾崎酒造株式会社

祝 第 70 回 全国会員 関西大会

吉田実行委員長　岩井会団長
お疲れ様です

社寺仏閣別注材・桧カウンター材
村上木材　代表 村上 文彦

祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員関西大会

森本銘木店

森本 司

奈良県桜井市大字鹿路 91-2
TEL : 0744-49-0017　FAX : 0744-49-0017



森林レンタルサービス

forenta

森と人をつなげ
森林から安定的な収益を得る
新しい仕組み

育林中の森林から継続的な収益が得られることで、持続可能な森づくりを実現。
適度に人の手が入ることで森林の荒廃を防ぐ。
利用者が周辺地域で買い物や観光をすることで、地域の活性化に貢献。
きれいな空気や自然環境を多くの方が体感。
森林を活用した新しい事業の創出。

フランチャイズ募集中

フォレンタのフランチャイズに興味をお持ちの方は、お問い合わせください
オンラインで概要をご説明いたします。

お問い合わせ

山と共にあしたをつくる
株式会社 山共　製材／建築材等の販売

山共

森林の魅力を発見し 育て社会と享受する森林ベンチャー
株式会社
シシガミカンパニー　森林レンタル事業
国産トリュフ製造

シシガミカンパニー

祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員関西大会

(株) 山末

山本 樹志

奈良県天理市西長柄町 515
TEL : 0743-67-0130　FAX : 0743-67-2349



祝！日本木材青壮年団体連合会
第70回全国会員関西大会開催

by(株)大和木材商会

祝

日本木材青壮年団体連合会
第70回全国会員関西大会

株式会社 吉野力杉センター

代表取締役　勢渡　弘久

奈良県吉野郡吉野町橋屋 58
TEL : 0746-32-1627　FAX : 0746-32-1629



人と街と、街とくらしと、くらしと人と、
ひとと人とが調和する都市。

美しい都市に、ここちよい生活空間を。

株式会社 四ツ橋

本社/大阪市西区新町1丁目3番12号 〒550-0013
☎(06)6532・2212㈹　FAX(06)6533・2002
http://www.yotubasi.co.jp　mail:info@yotubasi.co.jp

YOTUBASI

和歌山木材協同組合

理事長 葛本 晴久

和歌山県和歌山市西浜 1660-180
TEL : 073-499-5467　FAX : 073-499-5469
HP : http://www.wakayama-mokuzai.or.jp/



製造業を
機械システムでサポートする

HomePage　Youtube

OIN オーアイ・イノベーション株式会社

〒427-0103 静岡県島田市中河218　TEL 0547-38-2141　FAX 0547-38-1168



美
cafe
株式会社カネヨ



〒633-0048 奈良県桜井市生田125 125番地
Tel. 0744-48-3237

株式会社 協同ウッド

〒559-0026
大阪府大阪市住之江区平林北2-9-157　TEL 06-6685-2231　FAX 06-6685-2233

令和6年度JC出向常任理事
杉浦 晴太郎

杉治株式会社
〒447-0847愛知県碧南市音羽町4丁目69番地
TEL 0566-41-0284 / FAX 0566-41-0222



ももくり三年。
たちばな百年。

栗材・名栗加工専門 橘商店

http://www.naguri.co.jp

Instagram

TERASHIMA

有限会社 寺島木材

SINCE 1926

代表取締役 寺島 信弘

〒981-3217 宮城県仙台市泉区実沢樋渡1-6 https://teramoku.jp

TENMA CORPORATION

まごころで運送いたします





天馬運輸株式会社

〒633-2114 奈良県宇陀市大宇陀春日514 TEL:0745-83-0724 FAX:0745-83-3547

まほろばの相伝 古の師匠に習う

株式会社 鳥羽瀬社寺建築

一級建築士事務所

代表取締役会長 堂宮大工 鳥羽瀬 公二

国宝・重要文化財修理 社寺建築設計施工
伝統構法設計施工 伝統構法耐震診断

文部科学省選定保存技術団体・ユネスコ無形文化遺産登録団体
(一社)日本伝統建築技術保存会 会長
(一社)文化遺産を未来につなぐ森づくり会議・理事
大阪公立大学工学部建築学科 非常勤講師

本社 〒579-8001 大阪府東大阪市善根寺町6-9-28 Tel. 072-981-8493 Fax. 072-981-8508
東京事務所 〒113-0033 東京都文京区本郷3-41-9 N・HONGO BLD. 7階

中田木材工業株式會社

代表取締役社長 島津 浩之
HIROYUKI SHIMAZU

〒559-0025大阪市住之江区平林南1丁目4番2号
TEL.06-6685-5315 FAX.06-6682-4470 http://wwwi-nakata.co.jp/

ウッドメッセ奈良

奈良県銘木協同組合 理事長 貝本博幸

〒633-0048 奈良県桜井市生田713-1 電話(0744)42-0557(代) FAX(0744)42-0511

https://www.nara-meiboku.com

祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員関西大会

吸震工法「壁柱」
京都大学防災研究所
(一社)大阪府木材連合会
共同特許





Keep on your life!!
壁柱にニゲコム!!

意見交換会
・港ハウスビルダー株式会社 松山泰造
・大仲協 有志メンバー

AICA

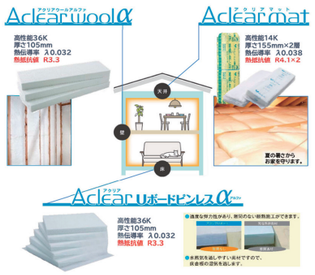
AICA ECO-ECO BOND & AICA AIBON アイカ工業 接着剤シリーズ

内外装用 木工用
多用途 工業用

接着剤メーカーとして創業したアイカ工業。
歴史に裏付けられた安心の技術でお応えします。

アイカ工業株式会社
大阪支店 https://www.aica.co.jp/

高性能グラスウール断熱材 Aclear アクリア 【断熱等性能等級6】断熱仕様 5~7地域



一年中、快適で
暮らせるように
断熱材は
ノン・ホルムアルデヒドの
高性能グラスウール
アクリアです!!

旭ファイバーグラス株式会社

ASIA TRADING.INC
株式会社アジアトレーディング

群馬県前橋市東金丸町60-5 Tel.027-212-5597 Fax.027-212-5598

有限会社 安心院製材所

代表取締役 安心院 啓

大分県日田市大字高瀬2277番地
Tel.0973-22-2304 Fax.0973-23-3957

https://www.ajimiseizaisho.com

国産 検すのこ 日本一!!

すのこ工場や活用方法を発信中!
Instagram

I・M・K
IKEGAWA MOKUZAI / KOCHI

ECサイトはコチラ

池川木材工業(有) 代表取締役 大原栄博
高知県吾川郡仁淀川町土居甲775-1
TEL 0889-34-2015 FAX 0889-34-2545

https://www.ikemoku.co.jp

株式会社 石岡材木店

代表取締役 石岡敏雄

TEL 06-6641-2646 FAX 06-6644-3189
〒542-0072 大阪府大阪市中央区高津3丁目13番17号

石山木材 株式会社

代表取締役 石山淳一

〒612-8341 京都府京都市伏見区聚楽町1丁目716番地
Tel.075-621-3001 Fax.075-621-3002

思いに寄り添い つなげる未来

浦本木材株式会社

代表取締役 浦本 雅史

〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通1-9-15
TEL 072-362-6550 FAX 072-362-4404

永大産業 株式会社

〒559-0025大阪市住之江区平林南2-10-60
TEL 06-6684-3030 FAX 06-6683-4880

王栄木材有限会社

代表取締役社長 早田 登史男

〒621-0242 京都府亀岡市宮前町神前山田38-1
TEL 0771-26-5515 FAX 0771-26-5557

Kawai Holz

有限会社 川井木材
https://kawai-holz.jp

代表取締役 川井 博貴

〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山166
TEL 0887-70-2330 FAX 0887-76-4567

株式会社 梶谷集成材

奈良県天理市西長柄町276番地
TEL.0743-67-3339 FAX.0743-67-3336

甲村耕三様、吉田敦彦様
おつかれさまです。

KAWAGUCHIYA Inc.

株式会社 川口屋

代表取締役 川口 大輔

〒515-1723
三重県松阪市飯高町
乙栗子124
TEL.0598-47-0073
FAX.0598-47-0668
http://kawaguchiya.net

総合建設業・一級建築士事務所

株式會社 関西工務店

■本社／大和高田市材木町１番３号 ■事務所／大和高田市東雲町２番１７号

https://kansaikoumuten.com/



紀南木材新緑会

会 長
中谷 友哉

〒647-0025 和歌山県新宮市あけぼの4番64号
（新宮木材会館内）
TEL.0735-22-6105 FAX.0735-22-6107

無垢材専門

木屋 伊勢戸

伊勢戸 信司

〒616-8274 京都市右京区梅ヶ畑上ノ町38
tel 090-1915-1417 fax 075-862-2302

祝 日本木材青壮年団体連合会
第70回 全国会員関西大会

京青協OB一同

木を活かし快適なくらし
未来につなぐ木の文化

kugaichiurimokuzai
久我市売木材 株式会社

代表取締役社長　池内 亮

〒581-0815 大阪府八尾市宮町3丁目4-60
TEL 072-998-2731　FAX 072-998-2738
https://www.kugaichiurimokuzai.co.jp

---

e-材木屋.com
-zaimokuya

有限会社 洪水製材所

代表取締役　洪水 浩巳

〒616-8241 京都市右京区嵐滝泉殿町9番地の5
TEL 075-462-7411　FAX 075-462-7481

www.e-zaimokuya.com

神戸木材市売協同組合

代表理事　名田 健吾

〒六五三-〇〇三三
神戸市長田区苅藻島町三-五-二四
TEL〇七八-六八一-二四四一(代)
FAX〇七八-六八一-二四四三

プレカット事業部
TEL〇七八-六八一-八八六〇(代)
FAX〇七八-六七一-八八五九

人を大切にする企業
職場環境改善宣言企業
全国社会保険労務士会連合会

人を大切にする企業
経営労務診断適合企業
5140005003319(3)
全国社会保険労務士会連合会

株式会社 神戸木材会館

代表取締役　松野 正和

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通2丁目3-18
TEL 078-577-3431　FAX 078-577-3432

神戸木材業協同組合

理事長　小林 進

〒652-0803 兵庫県神戸市兵庫区大開通2丁目3-18
TEL 078-335-5028　FAX 078-577-3432

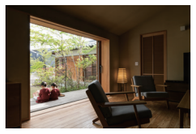
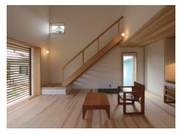
https://kobemokyo.jp

甲南木材協同組合

理事長　田和 良久

兵庫県西宮市甲子園浦風町11番3号
株式会社タワヨシ内
TEL 0798-23-3301　FAX 0798-36-2776

想いをかたちに ～木が香る家づくり～


株式会社 国興

代表取締役　田中 一興

〒399-0027 長野県松本市寿南 1-7-22
TEL：0263-58-2095
Mail：info@coccohome.jp
www.coccohome.jp　国興ホーム　検索

佐々木林業有限会社
サンワチップ有限会社

代表取締役 佐々木貴規

〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小畠1353-1
TEL 0847-85-2507　FAX 0847-85-2050
https://sasaki-ringyo.co.jp/

1964

有限会社 齋藤木材

代表取締役　齋藤 行則

〒610-1152 京都府京都市西京区大原野北春日町827-1
TEL 075-331-0808　FAX 075-331-0905

坂利木材工業株式会社

代表取締役　坂口 勝美

本社工場
〒632-0063 奈良県天理市西長柄町676
（桜井木材天理団地）
TEL 0743-67-0128～9　FAX 0743-67-2501

住む人の心にしみる木の香り

匠の心で木文化を創造する
カナダ檜・国産檜・国産杉
社寺仏閣用材・特殊材

佐藤木材株式会社

URL http://www.satolumber.com

本　　社 奈良県天理市新泉町378 TEL:0743-66-2727 FAX:0743-67-2223
茨城支店 茨城県筑西市下平塚223 TEL:0296-28-1017 FAX:0296-28-4622
新潟営業所 新潟市東区上木戸1-9-36 TEL:025-250-0727 FAX:025-250-0082

神戸市産材 広葉樹
低圧メラミン化粧板

株式会社 三栄

豊かな地域と価値を創造する会社

株式会社
しそうの森の木

専務取締役　三渡 保典

〒671-2518
兵庫県宍粟市山崎町横須313-1
TEL.0790-63-1819
FAX.0790-63-1280



JAS認証・性能評価認定 杉柾目CLT Mパネル
機械等級区分JAS 国産材上下芯去構造材

日本木材青壮年団体連合会
祝　第70回 全国会員関西大会

新宮木材協同組合

理事長　植松 浩
副理事長　谷口 泰仁
副理事長　瀬古 伸一郎

住む人の心にしみる木の香り

〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL（0735）22-6105
FAX（0735）22-6107

祝 第70回 全国会員 関西大会

吉田実行委員長　岩井会団長
お疲れ様です

米松・内地松・注文挽専門　新和材木店
代表者　田口 宜明

どこでも運べる癒しの湯船

HAKOBUNÉ



Luumu suemokko

株式会社 すえ木工
岡山県津山市八出２４４-１

合資会社 末金製材所

代表社員 末金 洋行

大分県日田市大字東有田2813番地15
TEL 0973-28-5773 FAX 0973-22-3844

SCADRON

差別化できるICTで総合評価をリードする

スキャドロン株式会社
〒634-0063 奈良県橿原市久米町540-3
TEL 0744-27-3097 FAX 0744-28-2769

株式会社 住まい工房 集

Shū 大阪／堺 設計施工

〒590-0157 大阪府堺市南区高尾 1-358-5
tel. 072-274-7757 fax.072-273-0700
https://www.sk-shiyu.co.jp

R6 九州地区長



福田マイケル

ソマノベース

株式会社ソマノベース
代表取締役 奥川季花
ご連絡先 info@somanobase.com



当社は和歌山県田辺市で2021年に創業した会社です。
植林用苗木をどんぐりから育てる、新しいカタチの観葉植物「戻り苗」を販売しています。皆さんが育てるのは2年間だけ。
皆さんも苗木の育て親になりませんか?

不燃木材設備 各種木工機械

株式会社
タイムズコーポレーション

代表取締役 近藤 雅之

〒500-8353 岐阜県岐阜市六条東2丁目5番1号
TEL 058-275-9077 FAX 058-337-1065
https://times-c.sakura.ne.jp

ずっと ここちいいね

DAIKEN 80TH Anniversary

ieria ここちいい暮らしを、ともに。

OMOIYARI



大建工業株式会社 2025年9月26日から「DAIKEN株式会社」に改称します。

株式会社 タニグチ

代表取締役 谷口 修一

〒633-0084 奈良県桜井市太田5−4
TEL:0744-43-3280 FAX:0744-43-3174
MAIL:taniguti@tmt.ne.jp

株式会社 タワヨシ

代表取締役 田和 良久

兵庫県西宮市甲子園浦風町11番3号
TEL 0798-23-3301 FAX 0798-36-2776

https://tawa.co.jp

有限会社 土倉製材所

〒389-1221 長野県上水内飯綱町古町532-1
Tel.026-253-2320 Fax.026-253-6416

https://www.cookiehouse.jp



TSUDO LUMBER

都藤商店

米松の可能性を伝える材木店。

A lumberyard that showcases the possibilities of DOUGLAS FIR.

株式会社 都藤商店
代表取締役 都藤敏彦

〒675-0103 兵庫県加古川市平岡町高畑485-1
Tel.079-423-9560 Fax.079-423-8560
https://tsudo-wood.com



TOTO

ようこそ、光のキッチンへ。

THE CRASSO
ザ・クラッソ

TOTO技術相談室 電話：0570-01-1010 受付時間：〈平日〉9:00~18:00
〈土曜日〉9:00~17:00（日・祝日・夏期休暇・年末年始・当社所定の休日等を除く）
建築専門家のための情報サイト COM-ET（コメット） https://www.com-et.com

ザ・クラッソ商品ページ

株式会社 中川
NAKAGAWA Co., Ltd.

代表取締役 田中 崇

〒646-0023 和歌山県田辺市文里2丁目32-7
tel:0739-33-9850 fax:0739-33-9851
https://nakagawa-forestry.com

株式会社
中長商店
湊事務所

中谷 文彦

〒640-8255 和歌山県和歌山市舟津町1丁目11
TEL 073-431-7251 FAX 073-422-0061

なごみ建築工房

向出 篤史

〒633-0054 奈良県桜井市阿部544-2
TEL 0744-43-1343 FAX 0744-43-1343

人にやさしい住宅 家族が集う住宅　住まいづくりのお手伝い

中畑木材株式会社

代表取締役 中畑 安伴

本社 / プレカット工場

〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通 1-13-28
TEL : 072-362-6616　FAX : 072-362-3487

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

香川県高松市松福町 1-15-10
TEL : 087-825-3623　FAX : 087-825-3647
HP : https://www.nankaiplywood.co.jp/

ナント·なら·ずっと!

NANTO 南都銀行

日新グループは、植林から原木伐採、調達、合板の開発および
製造、販売などを手がける企業グループです。

私たちは、木造住宅の 建築に欠かせない合板の製造では
豊かな実績を持ち、現在西日本に合わせて６工場を設置、
高品質かつ多種多様な合板を研究開発、製造販売を行っています。

事業活動の原点は徹底したお客様視点にあり、
お客様のニーズを把握し、これに応えられるべく
日々企業活動に真摯に取り組んでいきたいと考えております。

NISSHIN 日新グループ　人と木をむすぶ

開催おめでとうございます！！

日本木材青壮年団体連合会

第70回全国会員関西大会

朝間健至　大倉康弘　冨田和敬
阿部高志　川添恵作　野地良成
氏平祥光　佐藤圭一郎　三國咲子
梅谷雄高　鈴木善一朗　吉田伸

55年会

日本木青連55年会一同

株式会社ヒウラ

専務取締役 日裏 敬

和歌山県海南市多田 58-1
TEL : 073-483-1883　FAX : 073-482-3945
HP : http://hiuraspirit.com

姫路木材協同組合

理 事 長　中塚 一裕　（株）中塚木材商店
副理事長　菅長 一郎　（株）菅長製材所
副理事長　廣橋 茂彦　（株）廣橋

〒671-1121 兵庫県姫路市広畑区東新町 2 丁目 61-2　1 階
TEL : 079(287)9355　FAX : 079(287)9366

株式会社ホーテック

代表取締役 堀内 嘉久

奈良県桜井市安倍木材団地 2-3-1
TEL : 0744-44-6100　FAX : 0744-44-6105
HP : https://www.hootec.jp

住んでよし 心ゆたかな 木の住まい

堀内木材株式会社

代表取締役社長　宮田 昌幸
二級建築士

堀内木材

〒210-0021　神奈川県川崎市川崎区元木 1-3-16
TEL 044-233-4078(代) FAX 044-222-1095
HP https://www.big-advance.site/c/123/3152

堀川林業（株）

代表取締役 髙篠 孝介

北海道三笠市幾春別栗丘町 13 番地
TEL : 01267-6-8051　FAX : 01267-6-8975
HP : https://www.horikawa-ringyo.jp/

「人」に寄り添う住まいづくり

株式会社丸国林業

代表取締役社長　平越　國康

本　　社　〒639-0224　奈良県香芝市別所5番地
TEL 0745-77-8431(代)　FAX 0745-78-2736
天理配送センター / 西長柄パネル工場 / ダイコク橿原店（関連会社）

https://www.marukuni-forestry.co.jp

丸武木材株式会社

代表取締役 山口 邦之

〒601-8399 京都市南区吉祥院提外町 10-1
TEL : 075-332-2522　FAX : 075-322-2530
HP : http://www.marutake-m.co.jp

アピトン車両材・デッキ材等南洋材のことなら

株式会社 マルヨ木材

代表取締役　吉　田　伸

〒738-0021　広島県廿日市市木材港 5-57
TEL. (0829)32-3155(代)　FAX. (0829)32-3157
email: maruyo-m@basil.ocn.ne.jp
https://www.maruyomokuzai.com

MIZUHO MOKUZAI

代表取締役社長 宮崎 淳貴

瑞穂木材（株）

長野県下高井郡木島平村穂高 3228-1
TEL : 0269-82-3118　FAX : 0269-82-4156
HP : https://mizuhomokuzai.jp　Youtube : https://youtu.be/CKAXYE0lJiA

MIYAMOTO

株式会社 宮本工業
日本プレカットシステム株式会社

代表取締役　宮本 哲治

本　　社　和歌山市西浜 1660-50　TEL 073-444-5225
関東支店　千葉市美浜区新港 228-3　TEL 043-246-5725
東北支店　宮城県名取市植松 43　TEL 022-382-3934
http://www.miyamoto-group.co.jp





森庄銘木産業株式会社

林業／製材品／インテリア家具

〒633-2226　奈良県宇陀市菟田野古市場５１１－２
TEL 0745-84-2021㈹　FAX 0745-84-4085
URL https://www.yamanaramorisho.com
E-Mail info@morisho-meiboku.co.jp

あなたの街のベストしんきん

大和信用金庫

本店：奈良県桜井市桜井 281-11
TEL：0744-42-9001（代表）
https://www.yamato-shinkin.co.jp



吉野中央木材(株)

代表取締役 石橋 輝一

奈良県吉野郡吉野町大字橋屋 57
TEL : 0746-32-2181　FAX : 0746-32-2863
HP : http://www.homarewood.co.jp/

育林事業から木造建築の設計・施工まで

吉野銘木製造販売株式会社

代表取締役　貝本 拓路

2 級建築士 木材乾燥士 宅地建物取引士

〒638-0045　奈良県吉野郡下市町新住 991-1
TEL (0747)52-8881　FAX (0747)52-1602
https://www.yoshinomeiboku.com
info@yoshinomeiboku.com

米田産業株式会社

代表取締役 米田直彦

大阪府堺市美原区木材通 4-8-13
TEL : 072-247-4080　FAX : 072-247-4078
HP : https://yoneda-inc.jp
オンラインショップ：https://yoneda-inc.co.jp/

内地材・原木卸・松丸太・足場丸太・杭丸太 一式

株式会社渡辺木材

代表取締役 渡邉 義人

〒601-8371 京都市南区吉祥院嶋樫山町 51
TEL：(075)681-6036(代)　FAX：075-681-0062

多大なるご声援と
ご協賛を賜りましたこと、
心より厚く
御礼申し上げます。

第70回全国会員関西大会実行委員会
&
近畿地区協議会一同

YOSHIDA

塗装も承ります

丸太からの、製材・加工・配送まるごと対応！

WOOD CHANGE





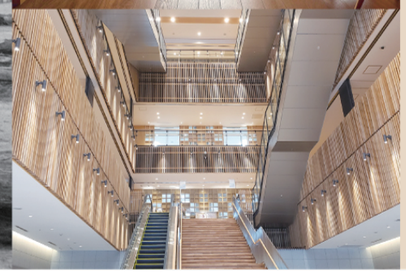
一貫生産体制



建築施工現場へお届け







国土交通省認定の

不燃木材メーカー

大規模施設、公共施設の法令に対応！

不燃・準不燃木材 むくふねん®

大規模施設、特殊建築物にも使用できる桧・杉の無垢材。
自社に高精度の燃焼試験機械やトレーサビリティを導入し、
徹底した品質管理のもとで一貫製造！

不燃・準不燃構造用針葉樹合板 ふねん合板™

JASの構造用合板認定を取得した高品質の合板を使用。
内装制限に対応し、床、天井、壁といった建築部材に最適！

あらゆる要望にワンストップで実現する

オーダーメイド生産

建設施工図から
部材、仕様、
数量など拾い出し、
見積り可能



数量は1本〜
形状、寸法まで
柔軟に対応



国産材も外国産材も
多彩な樹種に対応

COST REDUCTION

施工現場の
労力負担と時間の
コストカットにもなる！

JAS・SGEC認証などの
取得条件のほか、
地域材の指定に
幅広く対応

OTHER PRODUCTS　詳しくはお問合せください



圧縮複合フローリング
パワフルフローリング
POWERFUL FLOORING
杉材に圧縮硬化加工を施した
表面が硬く傷がつきにくいフローリング材。
直貼用もしくは釘打用の接着工法に対応。

自社配送網拡充中
必要な時に
欲しい木材が
スグ届く。



YOSHIDA

吉田製材株式会社　〒633-0065 奈良県桜井市吉備557
TEL. 0744-42-2124　FAX. 0744-45-4766
MAIL. info@yoshidaseizai.co.jp　HP. https://www.yoshidaseizai.co.jp

INSTAGRAM yoshidaseizai
FACEBOOK yoshidaseizaiNARA

株式会社オカイ

木の素材感を活かした家具で木質空間を彩る…
提案・調達・加工・運搬・取付まで一貫して行うことで
木の良さを最大限に引き出しながら、 コストパフォーマンスにも優れる家具工事を実現します

事業内容
木製家具工事

住所：〒635-0031
奈良県大和高田市今里町 16 番 41 号

TEL：0745-52-0310
mail：okai@koumurahousing.jp







甲村木材株式会社

約半世紀の歴史がある甲村木材
ただひたすら木の良さを引き出し
日本建築が持つ温かみ、
心地よさを表現し続けている

住所：〒635-0031
奈良県大和高田市今里町 16-41

TEL：0745-52-0293


KOUMURA HOUSING
甲村ハウジング 株式会社
大型木造構造 / 造作 / フローリング
上げ床 / 家具 / 木製建具 / デッキ工事
造作材加工・塗装 / 家具製作
「木材を中心とした空間づくりのプロフェッショナル」
最先端技術で木の可能性をかたちに・・・
ホームページ